



BMW Motorrad



駆けぬげる歓び

Rider's Manual
R 1200 GS

モーターサイクル / ディーラーのデータ

モーターサイクルデータ

モデル

車両識別番号シャリョウシキベツバンゴウ

カラー

初度登録

ライセンスプレート

ディーラーデータ

アフターサービス担当者

氏名

TEL

ディーラー所在地 / 電話 (スタンプ)

BMWの世界へようこそ

BMW Motorrad をご購入いただき、ありがとうございました。世界中で多くの熱狂的なファンを持つBMW Motorrad のライダーの一員となられたことを、心から歓迎いたします。あらゆる交通状況のなかで、安全にライディングを楽しんでいただくためには、購入された車両をよく理解し、親しんでいただくことが大切です。

本書について

新しいBMW モーターサイクルを使用される前に、まず本書をお読みください。本書には、BMW モーターサイクルを操作し、あらゆる機能を十分に活かすための情報が掲載されています。また、ライダーの安全やモーターサイクルの信頼性を確保し、愛車の価値を末永く維持するための整備と手入れに関する情報が掲載されています。

お問い合わせ

モーターサイクルについて疑問に思われることが生じたり、アドバイスが必要になられた場合には、BMW Motorrad ディーラーのスタッフにお気軽にお問い合わせください。

BMW と共に、安全で快適なライディングをお楽しみください。

BMW Motorrad

01 49 8 563 208



目次

1 一般的な情報	5	フューエルリザーブ容量	39	走行モード	67
全体図	6	オイルレベル注意	40	クルーズコントロール	71
記号と意味	6	サービス表示	40	スプリングプリロード	73
装備	7	タイヤ充填圧	41	ショックアブソーバー	74
テクニカルデータ	7	シフトアップ推奨	41	ダイナミック ESA (電子調 整式サスペンション)	75
本書の記述について	7	4 取扱方法	43	クラッチ	77
2 全体図	9	イグニッション	44	ブレーキ	77
左側面	11	Keyless Ride によるイグ ニッション	46	タイヤ	78
右側面	13	マルチファンクションディ スプレイ	51	ハンドルバー	79
シート下	14	盗難警報装置 (DWA)	57	グリップヒーター	79
左コンビネーションス イッチ	15	イグニッションキルス イッチ	59	ミラー	80
右コンビネーションス イッチ	17	ヘッドライト	60	ウインドシールド	80
メーターパネル	18	ライト	61	フロントおよびリヤシ ート	81
3 表示	19	デイルイト	62	5 走行	85
警告灯 / インジケータ	20	ウインカー	64	安全に関する注意事項	86
マルチファンクションディ スプレイ	22	ハザードランプ	64	チェックリストを確認し、 遵守する	89
ディスプレイの警告記号	24	BMW Motorrad Integral ABS	65	始動	89
警告表示	25	オートマチックスタビリティ コントロール (ASC)	66	慣らし走行	91
外気温度	39			ギヤチェンジ	92
				ブレーキ	93

駐車する	95	フロントホイールス		10 仕様 (諸元)	165
オフロード走行	96	タンク	129	トラブルシュー	
給油	97	バルブ	131	ティング	166
モーターサイクルを搬送用		エアフィルター	136	ネジ止め部	167
に固定する	101	始動補助	137	エンジン	169
6 技術情報	103	バッテリー	138	燃料	170
走行モード	104	ヒューズ	142	エンジンオイル	171
シフトアシスト	105	8 アクセサリー	145	クラッチ	171
BMW Motorrad Integral		一般的な情報	146	ギヤボックス	172
ABS 装備ブレーキシス		電源ソケット	146	リヤホイールドライブ	173
テム	107	ナビゲーションシス		サスペンション	173
エンジンマネジメントシ		テム	147	ブレーキ	175
ステム (BMW Motorrad		ケース	152	ホイールとタイヤ	176
ASC 装備)	110	トップケース	155	電装システム	177
タイヤ空気圧コントロール		9 お手入れ	159	フレーム	179
(RDC)	112	ケア用品	160	盗難警報装置	179
7 メインテナンス	113	洗車	160	寸法	180
一般的な情報	114	損傷しやすい車両部品の		重量	181
ツールキット	114	お手入れ	161	性能	181
エンジンオイル	115	塗装のお手入れ	162	11 サービス	183
ブレーキシステム	116	長期保管	162	リサイクリング	184
クーラント	120	保護コーティング	163	BMW Motorrad サー	
クラッチ	122	再使用	163	ビス	185
リムとタイヤ	122			BMW Motorrad モバイル	
ホイール	123			サービス	186

メンテナンス作業	186
メンテナンススケジュー ール	189
BMW サービス基準	190
点検記録	191
一般整備記録	196
12 付録	199
電子式エンジン始動ロック システム用認証	200
キーレスエントリー用 認証	202
タイヤ圧コントロール用 認証	204
13 索引	205

一般的な情報

全体図	6
記号と意味	6
装備	7
テクニカルデータ	7
本書の記述について	7

全体図

本書は、使いやすさを重視して作成されています。特殊な項目についてお探しの際には、索引もご利用ください。まず、このモーターサイクルについての概要から知りたい場合は、第2章をご覧ください。第11章には、実施されたメンテナンスおよび修理作業がすべて記録されます。

保証期間が満了した後で修理や点検を依頼される場合に、それまで定期的に整備されていたことが必要条件になります。

Rider's Manual は、モーターサイクルにとって重要な構成部品のひとつです。将来、もしご使用の BMW モーターサイクルを売却される場合には、本書も一緒にお渡しくださいますようお願いいたします。

記号と意味



注意 低リスクレベルの危険。回避しなかった場合、多少損傷を引き起こす可能性があります。



警告 中程度のリスクレベルの危険。回避しなかった場合、死亡事故や重傷を引き起こす可能性があります。



危険 高いリスクレベルの危険。回避しなかった場合、死亡事故や重傷を引き起こす可能性があります。



重要事項 特殊な注意事項、予防措置。回避しなかった場合、車両やアクセサリの損傷につながり、保証サービスの対象外となってしまいます。



注意事項 モーターサイクルの制御、点検、調整などの手順に関する個々の情報と、お手入れについての一般的な情報を示します。



注意事項の末尾を示します。



作業内容の指示を示します。



作業の結果を示します。



説明のある参照ページを示します。



アクセサリや装備に関する情報の末尾を示します。



締付けトルク。



仕様（諸元）。



オプション装備。

BMW Motorrad オプション装備は、モーターサイクルの製造時に工場では装着されません。

OA	アクセサリ。 BMW Motorrad アクセサリのご購入および取り付けにつきましては、BMW Motorrad ディーラーにて承ります。
EWS	電子式イモビライザー。
DWA	盗難警報装置
ABS	アンチロックブレーキシステム。
ASC	オートマチックスタビリティコントロール (ASC)
ESA	Electronic Suspension Adjustment (電子調整式サスペンション)。
RDC	タイヤ空気圧コントロール

装備

お客様のBMW Motorrad のご購入に際しましては、それぞれお選びいただいたご希望の装備が装着されたモデルとなっています。本書では、BMW がご用意しているオプション (OE) および選択したアクセサリ (OA) について説明されています。

そのため、あなたのモーターサイクルには装着されていない装備についての説明が含まれている場合がございますことをご了承ください。同様に、国別の仕様により、図示されているモーターサイクルと異なる場合があります。

お客様のモーターサイクルに、本書に説明されていない装備が含まれている場合は、独立したマニュアルの中に説明が記載されています。

テクニカルデータ

本書に掲載されている寸法、重量、性能に関する情報はすべて、DIN (ドイツ工業規格) およびその許容差規定に基づいて表記されています。国によって仕様が異なる場合があります。

本書の記述について

BMW Motorrad の高い安全性および品質は、デザイン、装備、アクセサリに関する絶え間ない開発によって支えられています。そのため、本書の記述が実際のモーターサイクルとは異なる場合があります。また、BMW Motorrad はそのような誤りを完全に排除することはできません。したがって、記載内容や図、説明について責任を負いかねる場合がありますことをご理解くださいますようお願い申し上げます。

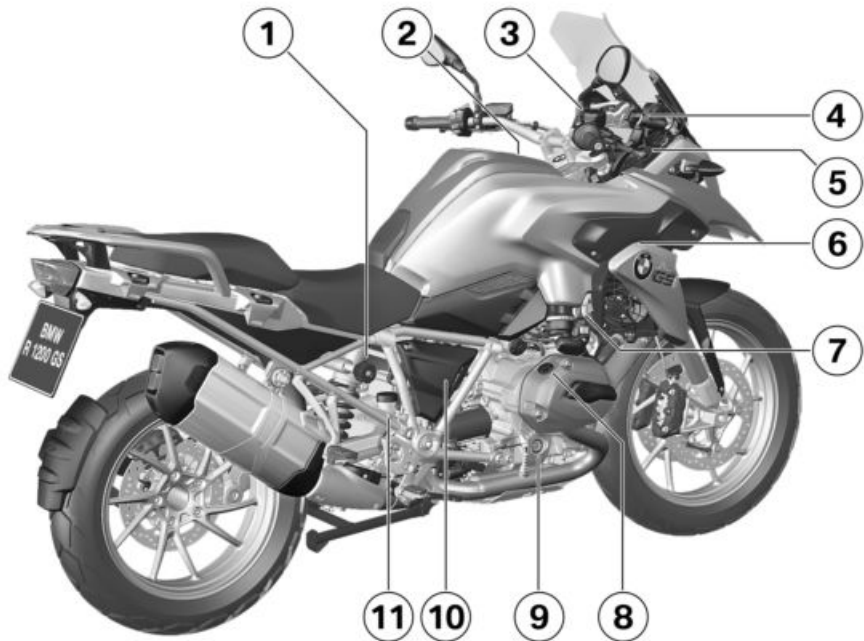
全体図

左側面	11
右側面	13
シート下.....	14
左コンビネーションスイッチ.....	15
右コンビネーションスイッチ.....	17
メーターパネル.....	18



左側面

- 1 - デイライト^{OE}装備
デイライト (▶▶▶▶ 62)
- 2 フューエル注入口 (▶▶▶▶ 98)
- 3 シートロック (▶▶▶▶ 81)
- 4 リヤショックアブソーバー
の調整 (スプリングストラット下) (▶▶▶▶ 74)

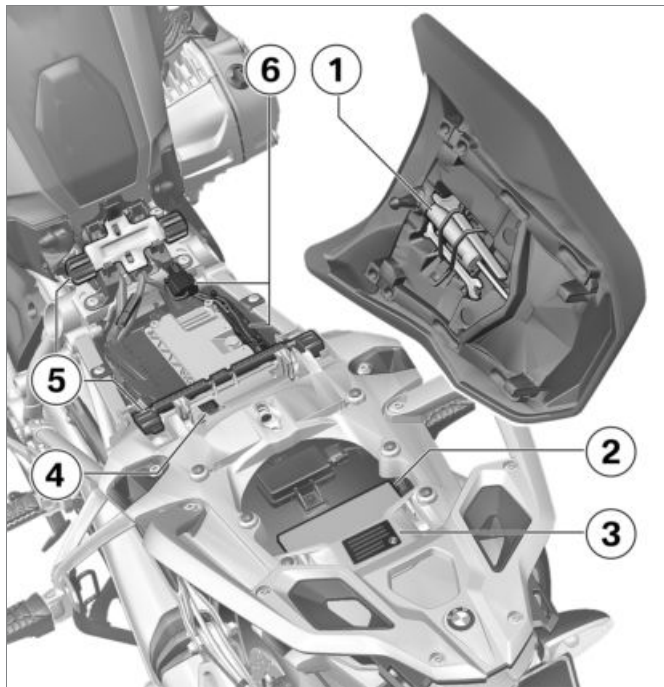


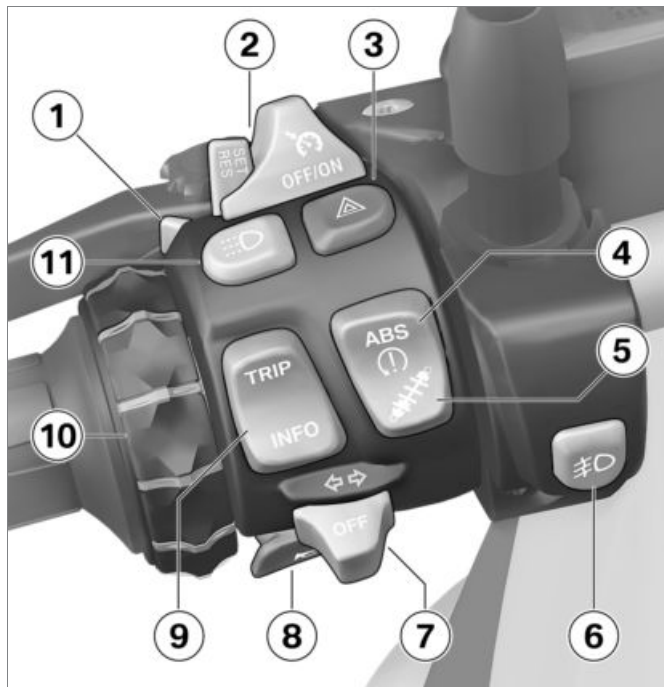
右側面

- 1 リヤスプリングプリロードの調整 (▶▶▶ 73)
- 2 エアフィルター (センターフェアリングの下) (▶▶▶ 136)
- 3 フロントブレーキフルードリザーバータンク (▶▶▶ 118)
- 4 ウインドシールドの高さ調整 (▶▶▶ 80)
- 5 電源ソケット (▶▶▶ 146)
- 6 車両識別番号 (ステアリングヘッドベアリングのところ)
型式プレート (右フロントフレーム)
- 7 クーラントレベル表示 (▶▶▶ 120)
クーラントタンク (▶▶▶ 121)
- 8 オイル注入口 (▶▶▶ 116)
- 9 エンジンオイルレベル表示 (▶▶▶ 115)
- 10 バッテリー (サイドフェアリングの後ろ) (▶▶▶ 138)
バッテリーサポートポイント (サイドフェアリングの後ろ) (▶▶▶ 137)
- 11 リヤブレーキフルードリザーバータンク (▶▶▶ 119)

シート下

- 1 標準スペシャルツールキット (▶▶▶ 114)
- 2 Rider's Manual
- 3 タイヤ充填圧表
- 4 積載荷重一覧
- 5 フロントシート高さの設定 (▶▶▶ 82)
- 6 ヒューズ (▶▶▶ 142)





左コンビネーションスイッチ

- 1 ハイビームヘッドライトと
パッシングライト (▶▶▶ 61)
- 2 -クルーズコントロ
ール^{OE}装備
クルーズコントロー
ル (▶▶▶ 71)
- 3 ハザードランプ (▶▶▶ 64)
- 4 ABS (▶▶▶ 65)
ASC (▶▶▶ 66)
- 5 - Dynamic ESA^{OE}装備
ESA (▶▶▶ 75)
- 6 -LED 補助ヘッドラ
イト^{OA} 装備
LED 補助ヘッドライ
ト (▶▶▶ 61)
- 7 ウィンカー (▶▶▶ 64)
- 8 ホーン
- 9 マルチファンクションディ
スプレイ (▶▶▶ 51)

- 10 - ナビゲーションシステム用取付けキット^{OE}装備
ナビゲーションシステム (▶▶▶ 148)
- 11 - デイライト^{OE}装備
デイライト (▶▶▶ 62)

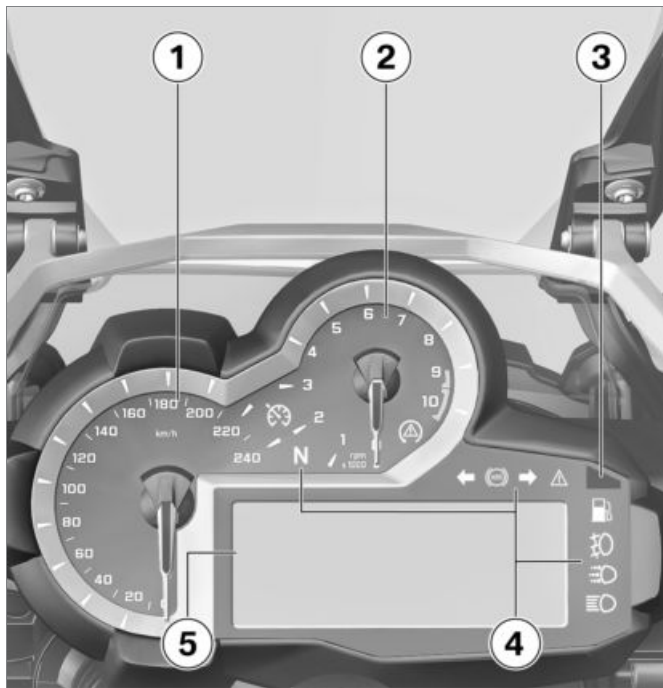
右コンビネーションスイッチ

- 1 - グリップヒーターOE
装備
グリップヒーター (▶▶▶ 79)
- 2 走行モード (▶▶▶ 67)
- 3 イグニッションキルスイッチ (▶▶▶ 59)
- 4 エンジンを始動する (▶▶▶ 89)



メーターパネル

- 1 スピードメーター
- 2 エンジン回転数表示
- 3 周囲輝度センサー (メーターパネルライトの輝度調整用)
- 盗難警報装置 (DWA)^{OE} 装備
DWA 警告灯
- Keyless Ride^{OE} 装備
無線キー用インジケータ
- 4 警告灯 / インジケータ (▶▶ 20)
- 5 マルチファンクションディスプレイ (▶▶ 22)

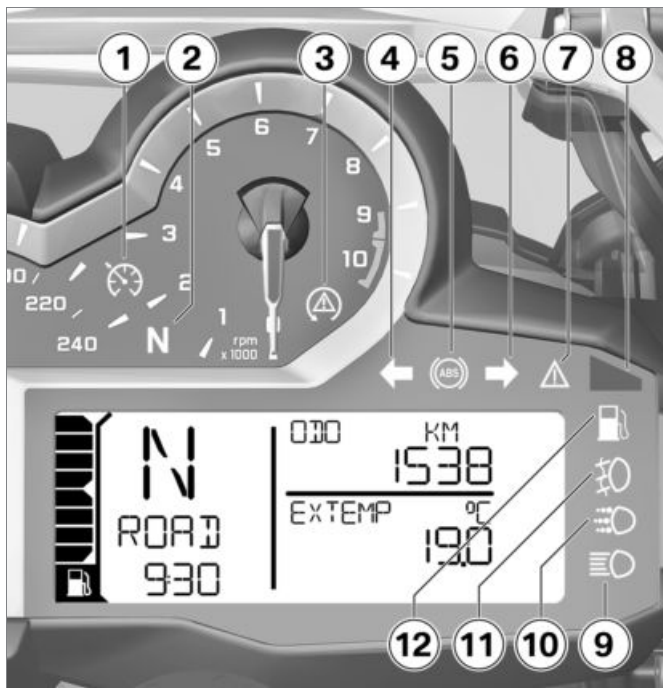


表示

警告灯 / インジケーター	20
マルチファンクションディスプレイ	22
ディスプレイの警告記号	24
警告表示	25
外気温度	39
フューエルリザーブ容量	39
オイルレベル注意	40
サービス表示	40
タイヤ充填圧	41
シフトアップ推奨	41

警告灯 / インジケーター

- 1 クルーズコントロール
OE[※]装備
クルーズコントロー
ル (▶▶ 71)
- 2 ニュートラル位置 (アイドル
リング)
- 3 ASC (▶▶ 66)
- 4 左側ウィンカー
- 5 ABS (▶▶ 65)
- 6 右側ウィンカー
- 7 ジェネラル警告灯 (ディス
プレイ内の警告マークとの
組み合わせによる) (▶▶ 25)
- 8 DWA
- 盗難警報装置 (DWA)^{OE}
装備
アラーム (▶▶ 58)
無線キー用インジケーター
- Keyless Ride^{OE}装備
キー (▶▶ 46)
- 9 ハイビームヘッドライ
ト (▶▶ 61)
- 10 - デイライト^{OE}装備
デイライト (▶▶ 62)



- 11 -LED 補助ヘッドライト^{OA} 装備
補助ヘッドライト (▶▶▶ 61)
- 12 フューエルリザーブ容量 (▶▶▶ 39)



注記

ABS マークは、国別仕様により、表示が異なることがあります。◀

マルチファンクションディスプレイ

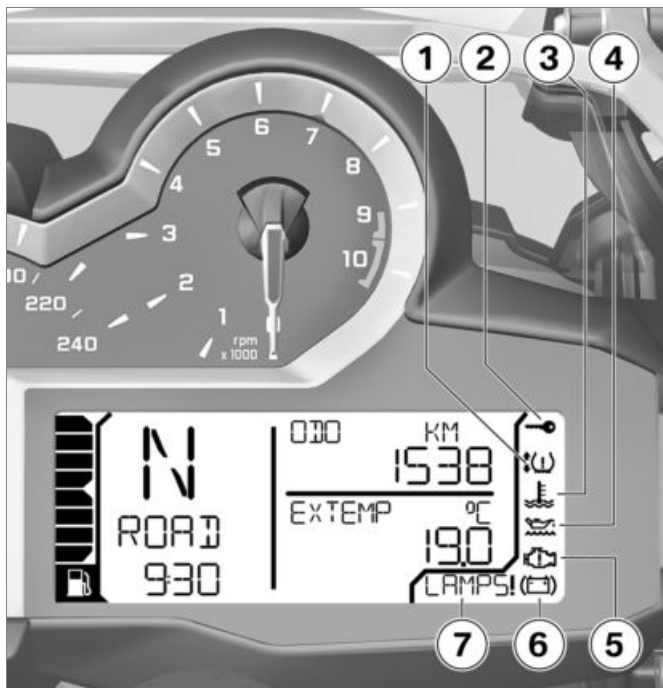
- 1 フューエルレベル
- 2 シフトアップ推奨 (▶▶▶ 41)
- 3 ギヤインジケーター、ニュートラル位置で「N」(アイドリング) が表示される
- 4 - デイライト^{OE}装備
オートマチックデイライト (▶▶▶ 62)
- 5 - グリップヒーター^{OE}装備
グリップヒーターレベル (▶▶▶ 79)
- 6 オドメーターとトリップメーター (▶▶▶ 51)
- 7 サービス表示 (メンテナンススケジュール) (▶▶▶ 185)
- 8 警告アイコン (▶▶▶ 25)
- 9 オンボードコンピューター - Dynamic ESA^{OE}装備
ESA 調整 (▶▶▶ 75)



- 11 走行モード (▶▶▶▶ 67)
- 12 時計 (▶▶▶▶ 54)
- 13 路面凍結警告 (▶▶▶▶ 39)

ディスプレイの警告記号

- 1 - タイヤ圧コントロール (RDC) ^{OE} 装備
タイヤ充填圧 (⇒ 33)
- 2 EWS (⇒ 30)
- 3 冷却水温警告灯 (⇒ 31)
- 4 エンジンオイルレベル (⇒ 38)
- 5 エンジン電装 (⇒ 31)
- 6 バッテリー充電 (⇒ 139)
- 7 警告 (⇒ 25)



警告表示

表示

警告は対応する警告灯により表示されます。



専用の警告灯のない警告は、ジェネラル警告灯 **1** と、**2** エリアの警告マークまたは **3** エリアの警告マークとの組み合わせにより表示されます。警告の緊急性に応じて、ジェネラル警告灯が黄または赤に点灯します。ジェネラル警告灯が、警告の緊急度に応じて表示されます。













以降のページに警告表示の一覧があります。

警告表示一覧








警告灯 / インジケーター

ディスプレイの警告記号

意味

			が表示される	路面凍結警告 (▶▶▶ 30)
	点灯する (黄)		が表示される	EWS 作動 (▶▶▶ 30)
	点灯する (黄)		が表示される	無線キーが受信範囲外 (▶▶▶ 30)
	点灯する (黄)			無線キーのバッテリーを交換する (▶▶▶ 31)
	点灯する (赤)		が表示される	クーラント温度が高すぎる (▶▶▶ 31)
	点灯する (黄)		が表示される	エンジンがエマージェンシーモードになっている (▶▶▶ 31)
	点灯する (黄)		!LAMP_ が表示される	バルブの不具合 (▶▶▶ 32)
			!LAMPF が表示される	

警告灯 / インジケーター ディスプレイの警告記号 意味

		DWALO !が表示される	DWA バッテリーが弱っている (▶▶▶ 32)
	点灯する (黄)	DWA !が表示される	DWA バッテリーが空になっている (▶▶▶ 33)
	点灯する (黄)	 が矢印 (1 本または 2 本) と共に表示され、さらに、タイヤ充填圧が限界値に達すると点滅します	タイヤ充填圧が許容限界域にある (▶▶▶ 33)
	点滅する (赤)	 が矢印 (1 本または 2 本) と共に表示され、さらに、タイヤ充填圧が限界値に達すると点滅します	タイヤ充填圧が許容範囲外にある (▶▶▶ 33)
	点灯する (黄)	 1 本または 2 本の矢印付きで表示されます	センサーの故障またはシステムエラー (▶▶▶ 34)
		「--」または「-- --」が表示されます	伝送障害 (▶▶▶ 34)

路面凍結警告



氷結アイコンが表示されます。

考えられる原因:



モーターサイクル付近で測定された外気温度 <

約 3 °C



警告

3 °C を超えており、路面凍結警告がない場合でも、路面が凍結している危険。

凍結した路面による事故を起こす危険。

- 外気温度が低い場合、橋の上や陰になった暗い路面は凍結しているおそれがあることを考慮してください。◀
- よく注意して走行してください。

EWS 作動



ジェネラル警告灯（黄）が点灯します。



EWS 警告マークが表示されます。

考えられる原因:

使用されたキーに始動する権限がないか、キーとエンジンマネジメントシステム間の交信が妨げられています。

- イグニッションキー付近にある他のキーを外します。
- スペアキーを使用します。
- 故障したキーは、BMW Motorrad ディーラーで交換してください。

無線キーが受信範囲外

– Keyless Ride^{OE} 装備



ジェネラル警告灯（黄）が点灯します。



が表示されます。

考えられる原因:

無線キーとエンジンエレクトロニクス間の通信に障害が発生しています。

- 無線キーのバッテリーを点検します。
- Keyless Ride^{OE} 装備
- 無線キーのバッテリーを交換する(▶▶ 50)。
- それ以上走行する場合には、スペアキーを使用します。
- Keyless Ride^{OE} 装備
- 無線キーのバッテリーが空になっているか、または無線キーの紛失(▶▶ 49)。
- 走行中に警告マークが表示された場合も、落ち着いてください。走行は続行できます。エンジンは停止しません。
- 故障した無線キーはBMW Motorrad ディーラーで交換してください。

無線キーのバッテリーを交換する



ジェネラル警告灯（黄）が点灯します。



バッテリーアイコンが表示されます。

考えられる原因:

- 無線キーのバッテリーがフル充電になりません。無線キーの機能が保証されるのは、限られた時間内のみです。
- Keyless Ride^{OE}装備
- 無線キーのバッテリーを交換する(▶▶▶ 50)。

クーラント温度が高すぎる



ジェネラル警告灯（赤）が点灯します。



温度アイコンが表示されません。



重要事項

オーバーヒートしているエンジンでの走行。

エンジンの損傷

- 必ず下記の処置を順守してください。◀

考えられる原因:

クーラントレベルが低すぎます。

- クーラントレベルを点検します(▶▶▶ 120)。

クーラントレベルが低すぎる場合:

- BMW Motorrad ディーラーにクーラントの補給とクーラントシステムの点検を依頼してください。

考えられる原因:

クーラント温度が高すぎます。

- 可能であれば、エンジンを冷ますためにパーシャルロード域で走行してください。

- クーラント温度が頻繁に高くなりすぎる場合には、できるかぎり早くBMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

エンジンがエマージェンシーモードになっている



ジェネラル警告灯（黄）が点灯します。



エンジンアイコンが表示されます。



警告

エンジンのエマージェンシーモード時の通常と異なる走行特性。

事故の危険

- 走行スタイルを調整してください。
- 急激な加速や追い越しは避けてください。◀

考えられる原因:

エンジンコントロールユニットに故障が発生しています。最悪の場合、エンジンが停止し、その後始動できなくなります。その他の場合には、エンジンはエマージェンシーモードで作動します。

- 走行を続けることは可能ですが、通常どおりのエンジン性能は発揮できない可能性があります。
- できる限り早く、BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

バルブの不具合



ジェネラル警告灯（黄）が点灯します。

!LAMP_が表示されます。

- !LAMPR: ブレーキライト、テールライト、リヤウインカーまたはライセンスプレートランプが故障しています。

- !LAMPF: ロービーム、ハイビームヘッドライト、スモールライトまたはフロントウインカーが故障しています。
- !LAMPS: 複数バルブの故障

- デイライト^{OE}装備

- !LAMPF: 補足: デイライト故障<



警告

車両の照明バルブの不具合により、車両が気付かれずに見過ごされる。

安全に関わる危険

- 故障したバルブはできるかぎり早急に交換します。できれば、常に適切な予備バルブを携行してください。◀

考えられる原因:

- 1 個または複数のバルブが故障しています。
- 故障しているバルブを目視点検により特定します。

- ロービーム / ハイビーム用バルブを交換する(▶▶▶ 131)。
- ポジションライト / パーキングライト用バルブを交換する(▶▶▶ 132)。
- LED ヘッドライトの交換(▶▶▶ 135)。
- フロント / リヤのウインカー用バルブを交換する(▶▶▶ 134)。
- LED テールライトを交換する(▶▶▶ 135)。
- LED ウインカーを交換する(▶▶▶ 135)。

DWA バッテリーが弱っている

- 盗難警報装置 (DWA)^{OE} 装備
DWALO !が表示されます。



注記

このエラーメッセージは、短時間、Pre-Ride-Check（走行前点検）の直後にのみ表示されます。◀

考えられる原因:

DWA バッテリーがフル充電されていません。DWA の機能が保証されるのは、バッテリーのターミナルを外している場合、ごく限られた時間内のみです。

- BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

DWA バッテリーが空になっている

– 盗難警報装置 (DWA)^{OE} 装備



ジェネラル警告灯 (黄) が点灯します。

DWA !が表示されます。



注記

このエラーメッセージは、短時間、Pre-Ride-Check (走行前点検) の直後にのみ表示されません。◀

考えられる原因:

DWA バッテリーが充電されていません。DWA の機能は、バッテリーのターミナルを外している場合、保証されません。

- BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

タイヤ充填圧が許容限界域にある

– タイヤ圧コントロール (RDC)^{OE} 装備



ジェネラル警告灯 (黄) が点灯します。



タイヤ記号 (1 本または 2 本の矢印付き) が表示されます。さらに、タイヤ充填圧が限界値に達すると点滅します

上向き矢印はフロントホイールの充填圧の問題を示し、下向き矢印はリアホイールの充填圧の問題を示しています。

考えられる原因:

測定されたタイヤ充填圧が許容限界域にあります。

- Rider's Manual 裏表紙の記載に従って、タイヤ充填圧を調整します。



注記

タイヤ充填圧を調整する前に、「技術情報」の章にある温度補正および充填圧の調整に関する情報を参照してください。◀

タイヤ充填圧が許容範囲外にある

– タイヤ圧コントロール (RDC)^{OE} 装備



ジェネラル警告灯 (赤) が点滅します。



タイヤ記号 (1 本または 2 本の矢印付き) が表示されます。さらに、タイヤ充填圧が限界値に達すると点滅します

**警告**

タイヤ充填圧が許容範囲外にある。

車両の走行特性の低下。

- 走行スタイルを適宜調整してください。◀

上向き矢印はフロントホイールの充填圧の問題を示し、下向き矢印はリアホイールの充填圧の問題を示しています。

考えられる原因:

測定されたタイヤ充填圧が許容範囲外にあります。

- タイヤが損傷していないか、走行に適した状態か点検します。

タイヤがまだ使用可能な状態の場合:

- できるだけ早く、タイヤ充填圧を修正します。

**注記**

タイヤ充填圧を調整する前に、「技術情報」の章にある温度補

正および充填圧の調整に関する情報を参照してください。◀

**注記**

オフロードモードでは、RDC 警告メッセージを OFF にすることができます。◀

- BMW Motorrad ディーラーに、タイヤが損傷していないか、点検を依頼してください。

タイヤの走行性に関して安全が確認できない場合:

- 走行を続けしないでください。
- エマージェンシーサービスに知らせます。

センサーの故障またはシステムエラー

– タイヤ圧コントロール (RDC) OE 装備



ジェネラル警告灯 (黄) が点灯します。



タイヤ記号 (1 本または 2 本の矢印付き) が表示されます

考えられる原因:

RDC センサー非装備のホイールが装着されています。

- RDC センサー付きホイールセットを後付けします。

考えられる原因:

1 つまたは 2 つの RDC センサーが故障しているか、またはシステムエラーが発生しています。

- BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。


伝送障害

– タイヤ圧コントロール (RDC) OE 装備

「--」または「-- --」が表示されます

考えられる原因:

車両が最小速度に達していませんでした (▶▶ 112)。

 RDC センサーは OFF

min 30 km/h (最低速度を超過した後初めて、RDC センサーは信号を車両に発信します。)

- RDC 表示を、高速走行時に点検します。さらにジェネラル警告灯が点灯する場合には、継続している不具合があることを示します。このような場合には、
- BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

考えられる原因:

RDC センサーへの無線接続に障害が発生しています。原因としては、周辺に無線機器 / システム類があり、これらが RDC コントロールユニットとセンサー間

の接続を妨害している、ということが考えられます。

- RDC 表示を、別の環境 / 状況で点検します。さらにジェネラル警告灯が点灯する場合には、継続している不具合があることを示します。このような場合には、
- BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

タイヤ充填圧センサーのバッテリーが弱い

– タイヤ圧コントロール (RDC) OE 装備



ジェネラル警告灯 (黄) が点灯します。

RDC! が表示される



注記

このエラーメッセージは、短時間、Pre-Ride-Check (走行前点

検) の直後にのみ表示されます。◀

考えられる原因:

タイヤ充填圧センサーのバッテリーがフル充電されていません。タイヤ充填圧コントロール機能が保証されるのは、ご限定された時間内のみです。

- BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

ABS 自己診断が終了していません



ABS 警告灯が点滅します。

考えられる原因:

 ABS 自己診断が終了して
いません

ABS は、自己診断が終了し
なかったため、使用できませ
ん。(ホイール回転数センサー
を点検するには、モーターサイ
クルが最低速度に達する必要
があります: 5 km/h)

- ゆっくりと発進します。自己
診断が終了するまで ABS 機能
が使用できないことに注意して
ください。

ABS の故障



ABS 警告灯が点灯します。

考えられる原因:

ABS コントロールユニットが故
障を検知しました。ABS 機能
は使用できません。

- 走行を続けることは可能で
す。ABS のエラーメッセー
ジを引き起こす可能性のあ

る特別な状況についての、
詳細な情報をご確認ください
(▶▶▶ 108)。

- できる限り早
く、BMW Motorrad ディー
ラーに故障の修理を依頼して
ください。

ABS が OFF になっている



ABS 警告灯が点灯します。

考えられる原因:

ABS システムは、ライダーによ
り OFF にされました。

- ABS 機能を ON にします。

ASC 介入



ASC 警告灯が素早く点滅し
ます。

ASC がリヤホイールの不安定
な状態を検知し、トルクを制限し
ます。警告灯は、ASC 介入より
も長く点滅し続けます。これに
より、厳しい走行状態の後でも、
ライダーは制御が正常に行われた

旨のフィードバック表示を目に
することができます。

ASC-自己診断が終了して いません



ASC 警告灯がゆっくりと点
滅します。

考えられる原因:




ASC 自己診断が終了し
ていません

自己診断が終了しなかつた
ため、ASC は使用できませ
ん。(ホイールセンサーを点
検するには、モーターサイク
ルが最低速度に達する必要が
あります: min 5 km/h)

- ゆっくりと発進します。数
m 走行後、ASC 警告灯は消
灯します。
- ASC 警告灯が点滅し続けます。
- BMW Motorrad ディーラーに点
検を依頼してください。

ASC が OFF になっている


 ASC 警告灯が点灯します。

考えられる原因:

ASC システムは、ライダーにより OFF にされました。

- ASC 機能を ON にします。

ASC の故障

 ASC 警告灯が点灯します。


考えられる原因:

ASC コントロールユニットが故障を検知しました。ASC 機能は使用できません。

- 走行を続行することは可能です。ASC 機能が使用できないことに注意してください。ASC の故障を引き起こしうる状況についての、詳細な情報をご確認ください (▶ 111)。
- できる限り早く、BMW Motorrad ディー

ラーに故障の修理を依頼してください。

ESA 故障

 ジェネラル警告灯 (黄) が点灯します。


ESA!が表示されます。

考えられる原因:

ESA コントロールユニットが故障を検知しました。モーターサイクルはこの状態では減衰力が非常に強くなり、路面状態が悪い所では特に走りが不快になります。

- できる限り早く、BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

燃料がリザーブ容量に達している

 燃料残量警告灯が点灯します。

警告


燃料不足による不規則なエンジン回転またはエンジン停止。

事故の危険。触媒コンバーターの損傷。

- フューエルタンクを空にしないでください。◀


考えられる原因:

フューエルタンクには、リザーブ用フューエルがまだ最大容量入っています。

	フューエルリザーブ容量
約 4 l	

- 給油手順 (▶▶▶ 98)。

エンジンコントロールの重度の不具合

 ジェネラル警告灯 (黄) が点滅します。



エンジンアイコンが点滅します。



警告

エマージェンシーモード時のエンジンの損傷。

事故の危険

- 走行スタイルを状況に合わせます：低速で走行し、急激な加速や追い越しは避けてください。
- できれば車両を引き取りにきてもらい、専門の整備工場またはBMW Motorrad ディーラーに修理を依頼してください。◀

考えられる原因:

エンジンマネジメントシステムが重度の不具合につながるおそれが不具合を検出しました。エンジンはエマージェンシーモードにあります。

- 走行を続けることは可能ですが、推奨されません。

- 高負荷高回転数域での走行は、できるかぎり避けてください。
- できる限り早く、BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

エンジンオイルレベルが低すぎる



オイルタンクアイコンが表示されます。

OILLVL CHECK が表示されます。

考えられる原因:

電子式オイルレベルセンサーがエンジンオイルレベルが低すぎることを検知しました。次の燃料補給時に:

- エンジンオイルレベルを点検する(▶▶ 115)。

オイルレベルが低すぎる場合:

- エンジンオイルを補充する(▶▶ 116)。

オイルレベルが正常な場合:

- BMW Motorrad ディーラーに点検を依頼してください。

バッテリー充電電圧が不十分



ジェネラル警告灯 (赤) が点灯します。



バッテリーアイコンが表示されます。



警告

バッテリーの放電による、ライト、エンジン、ABS などのさまざまな車両システムの故障。

事故の危険

- 走行を続けしないでください。◀

バッテリーが充電されていません。走行を続けると、車両の電子機器がバッテリーを放電します。



注記

12V バッテリーが誤って取り付けられている場合、または極性に誤りがある場合 (ジャンプ

タートの場合など)、オルタネーターレギュレーター（電圧調整器）のヒューズが溶断するおそれがあります。◀


考えられる原因:

オルタネーターまたはオルタネータードライブが故障、またはオルタネーターレギュレーター（電圧調整器）用ヒューズが溶断。

• できる限り早

く、BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

外気温度

停車している時には、エンジン放射熱により外気温度の測定に誤差が生じる場合があります。エンジン放射熱の影響が著しい場合には、一時的に  が表示されます。



外気温度が 3 °C 以下の場合、路面凍結のおそれがあります。この温度を最初に下回った時点で、ディスプレイ設定の状態にかかわらず自動的に外気温度表示 **1** に切り替わり、表示された値が点滅します。



さらに氷結アイコン **2** が表示されます。



警告

3 °C を超えており、路面凍結警告がない場合でも、路面が凍結している危険。

凍結した路面による事故を起こす危険。

• 外気温度が低い場合、橋の上や陰になった暗い路面は凍結しているおそれがあることを考慮してください。◀

フューエルリザーブ容量

燃料残量警告灯の点灯時に燃料タンク内に残っている燃料の量は、走行ダイナミクスに左右されます。タンク内の燃料が激しく動くほど（傾きの頻繁な変化、頻繁な減速および加速による）、リザーブ容量の測定は困難になります。この理由から燃料残量を正確に示すことはできません。



燃料残量警告灯を ON にすると、自動的に走行可能距離が表示されます。

このリザーブ容量で走行できる距離は、運転スタイル（燃費）と警告灯の点灯時点でまだ使用可能な燃料の量に左右されます（前の説明を参照）。

給油後に燃料の量がリザーブ容量より多くなると、燃料残量用の距離計はリセットされます。

オイルレベル注意



オイルレベル注意 **1** では、エンジンオイルレベルに関する情報が提供されます。停車しているときのみ、呼び出しができます。

オイルレベル注意には、以下の条件が満たされている必要があります。

- エンジンが作動温度に達していること
- エンジンを 10 秒間以上アイドリングさせていること
- サイドスタンドが格納されていること
- モーターサイクルが平坦な場所に真っ直ぐに立っていること

表示の意味：

- OK：オイルレベルは正常です。
- CHECK：次回の燃料補給時にオイルレベルを点検してください。
- ：オイルレベルを測定できません（前述の条件が満たされていません）。



オイルレベルを点検する必要がある場合は、オイルレベルが正常だと検知されるまで、アイコン **2** が表示されます。

サービス表示



次回サービスまでの期間が 1 カ月以内、または次回サービスが 1000 km 以内に実施予定の場合には、サービス時期 **1** および残余走行距離 (km) **2** が Pre-Ride-Check (走行前点検) に続いて短時間表示されます。



サービス時期を過ぎた場合には、期日または走行距離に関する指示を示すため、さらにジェネラル警告灯が黄色く点灯します。サービス表示はずっと表示され続けます。

注記

サービス期日まで1ヶ月以上あるのにサービス表示が表示されている場合、メーターパネルに設定されている日付を調整する必要があります。この症状は、バッテリーが長時間外されたままのときに発生することがあります。


日付の調整に関しては、BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。◀


タイヤ充填圧

ータイヤ圧コントロール (RDC)
OE 装備



左の数値 **1** はフロントホイールの充填圧を、右の数値 **2** はリアホイールの充填圧を示しています。イグニッションが ON にするとただちに、「-- --」が表示されます。タイヤ圧値の伝送は、速度が 30 km/h を超えた後に、初めて開始されます。表示されるタイヤ圧はタイヤ内の空気温度 (20 °C) と関連しています。

 さらにアイコン **3** が表示される場合には、警告に関わる問題です。タイヤ充填圧が限界値に達すると点滅します。

 該当する値が許容限界域にある場合には、さらにジェネラル警告灯 (黄) が点灯します。測定されたタイヤ充填圧が許容範囲外にある場合は、ジェネラル警告灯 (赤) が点滅します。

BMW Motorrad RDC に関する詳細な情報は、(▶▶▶ 112) ページ以降をご覧ください。

シフトアップ推奨

シフトアップ推奨は必ずディスプレイ設定で ON にします (▶▶▶ 52)。



シフトアップ推奨 **1** はシフトアップに経済的に最良の時点で信号伝達します。

取扱方法

イグニッション.....	44	クルーズコントロール.....	71
Keyless Ride によるイグニッション.....	46	スプリングプリロード.....	73
マルチファンクションディスプレイ.....	51	ショックアブソーバー.....	74
盗難警報装置 (DWA).....	57	ダイナミック ESA (電子調整式サスペンション).....	75
イグニッションキルスイッチ.....	59	クラッチ.....	77
ヘッドライト.....	60	ブレーキ.....	77
ライト.....	61	タイヤ.....	78
デイライト.....	62	ハンドルバー.....	79
ウインカー.....	64	グリップヒーター.....	79
ハザードランプ.....	64	ミラー.....	80
BMW Motorrad Integral ABS.....	65	ウインドシールド.....	80
オートマチックスタビリティコントロール (ASC).....	66	フロントおよびリヤシート.....	81
走行モード.....	67		

イグニッション

キー

イグニッションキーは 2 本あります。

キーを紛失した場合には、電子式イモビライザー (EWS) (▶▶▶ 46) に関する注意事項に従ってください。

イグニッションスイッチ / ステアリングロック、タンクキャップ、シートロックは、1 本の同じキーで操作できます。

ー ケース OA 装備

ー トップケース OA 装備

ご要望により、ケースおよびトップケースも車両キーで操作するようにできます。この件につきましては、BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

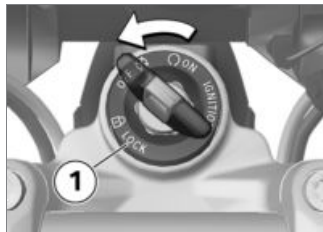
ステアリングロックをロックする

重要事項

サイドスタンドで立てているときのハンドル位置が間違っている。

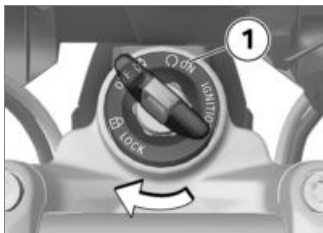
転倒によるコンポーネントの損傷。

- 平坦な路面では、ステアリングをロックする際に、必ずハンドルバーを左に回してください。
- そうでない場合には、ハンドルバーが左方向または右方向へ回るかどうか、路面の傾きを確認してください。◀
- ハンドルバーを左または右に回します。



- ハンドルバーを少し動かしながら、キーをポジション 1 に回します。
- » イグニッション、ライトとすべての電気回路が OFF になります。
- » ステアリングロックがロックされます。
- » キーを抜き取ることができます。

イグニッションを ON にする



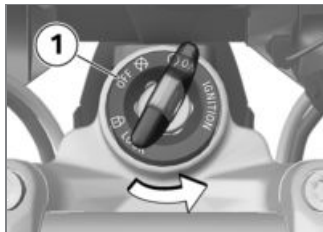
- キーをイグニッションロックに挿入し、ポジション **1** に回します。
- » スモールライトおよびすべての電気回路が ON になります。
- » Pre-Ride-Check が実行されます(▶▶▶ 90)
- » ABS 自己診断が実施されます(▶▶▶ 90)
- » ASC 自己診断が実施されます(▶▶▶ 91)

ウェルカムライト

- LED ヘッドライト^{OE} 装備
- デイライト^{OE} 装備
- LED 補助ヘッドライト^{OA} 装備

- イグニッションを ON にします。
- » スモールライトが短時間点灯します。
- デイライト^{OE} 装備
- » デイライトが短時間点灯します。◁
- LED 補助ヘッドライト^{OA} 装備
- » LED 補助ヘッドライトが短時間点灯します。◁

イグニッションスイッチを OFF にする



- 車両キーをポジション **1** に回します。
- » イグニッションのスイッチをオフにすると、メーターパネルはもう少しの間 ON のままで、場合により故障メッセージを表示します。
- » ステアリングロックが解除されます。
- » 追加装備機器は限られた時間内で使用できます。
- » 電源ソケットからバッテリーの充電ができます。

» キーを抜き取ることができません。

- デイライト^{OE}装備
- LED ヘッドライト^{OE} 装備
- イグニッションを OFF にした後、短時間でデイライトが消灯します。◀
- LED 補助ヘッドライト^{OA} 装備
- イグニッションを OFF にした後、短時間で LED 補助ヘッドライトが消灯します。◀

電子式イモビライザー (EWS)

モーターサイクルの電子制御システムは、イグニッションロックのリングアンテナを介して、車両キーに内蔵されているデータを確認します。このキーが「権限あり」と認識されて初めて、エンジンマネジメントシステムがエンジンの始動を許可します。



注記

その他の車両キー（スペアキーなど）が始動用イグニッションキーと一緒に取り付けられていると、電子機器が「認識されない」ことがあり、エンジンの始動が許可されない場合があります。マルチファンクションディスプレイに警告がキーマークで表示されます。スペアキーは必ず車両キーと別に保管してください。◀

車両キーを紛失した場合は、BMW Motorrad ディーラーでこのキーを停止させることができます。そのためには必ず、モーターサイクルに付属している他のすべてのキーもお持ちください。使用停止となったキーでエンジンを始動させることはできなくなります。しかし、使用停止となったキーを再度登録し直すことは可能です。

非常用および追加のスペアキーは、BMW Motorrad ディーラーからのみ入手できます。キーはセーフティシステムの一部ですので、ディーラーではお渡しする方の身元を確認させていただきます。

Keyless Ride によるイグニッション

- Keyless Ride^{OE}装備

キー



注記

無線キーをサーチしている間は、無線キー用インジケーターが点滅します。無線キーまたはスペアキーが検知されると、消灯します。無線キーまたはスペアキーが検知されない場合には、短時間点灯します。◀

お客様にお渡しするのは、無線キー 1 本ならびにスペアキー

1本です。キーを紛失した場合には、電子式イモビライザー (EWS) (▶▶ 46) に関する注意事項に従ってください。

イグニッション、タンクキャップ、盗難警報装置は、無線キーを使用して制御します。シートロック、トップケース、ケースは手動で操作することができます。



注記

無線キーが手に届く範囲にないと (ケース内またはトップケース内など)、車両を始動することはできません。また、集中ロックシステムをロックする / ロック解除することはできません。走行可能距離を超過すると、イグニッションが約 1.5 分後に OFF になり、集中ロックシステムのロックが**行われません**。無線キーを身に付けておく (ジャケットのポケットなど) か、またはスペアキーを携行することをお勧めします。◀



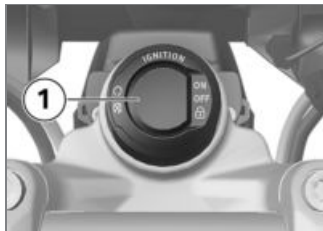
Keyless Ride の走行可能
距離無線キー

- Keyless Ride^{OE}装備

約 1 m<

ステアリングロックをロックする

前提条件：ハンドルバーが左または右方向に回っている状態。
無線キーは受信範囲内です。



重要事項

サイドスタンドで立てているときのハンドル位置が間違っている。

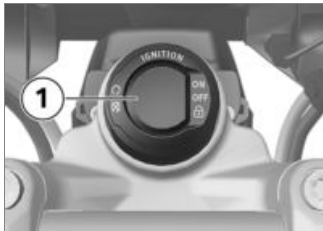
転倒によるコンポーネントの損傷。

- 平坦な路面では、ステアリングをロックする際に、必ずハンドルバーを左に回してください。
- そうでない場合には、ハンドルバーが左方向または右方向へ回るかどうか、路面の傾きを確認してください。◀
- ボタン **1** を押し続けます。

- » ステアリングロックが音をたててロックします。
- » イグニッション、ライトとすべての電気回路が OFF になります。
- ステアリングロックをロック解除するには、ボタン **1** を短押しします。

イグニッションを ON にする

前提条件：無線キーは受信範囲内です。



- イグニッションは、以下の**2**つの方法で ON にすることができます。

バリエーション 1:

- ボタン **1** を短押しします。
- » スモールライトおよびすべての電気回路が ON になります。
- デイライト OE 装備
- LED ヘッドライト OE 装備
- » デイライトは ON の状態です。◁
- LED 補助ヘッドライト OA 装備
- » LED 補助ヘッドライトは ON の状態です。◁
- » Pre-Ride-Check が実行されます(▶▶ 90)
- » ABS 自己診断が実施されます(▶▶ 90)
- » ASC 自己診断が実施されます(▶▶ 91)

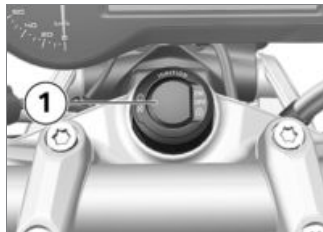
バリエーション 2:

- ステアリングロックがロックされます。ボタン **1** を押し続けます。
- » ステアリングロックがロック解除されます。

- » パーキングライトとすべての電気回路が ON になります。
- » Pre-Ride-Check が実行されます(▶▶ 90)
- » ABS 自己診断が実施されます(▶▶ 90)
- » ASC 自己診断が実施されます(▶▶ 91)

イグニッションスイッチを OFF にする

前提条件：無線キーは受信範囲内です。



- イグニッションは、以下の**2**つの方法で OFF にすることができます。

バリエーション 1:

- ボタン **1** を短押しします。
- » ライトが OFF になります。
- » ステアリングロックが解除されます。

バリエーション 2:

- ハンドルバーを左または右に回します。
- ボタン **1** を押し続けます。
- » ライトが OFF になります。
- » ステアリングロックがロックされます。

電子式エンジン始動ロックシステムEWS

モーターサイクルの電子制御システムは、無線ロックのリングアンテナを介して、無線キーに内蔵されているデータを確認します。無線キーが「権限あり」と認識されてはじめて、エンジンコントロールユニットが、エンジン始動を許可します。



注記

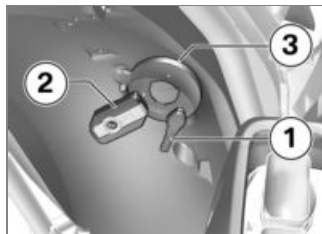
その他の車両キー（スペアキーなど）が始動用無線キーと一緒に取り付けられていると、電子機器が「認識されない」ことがあり、エンジンの始動が許可されない場合があります。マルチファンクションディスプレイに警告がキーマークで表示されます。スペアキーは必ず無線キーとは別に保管してください。◀

無線キーを紛失したときなどには、BMW Motorrad ディーラーでそのキーの使用を停止することができます。そのためには、必ず、モーターサイクルに付属している他のすべてのキーもお持ちください。

使用停止となった無線キーでエンジンを始動させることはできなくなります。しかし、使用停止となった無線キーを再度登録し直すことは可能です。

非常用および追加のスペアキーは、BMW Motorrad ディーラーからのみ入手できます。無線キーはセーフティシステムの一部ですので、ディーラーではお渡しする方の身元を確認させていただきます。

無線キーのバッテリーが空になっているか、または無線キーの紛失




- キーを紛失した場合には、電子式イモビライザー (**EWS**) に関する注意事項に従ってください。
- 走行中に無線キーを紛失した場合には、スペアキーを使用し

て車両を始動させることができません。

- 無線キーのバッテリーが空になっている場合には、リアフェンダーに無線キーを接触させることにより車両を始動させることができます。
- スペアキー **1** または空の無線キー **2** を、リアフェンダーのところでアンテナ **3** の高さで保持します。

注記

スペアキーまたは空の無線キーが、リアフェンダーに**しっかりと接して**いなければなりません。◀

 エンジン始動をその間に行わなければならない時間。その後、再度ロック解除を行う必要があります。

30 s

- » Pre-Ride-Check (走行前点検) が行われます。
- キーが検知されました。

– エンジンを始動することができません。

- エンジンを始動する(▶▶ 89)。

無線キーのバッテリーを交換する

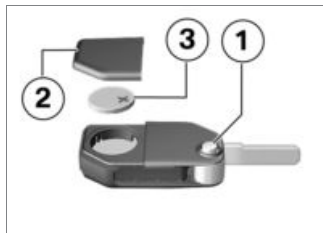
無線キーが、ボタンを短押しまたは長押ししても反応しない場合：

- バッテリーがフル充電になりません。

» バッテリーを交換します。



バッテリーアイコンが表示されます。



- ボタン **1** を押します。

» キーの歯部分が開きます。

- バッテリーカバー **2** を押し上げます。
- バッテリー **3** を取り外します。
- 取り外した既存のバッテリーを法的規定に従って処分します。バッテリーは家庭ゴミの中に入れて捨てないでください。



重要事項

不適切なバッテリー、または正しくない入れ方のバッテリー。

コンポーネントの損傷

- 規定のバッテリーを使用してください。
- バッテリーを組み込む際に、極性が正しいか確認してください。◀
- 新品のバッテリーをプラスターミナルを上に向けて組み込みます。



バッテリータイプ

Keyless Ride 用無線キー

CR 2032

- バッテリーカバー **2** を取り付けます。
- » メーターパネルで LED (赤) が点滅します。
- » リモートコントロールは再び待機状態になっています。

マルチファンクションディスプレイ

表示を選択する

- イグニッションを ON にする(➡ 45)。



- ボタン **1** を短時間操作し、上側ディスプレイ行の表示 **2** を選択します。

標準装備では以下の値が表示され、ボタン操作により選択することができます：

- 総走行距離 (ODO)
- トリップメーター 1 (TRIP I)
- トリップメーター 2 (TRIP II)
- 走行可能距離 (RANGE)
- SETUP メニュー (SETUP)、停車時のみ

- オンボードコンピュータ
- Pro^{OE} 装備

以下のインフォメーションはオンボードコンピュータ Pro と補足として表示されます：

- オートマチックオドメーター / トリップメーター (TRIP A)
- 瞬間燃料消費量 (CONS C)
- 瞬間速度 (SPEED)◀



- ボタン **1** を短時間操作し、下側ディスプレイ行の表示 **2** を選択します。

標準装備では以下の値が表示され、ボタン操作により選択することができます：

- 外気温度 (EXTEMP)
- エンジン温度 (ENGTMP)
- 平均燃費 1 (CONS 1)
- 平均燃費 2 (CONS 2)
- 平均速度 (Ø SPEED)

- タイヤ圧コントロール (RDC) OE 装備
- タイヤ充填圧 (RDC) <

- 日付 (DATE)
- オイルレベル注意 (OILLVL)

- オンボードコンピュータ
-ProOE 装備
- ボードエレクトリック電源電圧 (VOLTGE)<
- オンボードコンピュータ
-ProOE 装備
- ストップウォッチの合計時間 (ALTIME)<
- オンボードコンピュータ
-ProOE 装備
- ストップウォッチの走行時間 (RDTIME)<

トリップメーターをリセットする

- イグニッションを ON にする(➡ 45)。



- ボタン **1** を、リセットするオドメーターとトリップメーターが上部ディスプレイ行 **2** に表示されるまで、繰り返し短時間押しします。
- 表示されている値がリセットされるまで、ボタン **1** を押し続けます。

平均値をリセットする

- イグニッションを ON にする(➡ 45)。



- ボタン **1** を、リセット平均値が下部ディスプレイ行 **2** に表示されるまで、繰り返し短時間押しします。
- 表示されている値がリセットされるまで、ボタン **1** を押し続けます。

機能をコンフィグレーションします

- イグニッションを ON にする(➡ 45)。



- ボタン **1** を上部ディスプレイ行 **2** にSETUP ENTER が表示されるまで、繰り返し短時間押します。
- ボタン **1** を長く操作して、SETUP メニューをスタートさせます。
- » ディスプレイの以下の表示は選択した装備に応じて異なります。



- ボタン **1** を短時間操作し、次のメニューオプションに切り替えます。
 - » 上側ディスプレイ欄 **2** にメニューオプションが表示されます。
 - » 下側ディスプレイ行 **3** に設定した値が表示されます。
 - ボタン **4** を短時間操作し、設定した値を変更します。
- 以下のメニューオプションを選択することができます：
- 盗難警報装置 (DWA)^{OE} 装備
 - DWA: 盗難警報装置を ON にする (ON) または OFF にする (OFF) ◀

- ナビゲーションシステム用取付けキット^{OE} 装備
- GPS TM: ナビゲーションシステムが取り付けられている場合：GPS 時間およびGPS 日付を引き継ぐ (ON) または引き継がない (OFF) ◀
- CLOCK: 時計の調整
- DATE: 日付の設定
- ECOSFT: シフトアップ推奨をディスプレイに表示する (ON) または表示しない (OFF)
- BRIGHT: ディスプレイ輝度を設定する、ノーマル (0) からブライツ (5)
- デイライト^{OE} 装備
- DLIGHT: オートマチックデイライトを ON にする (ON) または OFF にする (OFF) ◀
- EXITSETUP メニューを終了する
- オンボードコンピュータ
 - Pro^{OE} 装備
 - BC CUSTOM: 表示の個別化を開始します。◀



- SETUP メニューを終了するには、メニューオプションSETUP EXIT でボタン **1** を長く操作します。
- SETUP メニューを任意の個所で終了するには、ボタン **2** を長く操作します。

時計を調整する

- イグニッションを ON にする(▶▶ 45)。



警告

走行中の時計の調整。
事故の危険

- 時計の調整は、必ずモーターサイクルを停止させた状態で行ってください。◀
- SETUP メニューでメニューオプションSETUP CLOCK を選択します。



- ボタン **2** を押し続け、下部ディスプレイ行に時間 **3** を点滅させます。



注記

クロックディスプレイの代わりに「—:—」が表示されると、メーターパネルの電源供給が中断さ

れています (例えば、バッテリーの接続が外れたことによる)。◀

- 点滅している値をボタン **1** で上昇させ、ボタン **2** で下降させます。
- ボタン **2** を押し続け、下部ディスプレイ行に分 **3** を点滅させます。
- 点滅している値をボタン **1** で上昇させ、ボタン **2** で下降させます。
- 分が点滅しなくなるまで、ボタン **2** を押し続けます。
- » 設定は終了しています。
- 調整を任意の個所で中止するには、初期値が再度表示されるまで、ボタン **1** を押し続けます。



注記

設定を終える前にスタートすると、設定は中止されます。◀

日付設定

- イグニッションを ON にする(▶▶▶ 45)。
- SETUP メニューでメニューオプションSETUP DATE を選択します。



- ボタン **2** を押し続け、下部ディスプレイ行に日 **3** を点滅させます。

注記

日付の代わりに「—.—.—」が表示されると、メーターパネルの電源供給が中断されています(例えば、

ば、バッテリーの接続が外れたことによる)。◀

- 点滅している値をボタン **1** で上昇させ、ボタン **2** で下降させます。
- ボタン **2** を押し続け、下部ディスプレイ行に月 **3** を点滅させます。
- 点滅している値をボタン **1** で上昇させ、ボタン **2** で下降させます。
- ボタン **2** を押し続け、下部ディスプレイ行に年 **3** を点滅させます。
- 点滅している値をボタン **1** で上昇させ、ボタン **2** で下降させます。
- 年が点滅しなくなるまで、ボタン **2** を押し続けます。
- » 設定は終了しています。
- 調整を任意の個所で中止するには、初期値が再度表示されるまで、ボタン **1** を押し続けます。

注記

設定を終える前にスタートすると、設定は中止されます。◀

ディスプレイをパーソナライズする

—オンボードコンピュータ
—Pro^{OE} 装備

- イグニッションを ON にする(▶▶▶ 45)。
- パーソナライズメニューでは、どのインフォメーションをどのディスプレイ行に表示させるのかを調整することができます。
- SETUP メニューでメニューオプションSETUP BC BASIC を選択します。



- 個別化メニューを開始するため、ボタン **1** を短時間操作します。
- » SETUP BC CUSTOM が表示されます。
- 個別化メニューを終了するため、ボタン **1** を再び短時間操作します。



注記

SETUP BC BASIC が選択されると、初期設定が再度有効になります。パーソナライズCUSTOM は保存されている。 ◀



- ボタン **1** を長く操作して、最初のメニューオプションを表示します。
- » SETUP BC ODO が表示されます。



- ボタン **2** を短時間操作し、次のメニューオプションに切り替えます。
- » 上側ディスプレイ欄 **3** にメニューオプションが表示されます。
- » 下側ディスプレイ行 **4** に設定した値が表示されます。以下の値を調整することができます。
- TOP: 値が上側ディスプレイ欄に表示されます。
- BELOW: 値が下側ディスプレイ欄に表示されます。
- BOTH: 値は両方のディスプレイ行に表示されます。

- OFF: 値は表示されません。
 - ボタン **1** を短時間操作し、設定した値を変更します。
- 以下のメニューオプションを選択することができます。括弧の中には初期設定が書かれています。メニューオプションの中には、オプション装備品がある場合のみ表示されるものもあります。
- ODO: オドメーター (TOP、設定OFF はできません)
 - TRIP 1: トリップメーター 1 (TOP)
 - TRIP 2: トリップメーター 2 (TOP)
 - TRIP A: オートマチックトリップメーター (TOP)
 - EXTEMP: 外気温度 (BELOW)
 - ENGTMP: エンジン温度 (BELOW)
 - RANGE: 走行可能距離 (TOP)
 - CONS R: 走行可能距離計算の平均燃費 (OFF)

- CONS 1: 平均燃費 1 (BELOW)
- CONS 2: 平均燃費 2 (BELOW)
- CONS C: 瞬間燃料消費量 (TOP)
- ØSPEED: 平均速度 (BELOW)
- SPEED: 瞬間速度 (TOP)
- RDC: タイヤ充填圧 (BELOW)
- VOLTGE: ボードエレクトリック電源電圧 (BELOW)
- ALTIME: ストップウォッチの合計時間 (BELOW)
- RDTIME: ストップウォッチの走行時間 (BELOW)
- DATE: 日付 (BELOW)
- SERV T: 次回サービスの日付 (OFF)
- SERV D: 次回サービスまでの残余走行距離 (OFF)
- OILLVL: オイルレベル注意 (BELOW)
- EXIT: パーソナライズを終了する



- パーソナライズメニューを終了するには、メニューオプションSETUP EXIT でボタン **1** を長く操作します。
 - パーソナライズメニューを任意の個所で終了するには、メニューオプションでボタン **2** を長く操作します。
- » これまで行った設定はすべて保存されます。

盗難警報装置 (DWA)

- 盗難警報装置 (DWA)^{OE} 装備

作動

- イグニッションを ON にする(▶▶▶ 45)。
- DWA を調整します(▶▶▶ 59)。
- イグニッションを OFF にします。
- ▶ DWA が ON の場合、DWA はイグニッション OFF の後に自動的に ON になります。
- ▶ 作動状態にするには約 30 秒かかります。
- ▶ ウインカーが 2 回点灯します。
- ▶ 操作音が 2 回鳴ります (プログラミングされている場合)。
- ▶ DWA は作動状態です。

アラーム

アラームの発報は、以下によっても引き起こされることがあります：

- モーションセンサー
- 不正なキーによるイグニッション ON
- 車両バッテリーから DWA を取り外す (DWA バッテリーが電

源供給。アラーム音のみ、ウインカーの点灯なし)

DWA バッテリーが放電している場合、車両バッテリーからの取り外し時のアラームの発報が行われなくなる以外は、全機能が保持されたままになります。

アラームの発報時間は約 26 秒間です。発報中は、アラーム音が鳴り、ウインカーが点滅します。アラーム音の種類は BMW Motorrad ディーラーに調整させることができます。

ライダー不在時にアラームが発報していた場合には、イグニッションを ON にした時にアラーム音が 1 回鳴ってそれを知らせます。引き続き、DWA 表示灯がアラーム原因について 1 分間、信号を発信します。

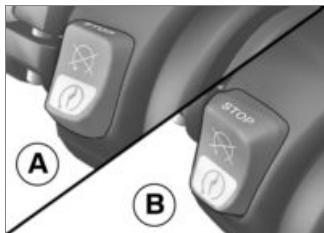
点滅信号数の意味：

- 1 回点滅：モーションセンサー 1
- 2 回点滅：モーションセンサー 2
- 3 回点滅：不正なキーを使用して、イグニッションが ON にされた
- 4 回点滅：車両バッテリーから DWA が取り外されている
- 5 回点滅：モーションセンサー 3

作動解除

- イグニッションキルスイッチを通常の操作ポジションにします。
- イグニッションを ON にします。
- ▶ ウインカーが 1 回点灯します。
- ▶ 操作音が 1 回鳴ります (プログラミングされている場合)。
- ▶ DWA は OFF の状態です。

イグニッションキルスイッチにより、エンジンをすばやく簡単に停止することができます。



- A** エンジン停止
B 通常の操作ポジション

ヘッドライト

光軸およびスプリングプリロード

通常、積載条件に応じてスプリングプリロードを調整することにより、光軸は常に一定になります。

ただし、負荷が非常に高い場合には、スプリングプリロードを適切

に調整することができません。その場合は、光軸を重量に応じて調整してください。

注記

光軸が正しく調整されているか疑わしい場合には、できればBMW Motorrad、もしくは専門の整備工場に調整状態を確認するよう依頼してください。◀

光軸を調整する



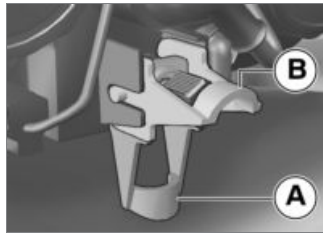
負荷が非常に高い場合には、対向車の目をくらませないように、スプリングプリロードを適切に調整することができません。

- アジャストノブ **1** を反時計回りに回して、ヘッドライトを下げます。

モーターサイクルを再度、積載を少なくして走行する場合：

- ヘッドライトの基本調整を専門の整備工場に、できれば、BMW Motorrad パートナーに依頼してください。

— LED ヘッドライト^{OE} 装備



- 光軸の調整はスイングレバーによって行います。
- **A** 通常の光軸
- **B** 負荷が高い場合の光軸◀

ライト

ロービームおよびポジションライト / パーキングライト

イグニッションを ON にすると、パーキングライトは自動的に ON になります。



注記

ポジション / パーキングライトはバッテリーを消耗させます。必要な場合にのみ、イグニッションを ON にしてください。◀

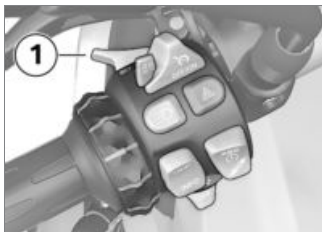
エンジンが始動すると、ロービームは自動的に ON になります。

ーデイライト^{OE}装備

またはロービームの代わりに、昼間の間はデイライトを ON にすることもできます。

ハイビームヘッドライトとパッシングライト

- イグニッションを ON にする(▶▶▶ 45)。



- スイッチ **1** を前方へ押し、ハイビームヘッドライトを ON にします。
- スイッチ **1** を後方へ引き、パッシングライトを操作します。

パーキングライト

- イグニッションスイッチを OFF にする(▶▶▶ 45)。



- イグニッションを OFF にした直後、パーキングライトが ON になるまで、ボタン **1** を左方向へ押した状態で保ちます。
- パーキングライトを OFF にするため、イグニッションを ON にしてから再び OFF にします。

補助ヘッドライト

ーLED 補助ヘッドライト^{OA} 装備

前提条件：補助ヘッドライトはロービームが作動している時のみ作動します；デイライトが ON

の場合は、補助ヘッドライトはONにできません。


注記

補助ヘッドライトはフォグライトとして使用することができ、悪天候の場合にのみ、設定することが認められています。それぞれの国における道路交通規則を必ず遵守してください。◀

- エンジンを始動する(▶▶ 89)。



- ボタン **1** を押し、補助ヘッドライトをONにします。

 補助ヘッドライトの表示灯が点灯します。

- ボタン **1** を再び操作し、補助ヘッドライトをOFFにします。

デイライト

— デイライト OE 装備

マニュアルデイライト

前提条件：オートマチックデイライトはOFFの状態です。

警告

暗闇でデイライトをONにする。

見えにくく、かつ対向車線のドライバーを眩惑させる。

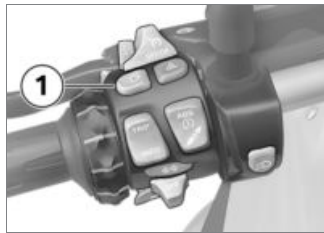
- デイライトは暗闇で使用してはいけません。◀

注記


デイライトは、ロービームに比べて対向車からの視認性に優れて

います。それにより、昼間の視認性が向上します。◀

- エンジンを始動する(▶▶ 89)。
- ディスプレイのSETUPメニューのメニュー項目DLIGHTでオートマチックデイライトをOFFに切り替えます。



- ボタン **1** を押し、デイライトをONにします。

 デイライトの表示灯が点灯します。

- » ロービーム、フロントスモールライトおよび補助ヘッドライトがOFFになります。

- 周囲が暗い場合やトンネルの中にいる場合：ボタン **1** を再度押し、デイランニングライトを OFF にして、ロービームおよびフロントスモールライトを ON にします。その際、補助ヘッドライトは再度 ON になります。

 注記

デイライトが ON の状態で、ハイビームヘッドライトが ON になると、デイライトは約 2 秒後に OFF になり、ハイビームヘッドライト、ロービーム、フロントスモールライトおよび、場合により補助ヘッドライトが ON になります。ハイビームヘッドライトが再度 OFF になると、デイライトは自動的に再度 ON になります。必要に応じて、手動で再度 ON にします。◀

オートマチックデイライト

 注記


デイライトとフロントスモールライトを含むロービームの切替は自動的に行われます。◀

 警告

ヘッドライトの自動制御は、特に霧や霏がかかっているようなときや、どんよりと曇っているような状況で、照明状況について自身で下す判断に代わるものではありません。

安全に関わる危険

- 照明状況がよくない場合には、ロービームを手動で ON にします。◀
- ディスプレイの SETUP メニューのメニューオプション DLIGHT でオートマチックデイライトを ON に切り替えます。

 デイライトの表示灯が自動的に点灯します。

» 周囲輝度が特定の値を下回ると、自動的にロービームが ON になります (例えば、トンネルの中)。十分な周囲輝度が検知されると、デイライトは再度 ON になります。デイライトがオンの場合、マルチファンクションディスプレイにデイライトアイコンが表示されます。

ライトが自動で ON になった場合の手動操作

– デイライトスイッチが操作されると、デイライトが OFF になり、ロービームおよびフロントポジションライト / パーキングライトが ON になります (トンネルに入るときに、周囲の明るさが原因でオートマチックデイライトの反応が遅れる場合など)。デイライトのスイッチを

オフにすると、補助ヘッドライトは再度 ON になります。

- デイライトスイッチがもう一度操作されると、オートマチックデイライトが再度 ON になる、つまり必要な周囲輝度に達するとデイライトが再度 ON になります。

ウインカー

ウインカーを操作する

- イグニッションを ON にする(▶▶ 45)。



- 左側ウインカーを ON にするには、ボタン **1** を左方向へ押しします。
- 右側ウインカーを ON にするには、ボタン **1** を右方向へ押しします。
- ウインカーを OFF にするには、ボタン **1** を中間の位置にします。



ウインカーキャンセル

ウインカーは、一定の走行時間および走行距離に達すると自動的に OFF になります。

ハザードランプ

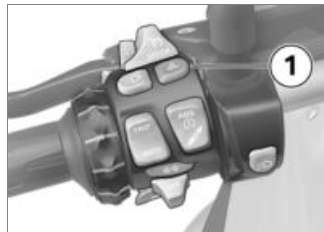
ハザードランプを操作する

- イグニッションを ON にする(▶▶ 45)。



注記

ハザードランプはバッテリーを消耗させます。ハザードランプは必要な場合だけに使用するよう请您にしてください。◀



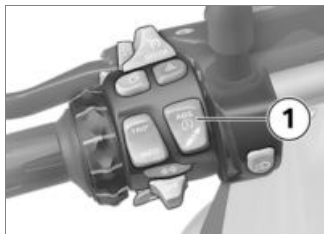
- ハザードランプを ON にするには、ボタン **1** を操作します。
- » イグニッションを OFF にすることができます。

- ハザードランプを OFF にするには、イグニッションを必要に応じて ON にし、ボタン 1 を再度操作します。

BMW Motorrad Integral ABS

ABS 機能を OFF にする

- イグニッションを ON にする(▶▶▶ 45)。



- ABS 警告灯の表示が変わるまで、ボタン 1 を押し続けます。
- » 次に、ASC アイコンの表示が変化します。ABS 警告灯

が反応するまで、ボタン 1 を押し続けます。この場合、ASC の設定は変わりません。



ABS 警告灯が点灯します。

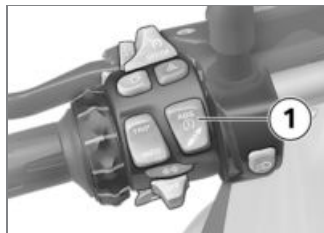
- ボタン 1 を 2 秒以内に放します。



ABS 警告灯は引き続き点灯します。

- » ABS 機能が OFF になります。インテグラル機能は作動しています。

ABS 機能を ON にする



- ABS 警告灯の表示が変わるまで、ボタン 1 を押し続けます。



ABS 警告灯が消灯します。自己診断が終了していない場合は、警告灯が点滅し始めます。

- ボタン 1 を 2 秒以内に放します。



ABS 警告灯は消灯したままか、点滅を続けます。

- » ABS 機能が ON の状態です。

- 代わりに、イグニッションを OFF にしてから再び ON にすることも可能です。

注記

イグニッションを OFF / ON にしてさらに 5 km/h 以上で走行後に ABS 警告灯が点灯する場合は、ABS が故障しています。◀

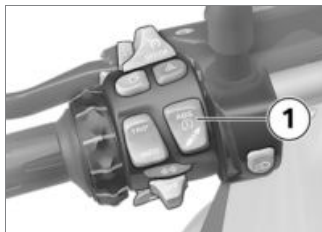
注記

BMW Motorrad Integral ABS 装備ブレーキシステムに関する詳細な情報については、「技術情報」の章をご覧ください。◀

オートマチックスタビリティコントロール (ASC)

ASC 機能を OFF にする

- イグニッションを ON にする(▶▶ 45)。



- ASC 警告灯の表示が変わるまで、ボタン 1 を押し続けます。

注記

ASC 機能は走行中も OFF にすることができます。◀

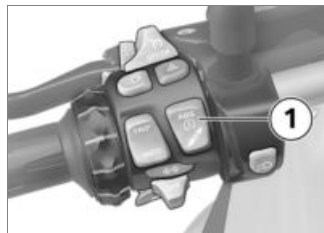


ASC 警告灯が点灯します。

- ボタン 1 を 2 秒以内に放します。
- ASC 警告灯が点灯し続けます。

» ASC 機能が OFF の状態です。

ASC 機能を ON にする



- ASC 警告灯の表示が変わるまで、ボタン 1 を押し続けます。



ASC 警告灯が点灯しなくなります。自己診断が終了していない場合には、警告灯が点滅し始めます。

- ボタン 1 を 2 秒以内に放します。
- ASC 警告灯が点灯しなくなるか、または点滅し続けます。

» ASC 機能が ON の状態です。



選択用の矢印 **1** および最初に選択可能な走行モード **2** が表示されます。



重要事項

オンロード運転中にオフロードモード (Enduro および Enduro Pro) を ON にする。

ABS または ASC の制御範囲において、ブレーキ動作または加速時に運転 / 走行状態が不安定になることによる転倒の危険。

- オフロードモード (Enduro および Enduro Pro) は、オフロード走行時のみ、ON にしてください。◀
- 選択用矢印の横に走行モードが表示されるまで、ボタン **1** 繰り返し操作します。



注記

Enduro PRO -モードの選択：リヤホイール用 ABS 制御が制限されていることに注意してください (「技術情報」の章を参照)。◀

以下の走行モードから選択することができます：

- RAIN: 雨でぬれた路面でのライディング。
- ROAD: 乾いた路面でのライディング。

- 走行モード Pro^{OE}装備

» さらに、以下の走行モードを選択することができます：

- DYNA: 乾いた路面でのダイナミックな走行。
- Enduro: オフロード走行用
- Enduro PRO: スポーティなオフロード走行用 (コーディングプラグが取り付けられている場合のみ)◀

- » 停車している場合には、選択した走行モードは約 2 秒後に ON になります。
- » 走行中に新しい走行モードを ON するには、以下の前提条件が必要です：
 - スロットルグリップがアイドル位置にある
 - クラッチが操作されている
- » 新しい走行モードが ON になった後、再度、時計が表示されます。
- » 設定されている走行モード（エンジン特性曲線の調整あり）、ABS、ASC、ダイナミック ESA は、イグニッション OFF の後にも維持されます。

RDC をオフロードモードで OFF にする

- 走行モード Pro^{OE} 装備

オフロードを低いタイヤ充填圧で走行したい場合には、Enduro / Enduro Pro 走行モード用の

RDC 警告を OFF にすることができます。

- イグニッションを ON にする(▶▶ 45)。



- ボタン **1** を上部ディスプレイ行 **2** に SETUP ENTER が表示されるまで、繰り返し短時間押します。
- ボタン **1** を長く操作して、SETUP メニューをスタートさせます。



- ボタン **1** を短時間操作し、メニューオプション RDC を選択します。
- » 上側ディスプレイ欄 **2** に RDC と表示されます。
- » 下側ディスプレイ行 **3** に設定した値が表示されます。
- ボタン **4** を短時間操作し、設定した値を変更します。
- » 以下の設定が可能です：
 - ON: RDC 用ディスプレイ警告マークが表示されなくなります。走行モード Enduro および Enduro Pro で、許容範囲外にあるタイヤ充填圧が表示されます。

- OFF: RDC 用ディスプレイ警告マークが表示され、さらに、走行モード Enduro および Enduro Pro で、許容範囲外にあるタイヤ充填圧が表示されません。

コーディングプラグを取り付ける

- 走行モード Pro^{OE} 装備

- イグニッションスイッチを OFF にする(▶▶▶ 45)。
- フロントシートを取り外す(▶▶▶ 81)。



重要事項

空いているコネクタに汚れや水分が入り込む。

機能障害

- コーディングプラグの保護キャップを外した後、再び組み込みます。◀
- コネクタ **1** の保護キャップを外します。



- そのため、ロック **1** を圧入し、キャップを引いて外します。
- コーディングプラグを組み込みます。
- イグニッションを ON にします。



コーディングプラグ用のアイコン **1** がディスプレイに表示されます。走行モード **2** Enduro PRO が選択可能です。

- » 選択された走行モードは、イグニッションを OFF にした後も保持されます。
- フロントシートを取り付ける(▶▶ 83)。

クルーズコントロール

– クルーズコントロール^{OE}装備

クルーズコントロールを ON にする

走行モード Enduro または Enduro Pro を OFF にして初めて、クルーズコントロールが使用可能になります。




- スイッチ **1** を右方向へずらしします。
- » ボタン **2** の操作がロック解除されています。

車速をセットする



- ボタン **1** を前方向へ短時間押します。

 クルーズコントロールの調整範囲

30...210 km/h



クルーズコントロールの表示灯が点灯します。

- » その時の車速を維持し、記憶します。

加速する



- ボタン **1** を前方向へ短時間押します。
- » 押すたびに速度が約 2 km/h ずつ加速します。
- ボタン **1** を前方へ押したまま保ちます。
- » 車速が無段階に加速します。
- » ボタン **1** がそれ以上操作されないと、到達した車速が維持され、保存されます。

減速する



- ボタン **1** を後方へ短時間押します。
- » 押すたびに速度が約 2 km/h ずつ減速します。
- ボタン **1** を後方へ押したまま保ちます。
- » 車速が無段階に減速します。
- » ボタン **1** がそれ以上操作されないと、到達した車速が維持され、保存されます。

クルーズコントロールを作動解除する

- ブレーキ、クラッチまたはスロットルグリップ（スロットル

を基本位置よりさらに戻し、完全に閉じる）を操作し、クルーズコントロールを作動解除します。

- » クルーズコントロール用表示灯が消灯します。

前回の速度を再設定する




- ボタン **1** を短時間後方へ押し、再び、メモリーされている車速にします。

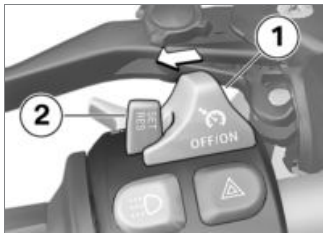
注記

スロットルを操作することでは、クルーズコントロールは作動解除されません。たとえ登録速度

以下に減速するつもりでも、スロットルグリップから手を放した後、速度は登録速度までしか下がりません。◀

 クルーズコントロールの表示灯が点灯します。

クルーズコントロールを OFF にする



- スイッチ **1** を左方向へずらします。
- » システムが OFF になります。
- » ボタン **2** が機能していません。

スプリングプリロード

調整

リヤホイールのスプリングプリロードを、モーターサイクルの積載荷重に合わせて調整してください。積載荷重が重くなれば、スプリングプリロードを高く調整し、重量が軽くなれば、それに合わせてスプリングプリロードも低く調整する必要があります。

スプリングプリロードを調整する (リヤホイール)



警告

走行中のスプリングプリロードの調整。

事故の危険

- スプリングプリロードの調整は、必ずモーターサイクルを停止させた状態で行ってください。◀

- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルを駐車します。




警告

スプリングプリロードとスプリングストラットダンピングの調整が適合していない。

走行特性の低下。

- スプリングストラットダンピングをスプリングプリロードに合わせて調整します。◀
- スプリングロードを高めるには、アジャストノブ **1** を矢印方向 HIGH に回します。

- スプリングロードを下げるには、アジャストノブ **1** を矢印方向 LOW に回します。

 リヤスプリングプリロード基本調整

– Dynamic ESA^{OE}非装備

アジャストノブを「LOW」方向にストップ位置まで回します (1 名乗車時、荷物積載なし)

アジャストノブを「LOW」方向にストップ位置まで回してから、「HIGH」方向に 15 回転回します (1 名乗車時、荷物積載あり)

アジャストノブを「LOW」方向にストップ位置まで回してから、「HIGH」方向に 30 回転回します (後席乗車時、および荷物積載あり)<

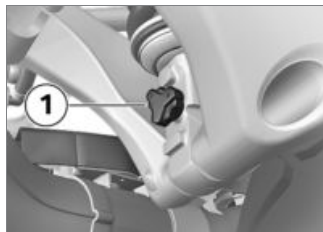
ショックアブソーバー調整

ショックアブソーバーは、必ず路面状態およびスプリングプリロードに合わせて、調整してください。


- 凸凹のある路面では、平坦な路面の場合よりも、ショックアブソーバーはソフトに設定されている方が効果的です。
- スプリングプリロードが高い場合は、ショックアブソーバーもハードに調整し、スプリングプリロードが低い場合は、ショックアブソーバーもソフトに調整する必要があります。

ショックアブソーバーを調整する (リヤホイール)

- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルを駐車します。
- 車両の左側面から減衰調整を行います。



- 減衰を高めるには、調整ボルト **1** を時計回りに回します。
- 減衰を下げるには、調整ボルト **1** を反時計回りに回します。

 リヤショックアブソーバーの基本調整

– Dynamic ESA^{OE}非装備

アジャストノブを時計回りにストップ位置まで回してから、8 回力チツという音がするまで反時計回りに回します (1 名乗車 + 荷物積載なし)



ショックアブソーバーはマルチファンクションディスプレイの **1** のエリアに表示され、スプリングプリロードは **2** のエリアに表示されます。

» 少し経つと、表示は再び自動的に消えます。

シャシーを調整する

- イグニッションを ON にする(▶▶ 45)。



- 現在の設定を表示させるため、ボタン **1** を短時間操作します。
- ショックアブソーバーを設定するには：
- ご希望の設定が表示されるまで、ボタン **1** を繰り返し短く押します。

注記

ダンピングの調整は、走行中もできます。◀

以下の設定が可能です：

- SOFT: 快適なダンピング
- NORMAL: 通常のダンピング

- HARD: スポーティなダンピング

- 走行モードPro^{OE}装備
モードEnduro およびEnduro Pro では 2 種類の設定が可能です：

- SOFT: 快適なダンピング
- HARD: スポーティなダンピング


スプリングプリロードを設定するには：

- エンジンを始動する(▶▶ 89)。
- ご希望の設定が表示されるまで、ボタン **1** を繰り返し長く押します。

注記

走行中は、スプリングプリロードを調整することはできません。◀

以下の設定が可能です：

 1 名乗車時



1 名乗車 + 荷物積載時



2 名乗車 (+ 荷物積載) 時

- 走行を続行する前に、調整作業が終了するのを待ちます。
- » ボタン **1** をしばらく操作しないでおくと、そのとき表示されていたショックアブソーバーおよびスプリングプリロードが設定されます。設定中は、ESA 表示が点滅します。
- 温度が非常に低い場合には、スプリングプリロードを高くする前に、モーターサイクルの負荷を軽減してください。必要に応じて、パッセンジャーに降りてもらってください。
- » 設定後、ESA 表示は消えます。

クラッチ

クラッチレバーを調整する

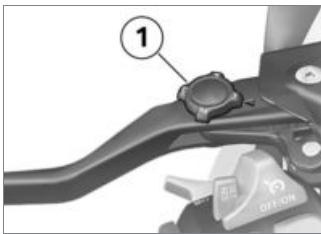


警告

走行中のクラッチレバーの調整。

事故の危険

- クラッチレバーの調整は、必ずモーターサイクルを停止させた状態で行ってください。◀



- アジャストホイール **1** をご希望の位置に回します。



注記

その際、クラッチレバーを前へ押すとアジャストホイールを簡単に回すことができます。◀

» 4 種類の設定が可能です：

- ポジション 1: ハンドルグリップとクラッチレバー間の距離は最小
- ポジション 4: ハンドルグリップとクラッチレバー間の距離は最大

ブレーキ

ブレーキレバーを調整する

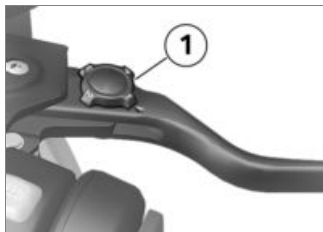


警告

走行中のブレーキレバーの調整。

事故の危険

- ブレーキレバーの調整は、必ずモーターサイクルを停止させた状態で行ってください。◀



- アジャストホイール **1** をご希望の位置に回します。

注記

その際、ブレーキレバーを前へ押しとアジャストホイールを簡単に回すことができます。◀

- » 4 種類の設定が可能です：
- ポジション 1: ハンドルグリップとブレーキレバー間の距離は最小
 - ポジション 4: ハンドルグリップとブレーキレバー間の距離は最大

タイヤ

タイヤ充填圧を点検する

警告

タイヤ充填圧が不適切。

モーターサイクルの走行特性の低下。タイヤの耐用年数の低減。

- タイヤ充填圧が正しいか確認してください。◀


警告

高速走行時に垂直に取り付けられているバルブコアが勝手に開く。


突然のタイヤ充填圧の損失。

- ラバーシール付きバルブキャップを使用し、しっかりと締め付けます。◀
- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルを駐車します。

- タイヤ充填圧を、以下のデータを使用して点検します。

 タイヤ充填圧 (フロント)

2.5 bar (タイヤ冷間時)

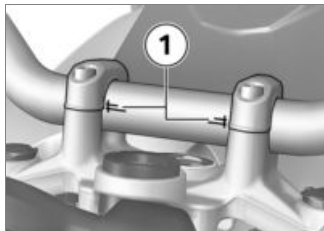
 タイヤ充填圧 (リヤ)

2.9 bar (タイヤ冷間時)

タイヤ充填圧が不十分な場合：

- タイヤ充填圧を調整します。

ハンドルバー 調整式ハンドルバー



モーターサイクルハンドルバーはマーク **1** の範囲で傾き調整ができます。ハンドルバーの調整に関しては、BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

グリップヒーター

– グリップヒーター^{OE} 装備

グリップヒーターの操作

注記

グリップヒーターは、エンジン作動時のみ作動させることができます。◀

注記

低回転域では、グリップヒーターによって電力消費が増すことによりバッテリーの放電に至ることがあります。バッテリーの充電が十分でない場合、始動性能を保持するために、グリップヒーターが OFF になります。◀

- エンジンを始動する(▶▶▶ 89)。



- ボタン **1** を、ご希望のヒーターレベル **2** が表示されるまで繰り返し押します。グリップを 2 段階で暖めることができます。



ヒーター出力 50 %



ヒーター出力 100 %

- » 2 段階目ではグリップを急速に温めることができます。その後、1 段階目に切り替えてください。

» それ以上変更が行われないと、選択した暖房レベルが設定されます。

- グリップヒーターを OFF にするには、ボタン **1** を、グリップヒーターのアイコン **2** がディスプレイに表示されなくなるまで押します。

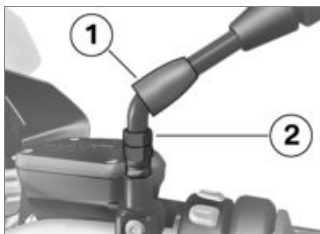
ミラー

ミラーを調整する

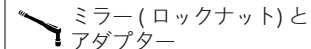


- ミラーを回してご希望の位置に調整します。

ミラーアームを調整する



- ミラーアーム接続部にかぶせてある保護キャップ **1** を上へずらします。
- ナット **2** を外します。
- ミラーアームをご希望の位置に回します。
- ミラーアームを保持しながら、ナットを締め付けトルクで締め付けます。

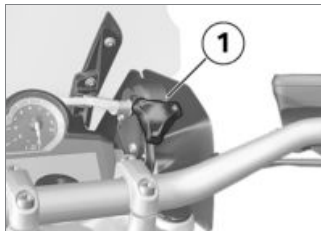


22 Nm

- 保護キャップ **1** をボルトの上へずらします。

ウインドシールド

ウインドシールドを調整する



警告

走行中のウインドシールドの調整。

転倒の危険

- ウインドシールドの調整は、必ずモーターサイクルを停止させた状態で行ってください。◀
- アジャストノブ **1** を時計回りに回して、ウインドシールドを下げます。

- アジャストノブ **1** を反時計回りに回して、ウインドシールドを上げます。

フロントおよびリヤシート リヤシートを取り外す

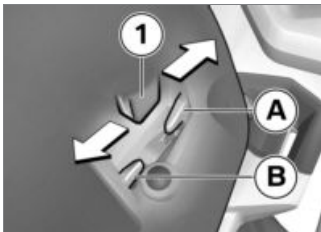
- 平坦で、固くしっかりとした路面上に、モーターサイクルを駐車します。



- シートロック **1** を車両キーを使用して右へ回して保ちます。その際、リヤシートの後部 **2** を保持しながら押し下げます。

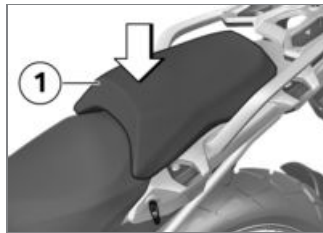
- リヤシート前部を持ち上げ、キーを放します。
- シートを取り外し、シートのカバー側を下にして、平坦で清潔な場所に置きます。

リヤシートを取り付ける



- リヤシートはシート位置を2段階に調整することができます。
- リヤシートの調整方向については、フロントシートの位置を考慮してください。
- リヤシートの両タブ **1** をホルダーの中央に組み込みます。

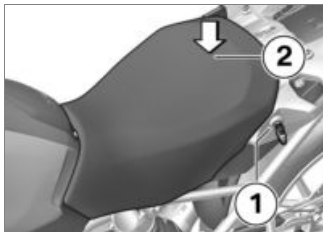
- ハイシート位置：リヤシートを後方へ **(A)** 押しします。
- ローシート位置：リヤシートを前方へ **(B)** 押しします。
- » リヤシートのタブ **1** が正しく固定されます。



- リヤシート **1** 前部を、力をこめて押し下げます。
- » リヤシートがはまる音が聞こえます。

フロントシートを取り外す

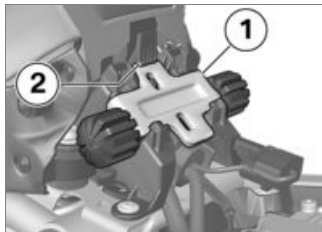
- リヤシートを取り外す(▶▶▶ 81)。



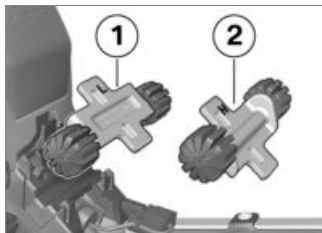
- シートロック **1** を車両キーを使用して左へ回して保ちます。その際、フロントシート **2** の後ろ側を保持しながら、下方へ押しします。
- フロントシート後部を持ち上げ、キーを放します。
- フロントシートを取り外し、シートのカバー側を下にして、平坦で清潔な場所に置きます。

フロントシートの高さ / 傾きを調整する

- フロントシートを取り外す(▶▶ 81)。



- フロント高さ調整 **1** を取り外すために、集中ロック **2** を押し下げ、高さ調整を上方へ取り外します。



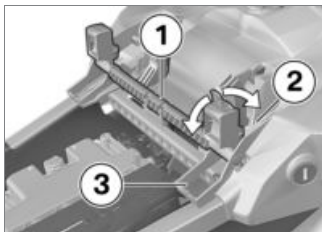
- 低いシート位置に調整するには、フロント高さ調整を方

位 **1** に取り付けます (識別ラベル L)。

- 高いシート位置に調整するには、フロント高さ調整を方位 **2** に取り付けます (識別ラベル H)。



- フロント高さ調整をまずホルダー **1** の下にスライドさせ、引き続き集中ロック **2** に押し入れてロックします。



- 低いシート位置に調整するには、リア高さ調整 **1** をポジション **3** に旋回します (識別ラベル L)。
- 高いシート位置に調整するには、リア高さ調整 **1** をポジション **2** に旋回します (識別ラベル H)。

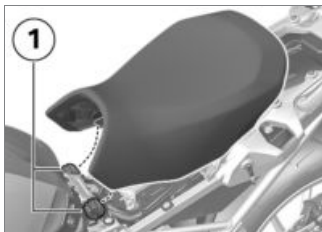
シート傾きを変更する場合：

- フロントおよびリア高さ調整を別々に位置決めします。

フロントシートを取り付ける

- リヤシートを取り外す(▶▶▶ 81)。

- フロントシートの高さ / 傾きを調整する(▶▶▶ 82)。



- フロントシートをホルダー **1** の左右に組み込みます、モーターサイクルの上に緩めに取り付けます。
- フロントシートの後部を軽く前方へ押してから、強く押し下げ、集中ロックをロックします。

走行

安全に関する注意事項.....	86
チェックリストを確認し、遵守 する	89
始動	89
慣らし走行	91
ギヤチェンジ	92
ブレーキ	93
駐車する	95
オフロード走行	96
給油	97
モーターサイクルを搬送用に固定 する	101

安全に関する注意事項

ライダーエクイップメント

正しい装備品を装着 / 着用しないでモーターサイクルに乗ることは、極めて危険です。次のアイテムを、必ず装着 / 着用してください。

- ヘルメット
- ライディングスーツ
- グローブ
- ブーツ

走行距離の長短や天候にかかわらず、これらのアイテムは必ず装着 / 着用しなければなりません。BMW Motorrad ディーラーは喜んでご相談に応じます。また、それぞれの目的に合わせた、適切なアイテムをご用意しています。

最大許容バンク角の減少

- 低サスペンション^{OE}装備

ローダウンシャシー仕様のモーターサイクルの場合、標準シャシー仕様のモーターサイクルと比べて、バンク角度が小さくなり、最低地上高も低くなります。



警告

ローダウン仕様のモーターサイクルでコーナリングを行う場合に、車両部分を通常より早めに起こすことができます。

転倒の危険

- 車両の最大許容バンク角を注意深く確認し、走行スタイルをそれに合わせて調整してください。◀

危険のない状況で、ご使用のモーターサイクルの許容バンク角を点検してください。縁石の角や障害物などを乗り越えるときには、車両の最低地上高が低く制限されていることを考慮に入れてください。

モーターサイクルをローダウン仕様にするにより、スプリングトラベルは短くなります（「テクニカルデータ」の章を参照）。それまでの走行快適性も制限される可能性があります。タンデム走行においては専用スプリングプリロードを調整する必要があります。

荷物の積み込み



警告

積載超過や不均等な積載により、走行安定性が損なわれる。

転倒の危険

- 許容総重量を超えないようにし、積載に関する注意をお守りください。◀
- スプリングプリロードおよびショックアブソーバーの設定を車両重量に合わせて調整します。

- ケース^{OA} 装備
- ケースの容量が左右均等になっているか確認します。
- 重量が左右均等になっているか確認します。
- 重いものはバッグの下部の内側に入れます。
- ケース内の注意ラベルに記載されている最大積載荷重および最高速度を遵守してください（「アクセサリ」の章も参照）。◁
- トップケース^{OA} 装備
- トップケース内の注意ラベルに記載されている最大積載荷重および最高速度を遵守してください（「アクセサリ」の章も参照）。◁
- タンクバッグ^{OA} 装備
- タンクバッグの最大容量に注意してください。



タンクバッグの積載容量

max 5 kg<

車速

高速走行時には、さまざまな周辺状況が、モーターサイクルの走行特性に悪影響を及ぼす可能性があります。

- スプリングプリロードおよびショックアブソーバーの調整
- 荷物積載のアンバランス
- 不適切な服装
- タイヤ充填圧が低すぎる
- タイヤトレッドの摩耗
- その他

スパイクタイヤまたは冬タイヤを装着している場合の最高速度



危険

モーターサイクルの最高速度が、タイヤの許容最高速度を上回っている。

高速すぎる場合、タイヤの損傷による事故の危険。

- タイヤの許容最高速度を遵守してください。◀

スパイクタイヤまたは冬タイヤを装着している場合には、これらのタイヤの許容最高速度を確認し、遵守してください。

許容最高速度を記したステッカーを、メーターパネルの見える位置に貼ってください。

有毒物質

排気ガスは無色無臭ですが、たいへん有毒な一酸化炭素を含有しています。



警告

健康を害するおそれのある排ガス。

窒息の危険

- 排ガスを吸い込まないようにしてください。
- 閉め切った場所で、エンジンを作動させないでください。◀

火傷の危険



注意

走行中、エンジンおよびエキゾーストシステムは極めて高温になります。

火傷の危険

- 車両を駐車した後、誰も、また何も、エンジンやエキゾーストシステムに触れないように注意してください。◀

触媒コンバーター

ミスファイアにより触媒コンバーターに未燃焼のガソリンが流入した場合、オーバーヒートや損傷が生じるおそれがあります。そのため、次の項目を守ってください。

- フューエルタンクを空にしない
- スパークプラグのキャップを外したままエンジンを作動させない
- ミスファイアが発生した場合は、ただちにエンジンを停止させる
- 無鉛ガソリンのみを使用する
- 指定されているメンテナンススケジュールを順守する。



重要事項

触媒コンバーター内の未燃焼燃料。
触媒コンバーターの損傷。

- 触媒コンバーターの保護のため、作動ポイントに注意してください。◀

オーバーヒート



重要事項

長時間のアイドリング。

冷却が十分に行われぬことによるオーバーヒート。極端なケースでは、車両火災が発生するおそれもあります。

- エンジンを不必要にアイドリングしたままにしないでください。
- エンジンを始動したら、ただちに発進してください。◀

改造



重要事項

モーターサイクルの改造（例：エンジンマネジメントシステム、スロットルバタフライ、クラッチ）。

関連するコンポーネントの損傷、安全に関わる機能の故障。改造に起因する損傷に対しては、保証は適用されません。

- いかなる改造も行わないでください。◀

チェックリストを確認し、遵守する

- モーターサイクルを定期的な点検するため、以下のチェックリストを使用してください。

走行開始のたびに：

- ブレーキシステムの機能
- 照明および信号装置の機能
- クラッチの機能を点検する(▶▶▶ 122)。
- タイヤのトレッド溝の深さを点検する(▶▶▶ 122)。
- ケースおよび荷物の確実な固定

燃料補給 3 回目ごと：

- Dynamic ESA^{OE}非装備
 - スプリングプリロードを調整する (リヤホイール) (▶▶▶ 73)。◀
- Dynamic ESA^{OE}非装備
 - ショックアブソーバーを調整する (リヤホイール) (▶▶▶ 74)。◀
- Dynamic ESA^{OE}装備
 - シャシーを調整する(▶▶▶ 76)。◀
 - エンジンオイルレベルを点検する(▶▶▶ 115)。
 - フロントブレーキパッド厚を点検する(▶▶▶ 117)。
 - リアブレーキパッド厚を点検する(▶▶▶ 117)。
 - フロントブレーキフルードレベルを点検する(▶▶▶ 118)。
 - リヤブレーキフルードレベルを点検する(▶▶▶ 119)。
 - クーラントレベルを点検します(▶▶▶ 120)。

始動

エンジンを始動する

- イグニッションを ON にします。
 - ▶ Pre-Ride-Check が実行されます(▶▶▶ 90)
 - ▶ ABS 自己診断が実施されます(▶▶▶ 90)
 - ▶ ASC 自己診断が実施されます(▶▶▶ 91)
- ニュートラルに設定するか、ギヤを入れた状態でクラッチを切ります。



注記

サイドスタンドを立てている状態でもギヤを入れることはできませんが、モーターサイクルを発進させることはできません。モーターサイクルをニュートラルで始動させ、サイドスタンドを出した状態で 1 速に入れると、エンジンは停止します。◀

- コールドスタートおよび温度が低い場合：クラッチを引きます。



- スターターボタン **1** を押します。

注記

バッテリー電圧が十分でない場合、始動動作は自動的に中断されます。始動操作を続ける前に、バッテリーを充電するか、ジャンプスタートを行ってください。詳細については、「メンテナンス」の章のジャンプスタートを参照してください。◀

- » エンジンが始動します。
- » エンジンが始動しない場合は、「仕様（諸元）」の章のトラブルシューティングをご覧ください(▶▶ 166)

Pre-Ride-Check (走行前点検)

イグニッションを ON にすると、メーターパネルによって、インジケーター / 警告灯のテスト、いわゆるPre-Ride-Check (走行前点検) が行われます。その終了前にエンジンを始動すると、テストは中断されます。

ステップ 1

警告灯 / 表示灯がすべて ON になります。

ステップ 2

ジェネラル警告灯が赤から黄に変わります。

ステップ 3

すべての作動している警告灯 / インジケーターが、次々と逆の順序で消灯します。

警告灯 / インジケーターが ON でなかった場合：

- できる限り早く、BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

ABS 自己診断

BMW Motorrad Integral ABS の作動可能状態は、自己診断により点検されます。自己診断は、イグニッションを ON にすると自動的に始まります。ホイール回転数センサーを点検するには、モーターサイクルを数 m 走行させる必要があります (5 km/h 以上)。

ステップ 1

- » 診断可能なシステムコンポーネントを停止状態で点検します。



ABS 警告灯が点滅します。

ステップ 2

- » 発進時のホイール回転数センサーの点検。



ABS 警告灯が点滅します。

ABS 自己診断が終了

- » ABS 警告灯が消灯します。

- すべての警告灯およびインジケーターの表示に注意します。

ABS 自己診断の終了後、ABS の故障が表示されます。

- 走行を続けることは可能です。ABS もインテグラル機能も使用できないことに注意してください。

- できる限り早く、BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

ASC 自己診断

BMW Motorrad ASC の作動可能状態は、自己診断により点検されます。自己診断は、イグニッションを ON にすると自動的に始まります。

ステップ 1

- » 診断可能なシステムコンポーネントを停止状態で点検します。



ASC 警告灯がゆっくりと点滅します。

ステップ 2

- » 走行中に診断可能なシステムコンポーネントを点検します (5 km/h 以上)。



ASC 警告灯がゆっくりと点滅します。

ASC 自己診断が終了

- » ASC 警告灯が消灯します。

- すべての警告灯およびインジケーターの表示に注意します。

ASC 自己診断の終了後、ASC の故障が表示される場合：

- 走行を続けることは可能です。ASC 機能が使用できないことに注意してください。
- できる限り早く、BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

慣らし走行

エンジン

- 最初の慣らし運転までは、負荷範囲とエンジン回転数域を頻繁に変化させてください。一定の回転数での長時間の走行は避けてください。
- カーブが多く、なだらかな坂のある道を選び、十分に慎重

な走行をするようにしてください。

- 慣らし走行中のエンジン回転数を順守してください。



慣らし走行中のエンジン
回転数

<5000 min⁻¹ (走行距離
0...1000 km)

フルロードなし (走行距離
0...1000 km)

- 慣らし運転を行う際に従うべき走行距離を守ってください。



慣らし運転までの走行
距離

500...1200 km

ブレーキパッド

新品のブレーキパッドは、最適な摩擦력에達するまで、慣らし走行が必要です。この段階のブレーキの効きの弱さは、ブレー

キレバーを強く握ることで補うことができます。



警告

新しいブレーキパッド。

制動距離の延長。事故の危険。

- 早めにブレーキングしてください。◀

タイヤ

新しいタイヤの表面はきわめてなめらかな状態です。したがって、表面が適度に荒れるまで、慎重に慣らし走行を行う必要があります。タイヤの持つ最大のグリップ力を引き出すためには、この慣らし手順を必ず実行してください。



警告

路面が濡れている場合や著しく傾斜している場所で新しいタイヤのグリップが失われる。

事故の危険

- よく前方に注意して走行し、急な傾斜のある場所は回避してください。◀

ギヤチェンジ

ーギヤシフトアシストPro^{OE} 装備

シフトアシストPro

ギヤシフトアシストはシフトアップ/シフトダウンにおいてライダーをサポートするものです。シフトアップ/シフトダウンの際に、クラッチやスロットルグリップを操作する必要がありません。オートマチックは関係ありません。ライダーがシステムの重要な構成要素であり、シフトを行う時点を決定します。



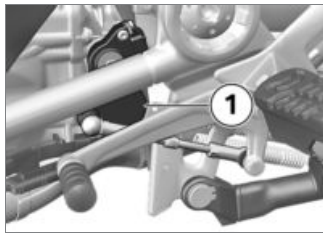
注記

ギヤシフトアシストProに関する詳しい情報については、「技術情報」の章を参照してください。◀



注記

ギヤシフトアシストPro を使用してギヤシフトを行う場合には、安全上の理由から、クルーズコントロールは自動的に OFF になります。◀



- ギヤ入れは従来どおりシフトレバーを踏み込んで行います。
- » シフトシャフトのセンサー **1** がシフトの希望を検知し、シフトサポートを介入させます。
- » 定速走行時にローギヤのまま高回転域に達している場合、クラッチ操作なしでのギヤシフトは過度な荷重移動によ

る反応を招くおそれがあります。BMW Motorrad は、このような走行条件においてはクラッチ操作を伴うシフト切替のみをお勧めします。限度回転数域におけるシフトアシストProの使用は避けてください。

- » 以下の状況では、シフトアシストは作動しません：
 - クラッチが操作されている場合
 - シフトレバーが初期位置にない場合
 - スロットルバタフライを閉じた状態（惰性走行）または減速時のシフトアップ。
- ギヤシフトアシストPro を使用してさらにギヤ切替を行えるようにするには、シフト動作後に、シフトレバーにかかる負荷を完全に解除しなければなりません。

ブレーキ

制動距離を最短にするには？

フロント / リヤホイール間の力学的な負荷配分は、ブレーキングによって変わります。ブレーキングが強くなるほど、フロントホイールにはより大きな負荷がかかります。そしてホイールにかかる負荷が大きくなるほど、より大きなブレーキフォースが伝達されます。

制動距離を最短にするには、徐々に強くなるようフロントブレーキをかけることが必要です。それにより、フロントホイールにかかる負荷の力学的な増加が、最も効果的に利用されます。同時に、クラッチは切っておく必要があります。しばしばトレーニングされる「緊急ブレーキ」では、ブレーキ圧ができるかぎり早急に最大の力で生成されます。力学的な負荷配分が減速に追いつけなくなり、ブレーキフォースが完

全には路面に伝達できなくなります。

フロントホイールのロックは、BMW Motorrad Integral ABS により回避されます。

下り坂



警告

山道や狭い通路などを抜けるときにリヤブレーキのみをかける。

ブレーキが効かなくなる。オーバーヒートによるブレーキの破損。

- フロントおよびリヤブレーキを作動させて、エンジブレーキを使用してください。◀

濡れて汚れたブレーキ

ブレーキディスクやブレーキパッドが濡れていたり汚れていたりすると、ブレーキの効きが悪くなります。

以下の状況では、ブレーキの効きが遅れたり悪くなったりすることを、必ず考慮してください：

- 雨天走行時や、水たまりの中を走行した場合。
- 洗車の後。
- 塩が撒かれた路面を走行したとき。
- ブレーキ関連作業の後で、オイルやグリースの残留物による。
- 汚れている路面や、オフロードの走行時。



警告

水分や汚れの付着。

ブレーキの効きの低下。

- ブレーキを乾燥させて汚れをとり、必要に応じて清掃します。
- 再び制動力を完全に発揮できるようになるまでは、ブレーキを早めに操作してください。◀

ABS Pro

- ABS Pro^{OE} 装備

走行における物理的限界



警告

コーナーにおけるブレーキング。

ABS Pro 装備でもある転倒の危険性

- どのような走行スタイルを適切とするか、ライダーの責任が問われます。
- 安全のためのサポートを、リスクな走行により制限しないでください。◀

ABS Pro は、すべての走行モードにおいて利用可能です (Enduro Pro を除く)。サポートは選択した走行モードに応じて異なり、RAIN から Enduro までの3段階があります。

ABS Pro によるサポート

- RAIN およびROAD: 最大サポート。
- DYNAMIC: サポートはやや少なめ。
- Enduro: サポートは少なめ。
- Enduro Pro: ABS Pro は作動しない。

転倒をなくすことはできない

たとえABS Pro がライダーのために、バンク時のブレーキングの際に 100 %のサポートを行い、安全性において著しいプラス効果を発揮しても、走行における物理法則の限界を超えられるものではありません。従来と同様に、誤った判断や運転ミスなどにより、この限界を超えることがあります。極端なケースでは、それが転倒につながることもあります。

公道での使用

ABS Pro は、公道においてモーターサイクルをより安全に使用するためのものです。コーナーにおける思いがけない危険な状況が原因のブレーキング時に、走行における物理的限界の範囲内で、ホイールのロックやスリップを回避します。

注記

ABS Pro はバンク時の限界域における個々のブレーキ性能の向上のために開発されたものではありません。◀

駐車する

サイドスタンド

- エンジンを停止させます。

重要事項

スタンドを使用している路面の状態が悪い。

転倒によるコンポーネントの損傷。

- スタンドを立てる路面が、平坦で固くしっかりとしているか確認してください。◀

重要事項

追加重量によるサイドスタンドの負荷。

転倒によるコンポーネントの損傷。

- 車両がサイドスタンドで立てられている状態のときには、着座しないでください。◀
- サイドスタンドを出し、モーターサイクルを立てます。
- 路面の傾斜に無理がなければ、ハンドルバーを左へ回しておきます。
- 下り坂では、モーターサイクルを上る方向に向けて、1 速に入れます。

センタースタンド

- エンジンを停止させます。



重要事項

スタンドを使用している路面の状態が悪い。

転倒によるコンポーネントの損傷。

- スタンドを立てる路面が、平坦で固くしっかりとしているか確認してください。◀



重要事項

急な動きが加えられるとメイン（センター）スタンドが折りたたまれる。

転倒によるコンポーネントの損傷。

- メイン（センター）スタンドを立てた状態で、車両に着座しないでください。◀
- メイン（センター）スタンドを出し、モーターサイクルを立てます。

- 下り坂では、モーターサイクルを上る方向に向けて、1速に入れます。

オフロード走行

オフロード走行用

ホイールリム



重要事項

緩い路面での、より激しいオフロード走行。

標準装備のアルミキャストリムの損傷。

- 激しいオフロード走行では、オプションで提供しているクロススポークホイールを使用してください。◀

オフロード走行後

BMW Motorrad はオフロード走行後に以下の点に注意することをお勧めします：

タイヤ充填圧



警告

オフロード走行用にタイヤ空気圧を下げている状態での舗装道路での運転。

走行特性の悪化により、事故に至る危険。

- タイヤ充填圧が正しいか確認してください。◀

ブレーキ



警告

平坦でない、または汚れた道路での走行。

汚れているブレーキディスクおよびブレーキパッドによるブレーキの効きの遅れ。

- ブレーキ操作を行ううちに、付着している汚れがとれるまでは、早めにブレーキングしてください。◀

**重要事項**

平坦でない、または汚れた道路での走行。

ブレーキパッドの摩耗が進みやすい。

- ブレーキパッドの厚さを頻繁に点検し、ブレーキパッドを早目に交換してください。◀

スプリングプリロードおよびショックアブソーバー**警告**

オフロード走行用にスプリングプリロードおよびスプリングストラットダンピングについて変更された値。

舗装道路での走行特性の悪化。

- オフロードでの走行を終えたら、スプリングプリロードならびにスプリングストラットダンピングを正しく調整してください。◀

ホイールリム

BMW Motorrad は、オフロード走行後に、ホイールリムが損傷していないか点検することをお勧めします。

エアフィルター**重要事項**

汚れているエアクリーナー。

エンジンの損傷

- 埃の多いオフロードで走行する場合には、エアクリーナーの汚れの点検を頻繁に行い、必要に応じて清掃または交換します。◀

非常に埃の多い条件下での走行（砂漠や乾燥した草原など）においては、専用に開発されたエアフィルターの使用が必要です。

給油**燃料品質**

最適な燃費を得るため、硫黄フリーの、またはできる限り硫黄が少ない燃料を使用するようにしてください。

**重要事項**

有鉛ガソリン。

触媒コンバーターの損傷。

- 有鉛ガソリンやマンガノ鉄などの金属添加物を含む燃料は決して給油しないでください。◀
- エタノールの割合が最大で 10 %、つまり E10 燃料を使用することができます。



推奨フューエルグレード

無鉛プレミアムガソリン (ハイオク) (最大 10%エタノール、E10)

95 ROZ/RON

89 AKI



燃料品質の選択肢

無鉛レギュラーガソリン (出力および燃費の制約。エンジンに低燃料品質 91 RON を使用する国などでは、それに合わせてモーターサイクルを BMW Motorrad ディーラーで事前にプログラミングする必要があります。)

(最大 10%エタノール、E10)

91 ROZ/RON

87 AKI

給油手順



警告

燃料は容易に引火します。

火災および爆発の危険。

- 燃料タンクですべての操作を行うときは禁煙かつ裸火は禁止です。◀



警告

燃料タンクの充填量が多すぎると、熱の影響で燃料が膨張した場合に漏れる。

転倒の危険

- フューエルタンクを充填しすぎないでください。◀

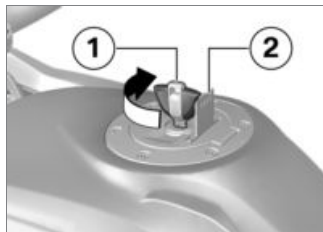


重要事項

燃料がプラスチック製の表面に触れる。

表面が見苦しくなる、またはつやのない状態になる。

- プラスチック部品が燃料に触れた場合は、ただちに清掃します。◀
- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルをメイン (センター) スタンドで立てます。



- 保護キャップ **2** を開きます。
- フューエルタンクのキャップを、車両キー **1** を時計回りに回してロック解除し、開きます。



- フューエルをフィルターネックの下端 (MAX 位置) まで補給します。



注記

リザーブ容量を下回った後に給油を行う場合、給油後の総容量がリザーブ容量を上回る必要があります。これにより新たな充填レベルが検知され、燃料残量警告灯が消灯します。◀



注記

仕様 (諸元) に記載されている「フューエル容量」は、フューエルタンクが空になっているとき、

すなわち燃料不足でエンジンが停止したときに給油できる燃料の量です。◀



フューエル容量

約 20 l



フューエルリザーブ容量

約 4 l

- フューエルタンクキャップを強く押して閉めます。
- 車両キーを抜き取り、保護キャップを閉めます。

給油手順

– Keyless Ride^{OE}装備

ステアリングロックはロック解除された状態です。



警告

燃料は容易に引火します。

火災および爆発の危険。

- 燃料タンクですべての操作を行うときは禁煙かつ裸火は禁止です。◀



警告

燃料タンクの充填量が多すぎると、熱の影響で燃料が膨張した場合に漏れる。

転倒の危険

- フューエルタンクを充填しすぎないでください。◀



重要事項

燃料がプラスチック製の表面に触れる。

表面が見苦しくなる、またはつやのない状態になる。

- プラスチック部品が燃料に触れた場合は、ただちに清掃します。◀
- 平坦で、固くしっかりとした路面上に、モーターサイクルをメイ

ン (センター) スタンドで立てます。

- Keyless Ride^{OE}装備

- イグニッションスイッチをOFFにする(▶▶ 48)。

注記

イグニッションをOFFにした後、無線キーが受信範囲内にない場合でも、タンクキャップを特定のアフターランニング時間以内に開くことができます。◀



タンクキャップを開くためのアフターランニング時間

2 min

- ▶ タンクキャップは、以下の**2つの方法**で開くことができます：
 - アフターランニング時間内
 - アフターランニング時間の経過後

バリエーション 1

- Keyless Ride^{OE}装備

アフターランニング時間内



- タンクキャップのタブ **1** をゆっくりと引き上げます。
 - ▶ タンクキャップはロック解除されています。
- タンクキャップを完全に開きません。

バリエーション 2

- Keyless Ride^{OE}装備

アフターランニング時間の経過後

- 無線キーを受信範囲内に持ち込みます。
- タブ **1** をゆっくりと引き上げます。
 - ▶ 無線キーを検索している間は、無線キー用表示灯が点滅します。
- タンクキャップのタブ **1** を再びゆっくりと引き上げます。
 - ▶ タンクキャップはロック解除されています。
- タンクキャップを完全に開きません。



- 前述のグレードのフューエルをフィラーネックの下端 (MAX 位置) まで補給します。



注記

リザーブ容量を下回った後に給油を行う場合、給油後の総容量がリザーブ容量を上回る必要があります。これにより新たな充填レベルが検知され、燃料残量警告灯が消灯します。◀



注記

仕様 (諸元) に記載されている「フューエル容量」は、フューエルタンクが空になっているとき、

すなわち燃料不足でエンジンが停止したときに給油できる燃料の量です。◀



フューエル容量

約 20 l



フューエルリザーブ容量

約 4 l

- フューエルタンクのタンクキャップを、力を込めて下へ押します。
 - » タンクキャップが音とたててはまります。
 - » アフターランニング時間の経過後、タンクキャップが自動的にロックします。
 - » しっかりとかみ合ったタンクキャップは、ハンドルロックのロックまたはイグニッション ON に伴い、ただちにロックがかかります。

モーターサイクルを搬送用に固定する

- テンションストラップが取り回されているコンポーネントをすべて、傷が付かないように保護します。接着テープや柔らかいウェスなどを使用してください。



重要事項

リフトアップのときに車両が左右に傾く。転倒によるコンポーネントの損傷。

- 車両が倒れないよう、サポートする方と一緒に作業するようにしてください。◀
- モーターサイクルを搬送用プレートの上へと動かします。サイドスタンドやセンタースタンドで立てないでください。
- フロント側テンションストラップをハンドルの両側に取り付けて固定する。
- テンションストラップをトレーリングアームに通してピンと張ります。



- リヤ側テンションストラップをパッセンジャー用フットレスト部分に取り付けて固定し、ピンと張る。
- すべてのテンションストラップを均等に張り、車両ができるかぎりしっかりと固定されるようにします。



重要事項

コンポーネントの挟み込み。

コンポーネントの損傷

- ブレーキラインやケーブルなどのコンポーネントを挟み込まないようにしてください。◀

技術情報

走行モード	104
シフトアシスト	105
BMW Motorrad Integral ABS 装 備ブレーキシステム	107
エンジンマネジメントシステム (BMW Motorrad ASC 装備)	110
タイヤ空気圧コントロール (RDC)	112

走行モード

選択

モーターサイクルを路面状態に合わせるため、5つの走行モードから選択することができます：

- RAIN
- ROAD (標準モード)
- 走行モードPro^{OE}装備
- DYNAMIC
- Enduro
- Enduro Pro (コーディングプラグが取り付けられている場合のみ)

5つの走行モードにはそれぞれ、ABS、ASCシステム用ならびにスロットルレスポンス用に調整されている設定があります。

- Dynamic ESA^{OE}装備
- Dynamic ESAの適合も選択した走行モードに応じて決まります。

それぞれのモードにおいて、ABSおよび/またはASCをOFFにすることができます。以下の説明は、システムがONになっている場合にのみ関連するものです。

スロットルレスポンス

- モードRAINおよびEnduro: 控えめ
- モードROADおよびEnduro Pro: ダイレクト
- モードDYNAMIC: ダイナミック

ABS

- リヤホイール浮き上がり緩和機能は、全モードで作動しています。
- モードRAIN、ROADおよびDYNAMICでは、ABSはオンロード走行に調整されています。

- モードEnduroでは、ABSはオフロード走行でストリートタイヤ装着に調整されています。
- モードEnduro Proでは、ブレーキペダルが操作されると、リヤホイールにABS制御がかかりません。ABSはオフロード走行でラグタイヤ装着に調整されています。
- ABS Pro^{OE} 装備
- モードRAIN、ROADでは、ABS Proは全面的に利用可能です。コーナーにおけるブレーキング時のモーターサイクルの傾きを最小限に抑えます。
- モードDYNAMICでは、ABS Proが利用可能です。サポートは、走行モードROADと比べて少なくなっています。
- モードEnduroでは、ABS Proは限定された範囲内でのみ利用可能です。
- モードEnduro Proでは、ABS Proは作動しません。

ASC

- フロントホイール浮き上がり緩和機能は、全モードで作動しています。
- モード RAIN、ROAD、DYNAMIC では、ASC はオンロード走行に合わせて調整されています。
- モード Enduro および Enduro Pro では、ASC はオフロード走行に合わせて調整されています。
- Dynamic ESA^{OE} 装備

Dynamic ESA

- モード RAIN、ROAD および DYNAMIC では、ショックアブソーバーのバリエーション HARD、NORMAL および SOFT から選択することができます。
- 基本設定 RAIN: SOFT
- 基本設定 ROAD: NORMAL
- 基本設定 DYNAMIC: HARD
- モード Enduro、および Enduro Pro では、ショックアブソー

バーのバリエーション HARD および SOFT から選択することができます。

- 基本設定 Enduro: SOFT
- 基本設定 Enduro Pro: HARD

切替

- 走行モード Pro^{OE} 装備

走行中の走行モードの変更は、以下の前提条件においてのみ可能です：

- リヤホイールにドライビングトルクがかかっていない
- ブレーキシステム内でブレーキ圧が生成されていない。

この作動状態は、車両がイグニッション ON の状態のときのみです。またはその代わりに、以下のステップを実行する必要があります：

- スロットルグリップを回し戻す
- ブレーキレバーを操作しない
- クラッチを操作する。

ご希望の走行モードをまず事前に選択します。該当するシステムが必要とされる状態になって初めて、切替が行われます。走行モードの切替が行われた後、ディスプレイの選択メニューが消えます。

シフトアシスト

- ギヤシフトアシスト Pro^{OE} 装備

シフトアシスト Pro

この車両には、元々レンシュポルト（レーシングスポーツ）において開発されたギヤシフトアシスト Pro が装備されています。この装備はツーリング走行に合うように適合化されています。これにより、全負荷範囲および全回転域において、シフトアップ/シフトダウンをクラッチ操作およびスロットル操作なしで行うことができます。

利点

- 走行時における全シフト動作の70～80%をクラッチ操作なしで行うことができます。
- シフト待ち時間が短くなり、ライダーとパッセンジャー間の動きが少なくてすみます。
- 加速時にスロットルバタフライを閉じる必要がありません。
- 減速およびシフトダウン（スロットルバタフライは閉じた状態）の際には、ダブルクラッチにより回転数の調整を行います。
- 切替時間はクラッチ操作に伴うシフト動作と比べて短くなります。

希望のシフトを認識させるには、ライダーは、シフトレバーを事前に操作しない状態からアクセルレターのスプリングの抵抗を感じる「切替え位置」に向かって操作します。この操作は通常、素早く希望の方向に行い、シフト動作が終了するまで保持してい

る必要があります。シフト動作中にシフト力をさらに高める必要はありません。ギヤシフトアシストProを使用してさらにギヤ切替を行えるようにするには、シフト動作後に、シフトレバーにかかる負荷を完全に解除する必要があります。ギヤシフトアシストProを使用してのシフト動作では、その都度、シフト動作前およびシフト動作中の負荷の状態（スロットルグリップ位置）を一定に保つ必要があります。シフト動作中にスロットルグリップ位置が変わると、機能の中断および/またはミスシフトを招くおそれがあります。クラッチ操作を伴うシフト動作では、ギヤシフトアシストProによるサポートは行われません。

シフトダウン

- シフトダウンは、ターゲットギヤにおける最高回転数に達するまでサポートされます。これ

により、過回転も避けられます。



最高回転数

max 9000 min⁻¹

シフトアップ

- シフトアップ時にアイドルリング回転数が下がることにより、ギヤシフトアシストProによるサポートは行われません。



アイドルリング回転数

1150 min⁻¹ (エンジン作動温度時)

BMW Motorrad Integral ABS 装備ブレーキシス テム

パーシャリーインテグラルブ レーキ

このモーターサイクルには、パーシャリーインテグラルブレーキが装備されています。このブレーキシステムでは、ブレーキレバーを操作するとフロント/リヤホイールのブレーキが一緒に作動します。ブレーキペダルを操作した場合、リヤブレーキのみの作動となります。

BMW Motorrad Integral ABS は、ABS 制御に伴い、ブレーキング中のフロントおよびリヤホイールブレーキへのブレーキフォース配分を、モーターサイクルの荷重状態に合わせて行います。



重要事項

フロントブレーキをかけたときの後輪の空転 (Burn Out) が、

インテグラル機能によりできない。
リヤブレーキおよびクラッチの損傷。

- Burn Out を行わないでください。◀

ABS はどのように作動する のでしょうか？

路面に伝達される最大ブレーキフォースは、様々な要因の中でも、路面の摩擦係数に依存しています。砂利、凍結、雪、水に覆われた路面の摩擦係数は、乾いた、クリーンなアスファルトの路面に比べてはるかに低いものになります。路面の摩擦係数が低くなるほど、制動距離は長くなります。

ライダーがブレーキ圧を上げたときに、路面にかかる最大ブレーキフォースが限界を越えると、ホイールがロックし、方向安定性が失われます。そのため、転倒するおそれがあります。この状況が発生する前に、ABS が作動し

て、ブレーキ圧が最大制動力に調整されます。そのためホイールは回転し続け、走行安定性は路面状態にかかわらず保持されます。

凸凹のある路面で起こることは？

起伏や凸凹のある路面によって、タイヤと路面のコンタクトが一時的に失われ、その結果、伝達されるブレーキフォースがゼロに落ち込むということが起こりえます。このような状況でブレーキングが行われる場合、路面とのコンタクトが復活したときに走行安定性を確保するため、ABS はブレーキ圧を下げる必要があります。このときBMW Motorrad Integral ABS は、想定しうるいかなる状況においてもホイールが回転し、それによりモーターサイクルの安定性が確実になるよう、摩擦係数 (砂利、凍結、雪の場合) をかなり低く見積っています。実際の状況が明らかになっ

た後、システムはブレーキ圧を最適な値にセットしなおします。

BMW Motorrad Integral ABS の作動は、ライダーにとってどのように感じられるのでしょうか？

上記の状況のために ABS システムがブレーキフォースを制限する必要がある場合、ブレーキレバーに振動が感じられます。ブレーキレバーを操作すると、インテグラル機能によりリヤホイールでもブレーキ圧が生成されます。その後ブレーキペダルを操作すると、ブレーキペダルをブレーキレバー操作の前または同時に操作したかのように、すでに生成されているブレーキ圧が背圧として感じられます。

リヤホイールの浮き上がり
減速力が著しく強く、減速が迅速な場合、状況によっては、BMW Motorrad Integral ABS はリヤホイールの浮き上が

りを回避できないことがあります。このような場合、モーターサイクルの横転もありえます。



警告

急激なブレーキによるリヤホイールの浮き上がり。

転倒の危険

- 急ブレーキの際には、ABS 制御は、必ずしも常にリヤホイールの浮き上がりを防ぐものではないことに注意してください。◀

BMW Motorrad Integral ABS はどのように設計されているのでしょうか？

BMW Motorrad Integral ABS は、物理的限界内で、さまざまな路面における走行安定性を確保するためのものです。このシステムは、オフロードレースやレーストラックの過酷な状況で生じるような、特別な要求を満たすために設計されたものではありません。

ません。走行の仕方は、走行能力および路面状態に基づいて調整する必要があります。

特殊な状況

ホイールのロックを検知するために、特にフロントおよびリヤホイールの回転数が比較されます。一定の時間以上、検知される値が正常でない場合、安全のために ABS 機能が停止し、ABS の故障が表示されます。エラーメッセージの表示には、自己診断が終了していることが前提となります。

BMW Motorrad Integral ABS に問題がある場合以外に、特殊な運転 / 走行状態が原因でエラーメッセージが表示される場合があります：

- センタースタンドまたは補助スタンドで車両を立てた状態で、ニュートラルでまたはギヤを入れて暖機運転する
- エンジンブレーキによる長時間のリヤホイールのロック（オ

フロード走行時の滑りやすい路面においてなど)。

特殊な走行状態によりエラーメッセージが表示された場合、ABS機能は、イグニッションをOFF/ONにすることにより再び作動させることができます。

定期的なメンテナンスの役割りとは？



警告

定期的なメンテナンスされていないブレーキシステム。

事故の危険

- ABSを確実に最適な整備状態にしておくために、規定の定期点検時期を必ず遵守してください。◀

安全を確保するための予防措置

BMW Motorrad Integral ABSにより制動距離が短くなるからといって、無謀なドライビングスタイルは避けなければなりません。あくまでも緊急事態においてより高い安全性を確保するためのものなのです。



警告

コーナーにおけるブレーキング。

ABSを装備していても事故の危険性があります。

- どのような走行スタイルを適切とするか、ライダーの責任が問われます。
- 安全のためのサポート機能を、リスクな走行により制限しないでください。◀

ABSからABS Proへ、さらなる開発

– ABS Pro^{OE} 装備

これまでBMW Motorrad ABSは、直進走行時のブレーキングにおける安全性に関して極めて高い基準を設定し、実現してきました。そして今、ABS Proがコーナーにおけるブレーキプロセスにおいても、より高い安全性を提供します。ABS Proは、素早いブレーキ操作時におけるホイールのロックを回避します。ABS Proは、特に急ブレーキ時における急激な操舵力の変動を低減させ、思いがけない車両の立ち上がりを起こりにくくします。

ABS制御

技術的には、ABS ProはABS制御をその都度ごとの走行条件に合わせ、モーターサイクルのバンク角に適合させています。モーターサイクルのバンク角を算出するため、ロールレート信号、ヨー

レート信号、横方向加速度信号が使用されます。

バンク角が大きくなると共に、ブレーキ開始時のブレーキ圧の変化度の制限がますます厳しくなります。これにより、圧力上昇に時間がかかります。さらにABS制御において均等に圧力変換が行われます。

ライダーにとっての利点

ライダーにとってのABS Proの利点は、コーナーにおいてもベストな減速を可能にする高精度の応答性、制動安定性および走行安定性です。

エンジンマネジメントシステム (BMW Motorrad ASC 装備)

ASC はどのように作動するのでしょうか？

BMW Motorrad ASC は、フロントホイールとリヤホイールのホイールスピードを比較します。スピードの差からスリップを、さらにリヤホイールの安定性レベルを算出します。スリップ限界値を超えると、エンジンマネジメントシステムがエンジントルクを調整します。

BMW Motorrad ASC はどのように設計されているのでしょうか？

BMW Motorrad ASC は、公道走行時にライダーをサポートするアシストシステムとして設計されています。特に物理的制限領域では、ライダーがASCの制御性能に大きな影響を与えます（コー

ナーでの荷重移動、積載状態など）。

オフロード走行時には、走行モードEnduroを作動させることを推奨します。このモードではASCによる制御介入が遅れて行われるため、制限付きでドリフトを行うことができます。

このシステムは、オフロードレースやレーストラックの過酷な状況で生じるような、特別な要求を満たすために設計されたものではありません。このような場合は、BMW Motorrad ASCをOFFにできます。



警告

リスクな走行。

ASCを装備していても事故の危険性はあります。

- どのような走行スタイルを適切とするか、ライダーの責任が問われます。

- 安全のためのサポートを、リスキーな走行により制限しないでください。◀

特殊な状況

車体の傾きが増すにつれ、物理的法則に従って、加速はますます強く制限されます。このため、非常にタイトなコーナーでは加速が遅れる場合があります。

リヤホイールの回転（空転）やスリップを検知するため、特にフロントおよびリヤホイールの回転数が比較されます。一定の時間以上、検知される値が正常でない場合、安全のために ASC 機能は OFF になり、ASC の故障が表示されます。エラーメッセージの表示には、自己診断が終了していることが前提となります。以下の特殊な走行状態では、BMW Motorrad ASC が自動的に OFF になる場合があります：

- ASC が作動していない状態での長時間の後輪走行（ウィーリー）
- フロントブレーキをかけた際、その場で後輪が回転（空転）（バーンアウト）
- センタースタンドまたは補助スタンドで車両を立てた状態で、ニュートラルでまたはギヤを入れて暖機運転する

イグニッションを OFF にしてから ON にして 10 km/h 以上で走行すると、ASC は再び作動します。

接地面が極端に摩耗しているタイヤの場合、大きなスリップにより、十分な駆動力が得られる前に ASC が作動する場合があります。このような場合には、BMW Motorrad ASC を OFF にしてください。

極端な加速によってフロントホイールの接地が失われた場合には、フロントホイールが路面を再び確実に捉えるようになるまで、ASC がエンジントルクを抑えます。

このような場合、BMW Motorrad は、スロットルグリップを少し戻して車両をできるだけ早く安定した運転 / 走行状態に戻すよう、お勧めします。

滑りやすい路面で、クラッチを切らずに突然スロットルグリップを完全に戻すことは決してしないでください。エンジンブレーキトルクによりリヤホイールがロックされ、不安定な運転 / 走行状態に陥る場合があります。このような状態では、BMW Motorrad ASC による補正を行うことはできません。

タイヤ空気圧コントロール (RDC)

ータイヤ圧コントロール (RDC)
OE 装備

機能

タイヤにはセンサーが各ひとつずつ装備されており、このセンサーがタイヤ内部のエア温度と充填圧を測定してコントロールユニットに伝送します。

センサーには遠心ガバナーが装備されており、これにより車速が最初に約 30 km/h を越えた時点で測定値の伝送が行われ始めます。タイヤ充填圧が最初に受信される前は、ディスプレイにはタイヤごとに-- が表示されます。停車後、センサーはさらに約 15 分間、測定値を伝送します。

RDC コントロールユニットが装備されていてホイールにセンサーが取り付けられていない場合は、エラーメッセージが出ます。

タイヤ充填圧の領域

RDC コントロールユニットは、車両に合わせて調整されている充填圧領域を 3 つに識別します：

- ー 充填圧が許容範囲内にある
- ー 充填圧が許容限界域にある
- ー 充填圧が許容範囲外にある

温度補正

タイヤ充填圧は温度に依存しています。すなわち、タイヤ温度が上昇するとタイヤ充填圧は増加し、タイヤ温度が下がると減少します。タイヤ温度は外気温度、ドライビングスタイルおよび走行時間に応じて変化します。

タイヤ充填圧は、温度補正が行われてマルチファンクションディスプレイに表示されます。このタイヤ温度は 20 °C が想定されています。ガソリンスタンドの空気圧テスターでは温度補正は行われず、測定されたタイヤ充填圧はタイヤ温度に左右されません。そのため、そこで表示される値は、大抵の場合、マルチファンクションディスプレイに表示された値とは一致していません。

ンクションディスプレイに表示された値とは一致していません。

充填圧の調整

マルチファンクションディスプレイの RDC 値と Rider's Manual の裏表紙に記載されている値を比較してください。これらの値の偏差は、ガソリンスタンドの空気圧テスターで補正する必要があります。

例：Rider's Manual にはタイヤ充填圧は 2.5 bar と記載されており、マルチファンクションディスプレイには 2.3 bar と表示されています。つまり、0.2 bar 足りません。ガソリンスタンドのテスターでは 2.4 bar と表示されています。正しいタイヤ充填圧にするため、この値を 0.2 bar 分、2.6 bar まで上げる必要があります。

メンテナンス

一般的な情報	114
ツールキット	114
エンジンオイル	115
ブレーキシステム	116
クーラント	120
クラッチ	122
リムとタイヤ	122
ホイール	123
フロントホイールスタンド	129
バルブ	131
エアフィルター	136
始動補助	137
バッテリー	138
ヒューズ	142

一般的な情報

「メインテナンス」の章では、簡単に実施できる消耗部品の点検および交換作業について説明します。

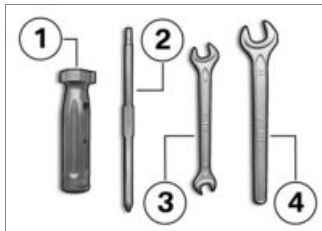
取り付ける際に専用の締め付けトルクがある場合には、規定締め付けトルクも記載されています。必要なすべての締め付けトルクを記した一覧表が「仕様（諸元）」の章にあります。

メインテナンスおよび修理作業に関するその他のインフォメーションは、BMW Motorrad ディーラーで DVD を入手することができます。

いくつかの作業の実施にあたっては、スペシャルツールと確かな専門知識が必要です。疑問に思われることが生じた場合には、BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

ツールキット

標準スペシャルツールキット

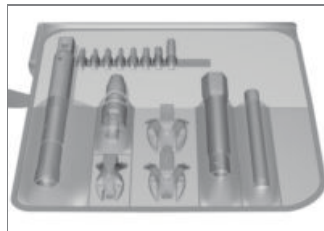


- 1 ドライバーグリップ
- 六角レンチの使用。
- エンジンオイルを補充する (▶▶▶ 116)。
- 2 リバーシブルブレードドライバーインサート
プラス溝 PH1 およびトルクス T25
- フロント / リヤウインカー用バルブを取り外す (▶▶▶ 134)。
- バッテリーカバーを取り外す (▶▶▶ 140)。

- 3 オープンエンドレンチ
口径 8/10
- バッテリーを取り外す (▶▶▶ 140)。
- 4 オープンエンドレンチ
口径 14
- ミラーアームを調整する (▶▶▶ 80)。

サービスツールキット

- サービスツールキット OA 装備



さらに行われるサービス作業（ホイールの脱着など）のために、BMW Motorrad では、あなたのモーターサイクルに対応する適切なサービスツールキットを

ご用意しています。このツールキットはBMW Motorrad ディーラーでお求めいただけます。

エンジンオイル

エンジンオイルレベルを点検する



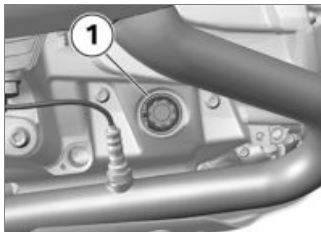
重要事項

オイルレベルはオイル温度により変化します。温度が高くなるにつれて、オイルパン内のオイルレベルも上昇します。

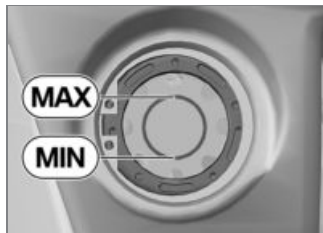
オイル容量の誤った確認


- オイルレベルの点検は、長距離走行後またはエンジン温間時のみ、行います。◀
- 通常の作動温度のエンジンを停止させます。
- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルをメイン（センター）スタンドで立てます。

- オイルがオイルパンに集まるまで、5分間待ちます。



- オイルレベルを表示 **1** で読み取ります。



 エンジンオイル規定レベル

MIN とMAX の間のマーク

オイルレベルが MIN マークを下回っている場合：

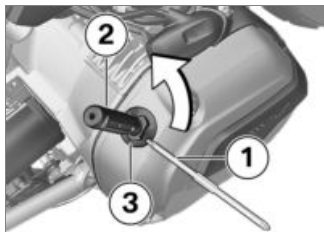
- エンジンオイルを補充する(▶▶ 116)。

オイルレベルが MAX マークを上回っている場合：

- BMW Motorrad ディーラーにオイルレベルの点検を依頼してください。

エンジンオイルを補充する

- 平坦で、固くしっかりとした路面上に、モーターサイクルを駐車します。



- オイル注入口周辺を清掃します。
- 動力伝達を行いやすくするため、差替式六角レンチ **1** をトルクス側からドライバーのグリップ **2** (ツールキット) に差し込みます。
- このツールキットをオイルフィルター開口部のキャップ **3** に組み込み、反時計回りに取り外します。

- エンジンオイルレベルを点検する(▶▶ 115)。

重要事項

エンジンオイルが少なすぎる、または多すぎる。

エンジンの損傷

- エンジンオイルレベルが正しいか確認してください。◀
- エンジンオイルを規定レベルまで補充します。



エンジンオイル補充量

max 0.95 l (MIN とMAX 間の偏差)

- エンジンオイルレベルを点検する(▶▶ 115)。
- オイルフィルター開口部のキャップ **3** を取り付けます。

ブレーキシステム

ブレーキの作動を点検する

- ブレーキレバーを操作します。
 - ▶ はっきりと抵抗が感じられる必要があります。
 - ブレーキペダルを操作します。
 - ▶ はっきりと抵抗が感じられる必要があります。
- はっきりした抵抗が感じられない場合：

重要事項

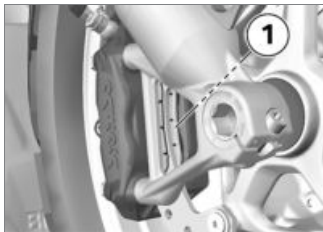
ブレーキシステムにおける不適切な作業。

ブレーキシステムの動作信頼性が危険にさらされる。

- ブレーキシステムに関するすべての作業は、専門スタッフに実行を依頼してください。◀
- BMW Motorrad ディーラーにブレーキシステムの点検を依頼してください。


フロントブレーキパッド厚を点検する

- 平坦で、固くしっかりとした路面上に、モーターサイクルを駐車します。



- 左右ブレーキパッドの厚さを目視点検で点検します。目視点検方向：ホイールとフロントサスペンションの間を通過して、ブレーキパッド **1** へ。



 フロントブレーキパッドの摩耗限度

1.0 mm (ライニングのみ (キャリアプレートなし)。摩耗インジケータ (溝) がはっきりと確認できなければなりません。)

摩耗インジケータがはっきりと見えない場合：

 **警告**

パッドの使用限度厚を下回る。
ブレーキの効きの低減。ブレーキの損傷。

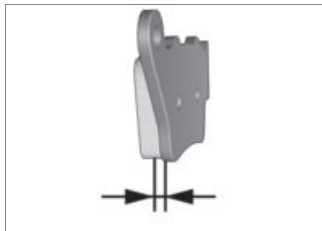
- ブレーキシステムの動作信頼性を確実にするため、パッドの使用限度厚を下回らないようにしてください。◀
- BMW Motorrad ディーラーにブレーキパッドの交換を依頼してください。


リアブレーキパッド厚を点検する

- 平坦で、固くしっかりとした路面上に、モーターサイクルを駐車します。



- ブレーキパッド厚を目視点検する。目視点検方向：スプラッシュガードとリアホイールの間を通過して、ブレーキパッド **1** へ。




 リヤブレーキパッドの摩
 耗限度

1.0 mm (ライニングのみ (キャリアプレートなし。))

摩耗限度に達している場合:

警告

パッドの使用限度厚を下回る。

ブレーキの効きの低減。ブレーキの損傷。

- ブレーキシステムの動作信頼性を確実にするため、パッドの使用限度厚を下回らないようにしてください。◀

- BMW Motorrad ディーラーにブレーキパッドの交換を依頼してください。

フロントブレーキフルードレベルを点検する

警告

ブレーキフルードリザーバタンク内のブレーキフルードが少なすぎる。

ブレーキシステム内のエアによるブレーキ性能の著しい低下。

- ブレーキフルードレベルを定期的に点検します。◀
- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルをメイン (センター) スタンドで立てます。
- ハンドルを直進位置にします。

リヤブレーキフルードレベルを点検する



警告

ブレーキフルードリザーバタンク内のブレーキフルードが少なすぎる。

ブレーキシステム内のエアによるブレーキ性能の著しい低下。

- ブレーキフルードレベルを定期的に点検します。◀
- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルをメイン（センター）スタンドで立てます。



- フロントブレーキフルードリザーバタンク **1** のブレーキフルードレベルを読み取ります。



注記

ブレーキパッドが徐々に摩耗してゆくことによって、リザーバタンクのブレーキフルードレベルは下がってきます。◀



フロントブレーキフルードレベル

ブレーキフルード、DOT4

ブレーキフルードレベルがMIN マークを下回らないようにしてください。(ブレーキフルードリザーバタンクが水平になるように、車両をまっすぐに立てます)

ブレーキフルードレベルが規定値を下回った場合：

- BMW Motorrad ディーラーにできるかぎり早く故障の修理を依頼してください。



- リヤブレーキフルードリザーバタンク **1** のブレーキフルードレベルを読み取ります。

**注記**

ブレーキパッドが徐々に摩耗してゆくことによって、リザーバタンクのブレーキフルードレベルは下がってきます。◀



リヤブレーキフルードレベル

ブレーキフルード、DOT4

ブレーキフルードレベルがMIN マークを下回らないようにしてください。(ブレーキフルードリザーバタンクが水平になるように、車両をまっすぐに立てます)

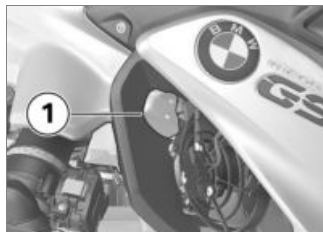
ブレーキフルードレベルが規定値を下回った場合：

- BMW Motorrad ディーラーにできるかぎり早く故障の修理を依頼してください。

クーラント

クーラントレベルを点検します

- 平坦で、固くしっかりとした路面上に、モーターサイクルを駐車します。

**注意**

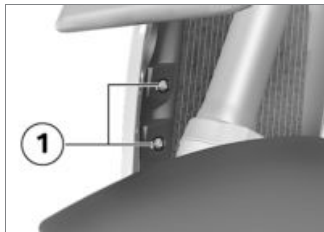
高温のエンジン。

火傷の危険

- 熱くなっているエンジンからは離れてください。
- 熱くなっているエンジンには触れないでください。◀

- リザーバタンク **1** のクーラントレベルを読み取ります。クーラントレベルが規定値を下回った場合：
- クーラントを補充します。

クーラントを補充します



- ボルト **1** を取り外します。



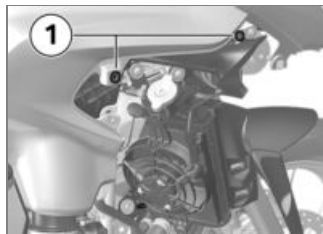
- リベット **1** を取り外します。
- ボルト **2** を取り外します。
- サイドフェアリングを、ポジション **3** および **4** のところで止め具から取り外します。



- クーラントリザーバタンクのキャップ **1** を開き、クーラン

トを規定レベルまで補充します。

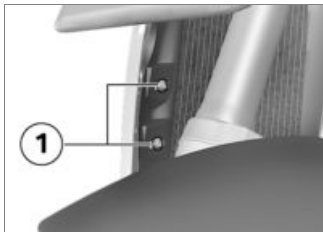
- クーラントレベルを点検します(▶▶▶ 120)。
- クーラントリザーバタンクのキャップを閉じます。



- サイドフェアリングをホルダー **1** にはめます。



- ボルト **1** を取り付けます。
- リベット **2** を取り付けます。



- ボルト **1** を取り付けます。

クラッチ

クラッチの機能を点検する

- クラッチレバーを操作します。
 - » はっきりと抵抗が感じられる必要があります。
- 抵抗がはっきりと感じられない場合：
- BMW Motorrad ディーラーにクラッチシステムの点検を依頼してください。

リムとタイヤ

ホイールリムを点検する

- 平坦で、固くしっかりとした路面上に、モーターサイクルを駐車します。
- ホイールリムに不良な部分がないか目視点検します。
- ホイールリムが損傷した場合は、BMW Motorrad ディーラーに点検を依頼し、必要に応じて交換してください。

タイヤのトレッド溝の深さを点検する



警告

著しく摩耗したタイヤでの走行
走行特性の悪化により、事故に
至る危険

- 必要に応じて、法的に規定されているトレッドの最小残溝量に達する前にタイヤを交換してください。◀
- 平坦で、固くしっかりとした路面上に、モーターサイクルを駐車します。
- タイヤのトレッド溝の深さを、メインのトレッド溝で、摩耗インジケーターを使用して点検します。



注記

摩耗インジケーターはタイヤごとにメインのトレッド溝に設けられています。タイヤのトレッド溝がインジケーターレベルにまで達している場合は、タイヤ

が完全に摩耗しています。インジケーターの位置は、タイヤの縁に TI、TWI などのアルファベットや矢印で示されています。◀

トレッドが最小残溝量に達している場合：

- 当該タイヤを交換します。

スポークを点検する

ー クロススポークホイール^{OE}装備

- 平坦で、固くしっかりとした路面上に、モーターサイクルを駐車します。
- ドライバーのグリップなどでスポークを軽くこすり、そのときの音色を調べます。

音色が一定に聞こえない場合：

- BMW Motorrad ディーラーにスポークの点検を依頼してください。

ホイール

承認タイヤ

すべてのタイヤサイズに関して、特定のタイヤ製品が BMW Motorrad により検査され、走行安全性に優れていると位置付けされています。その他のタイヤに関しては、BMW Motorrad ではその適合性を評価できず、走行安全性を保証できません。

BMW Motorrad

は、BMW Motorrad に
よる検査済タイヤのみの使用
を推奨します。

許容最高速度および積載可能荷重の数値を、必ず遵守してください（「テクニカルデータ」を参照）。

スパイクタイヤまたは冬タイヤを装着している場合の最高速度に関する注意事項を必ず確認し、遵守してください（▶▶ 87）。

詳細については、BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

ホイールサイズがフレーム制御システムに与える影響

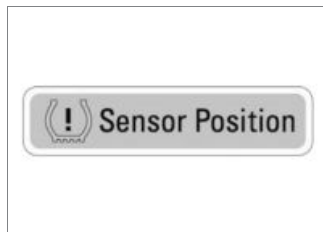
ホイールサイズは、フレーム制御システム ABS および ASC において、重要な役割を果たします。特にホイールの直径および幅は、必要となるすべての計算のベースとしてコントロールユニットにメモリーされています。標準装備ホイール以外のホイールへの変更によりこのサイズが変わると、これらのシステムの制御性に重大な影響が及ぶおそれがあります。

ホイール回転数検知に必要なセンサーリングも、取り付けられている制御システムに適合させる必要があります。交換はできません。ご使用のモーターサイクルに他のホイールを装着なさりたい場合には、事前に BMW Motorrad ディーラーにご相談ください。コント

ロールユニットにメモリーされているデータを、新しいホイールサイズに適応させることができる場合もあります。

RDC ラベル

ータイヤ圧コントロール (RDC) OE 装備



重要事項

不適切なタイヤの取り外し。

RDC センサーの損傷。

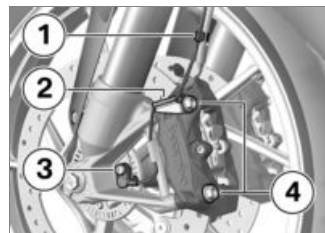
- 専門の整備工場またはBMW Motorrad ディーラーに、ホイールにRDC センサー

が装着されていることをお伝えください。◀

RDC 装備のモーターサイクルには、ホイールリム上のRDC センサー位置に当該ラベルがあります。タイヤ交換の際には、RDC センサーを損傷しないように注意してください。BMW Motorrad ディーラーまたはワークショップに、RDC センサーが取り付けられていることを知らせてください。

フロントホイールを取り外す

- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルをメイン (センター) スタンドで立てます。



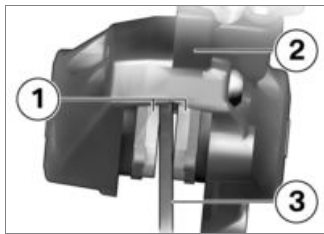
- ホイール回転数センサー用ケーブルをクランプ **1** および **2** から外します。
- ボルト **3** を外し、ホイール回転数センサーをボアから取り外します。
- リム周辺をマスキングテープなどで保護し、ブレーキキャリパーを取り外す際に、傷が付かないようにします。

重要事項

ブレーキキャリパーを取り外した状態でブレーキパッドを押しつけ合わせる。

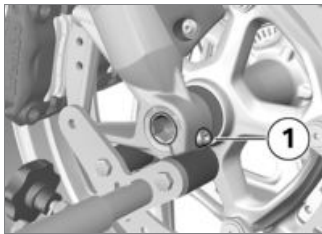
ブレーキディスクの上にブレーキキャリパーを取り付けることができない。

- ブレーキキャリパーを取り外した状態でブレーキレバーを操作しないでください。◀
- 左右ブレーキキャリパーの固定ボルト **4** を取り外します。

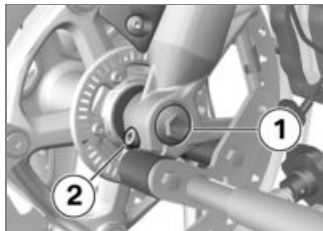


- ブレーキパッド **1** を、ブレーキキャリパー **2** を回転させて、ブレーキディスク **3** に少し押しつけます。
- ブレーキキャリパーを後方外側へ慎重に引いて、ブレーキディスクから取り外します。

- モーターサイクルを持ち上げ、フロントホイールが妨げなく回転できるようにします。それには、BMW Motorrad フロントホイールスタンドを使用するのが最も良い方法です。
- フロントホイールスタンドを取り付ける(▶▶ 129)。



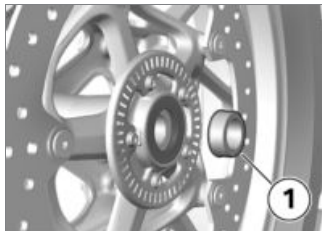
- 右側アクスルクランプボルト **1** を外します。



- ボルト **1** を取り外します。
- 左アクスルクランプボルト **2** を外します。
- アクスルシャフトをわずかに内側に押し、アクスルシャフト右側から手が届きやすいようにします。



- フロントホイールを保持しながら、アクスルシャフト **1** を引き出します。
- フロントホイールを下に置き、フロントサスペンションから前方へ転がして取り出します。



- スペーサーブッシュ **1** をホイールハブから取り出します。

フロントホイールを取り付ける



警告

当該シリーズに適合しないホイールの使用。

ABS およびASC による制御介入時の機能障害。

- この章のはじめにある、ホイールサイズがフレーム制御システムABS およびASC に与える影

響についての注意事項を確認し、遵守してください。◀

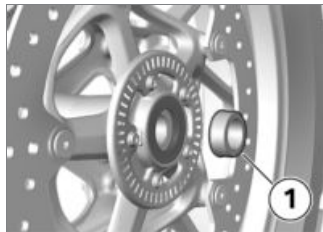


重要事項

ボルト締め付け部を誤った締め付けトルクで締め付ける。

ボルト締め付け部の損傷または緩み。

- 締め付けトルクの点検は、必ずBMW Motorrad ディーラーに依頼してください。◀



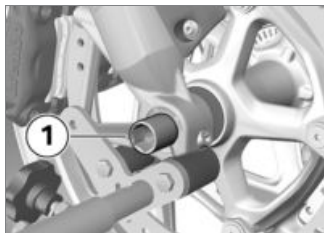
- ホイールハブ左側スペーサーブッシュ **1** を取り付けます。

重要事項

フロントホイールの取り付けが回転方向と逆。

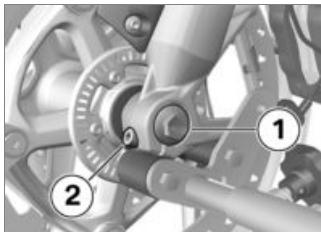
事故の危険

- タイヤまたはリム上にある回転方向を示す矢印を確認し、遵守してください。◀
- フロントホイールをフロントホイールロケーションへ転がし入れます。



- フロントホイールを持ち上げて、アクスルシャフト **1** を取り付けます。

- フロントホイールスタンドを外し、フロントフォークを数回、強く圧縮します。その際、ブレーキレバーを操作してはいけません。
- フロントホイールスタンドを取り付ける(▶▶ 129)。



- ボルト **1** を規定の締付けトルクで取り付けます。その際、アクスルシャフトを右側に保持します。

テレスコピックフォーク
内アクスルシャフト

30 Nm


- 左アクスルランプボルト **2** を規定トルクで締め付けます。

テレスコピックフォーク
のアクスルシャフト用固定ボルト

19 Nm

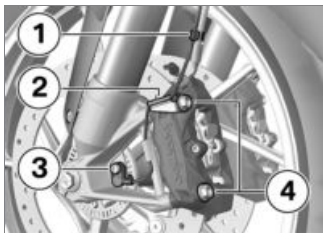


- 右アクスルランプボルト **1** を規定のトルクで締め付けます。


 テレスコピックフォーク
のアクスルシャフト用固
定ボルト

19 Nm

- フロントホイールスタンドを取り外します。
- 左右ブレーキキャリパーをブレーキディスクに取り付けます。



- 左右の固定ボルト **4** を規定トルクで締め付け、取り付けます。

 テレスコピックフォーク
のブレーキキャリパー

38 Nm


- ホイールリムに貼られているマスキングテープなどをはがします。

警告

ブレーキパッドがブレーキディスクに密着していない。

ブレーキの効きが遅れる。

- 走行開始前に、ブレーキの効きに遅れがないことを確認します。◀
- ブレーキパッドが密着するまで、ブレーキを何度か操作します。
- ホイール回転数センサー用ケーブルをクランプ **1** および **2** に組み込みます。
- ホイール回転数センサーをボアに組み込み、ボルト **3** を取り付けます。

 ホイール回転数センサー
とフォーク

接合剤： マイクロカプセル加工済またはボルト固定剤（中強度）使用

8 Nm

リヤホイールを取り外す

- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルをメイン（センター）スタンドで立てます。
- ギヤを 1 速に入れます。

注意

高温のエキゾーストシステム。
火傷の危険

- 高温になっているエキゾーストシステムに触れないでください。◀
- エンドマフラーを冷却します。



- リヤホイールのボルト **1** を取り外します。その際、ホイールを保持します。
- リヤホイールを後方へ転がして取り外します。

リヤホイールを取り付ける

警告

当該シリーズに適合しないホイールの使用。

ABS およびASC による制御介入時の機能障害。

- この章のはじめにある、ホイールサイズがフレーム制御システムABS およびASC に与える影

響についての注意事項を確認し、遵守してください。◀

重要事項

ボルト締め付け部を誤った締め付けトルクで締め付ける。

ボルト締め付け部の損傷または緩み。

- 締め付けトルクの点検は、必ずBMW Motorrad ディーラーに依頼してください。◀
- リヤホイールをリヤホイールサポートの上に載せます。



- ホイールボルト **1** を規定の締め付けトルクで取り付けます。



リヤホイールとホイールフランジ

締め付け順序：対角の順に締め付けます

60 Nm

フロントホイールスタンド フロントホイールスタンドを取り付ける

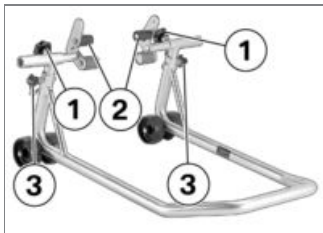
重要事項

追加のメイン（センター）スタンドまたは補助スタンドなしでのBMW Motorrad フロントホイールスタンドの使用。

転倒によるコンポーネントの損傷。

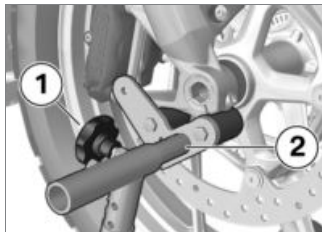
- モーターサイクルは、BMW Motorrad フロントホイールスタンドでリフトアップする前に、メイン（センター）スタンドまたは補助スタンドで立ててください。◀

- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルをメイン（センター）スタンドで立てます。
- フロントホイールサポート付きベーススタンドを使用してください。ベーススタンドとそのアクセサリ部品は管轄のBMW Motorrad ディーラーでお求めいただけます。

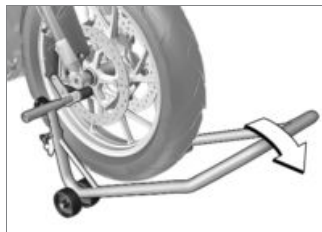


- ボルト **1** を外します。
- フロントサスペンションが間に収まるまで、両固定ツール **2** を外側にずらします。

- フロントホイールスタンドを、固定ピン **3** を使用して希望の高さに調整します。
- フロントホイールスタンドをフロントホイールのセンターに合わせ、フロントアクスルに押し込みます。



- フロントサスペンションが確実に重なるよう、両固定ツール **2** を調整します。
- ボルト **1** を締め付けます。



重要事項

モーターサイクルをリフトアップしすぎるとメイン（センター）スタンドが外れる。

転倒によるコンポーネントの損傷。

- リフトアップの際には、メイン（センター）スタンドが常に接地しているように注意してください。◀
- フロントホイールスタンドを左右均等に押し下げ、モーターサイクルを持ち上げます。

バルブ

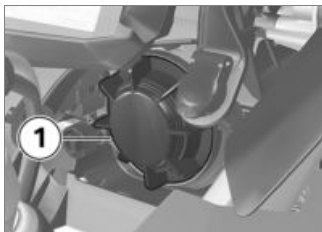
ロービーム / ハイビーム用バルブを交換する

－LED ヘッドライト^{OE} 非装備

注記

コネクターやスプリングクランプおよびライトバルブの位置や向きは、以下の図と異なる場合があります。◀

- 平坦で、固くしっかりとした路面上に、モーターサイクルを駐車します。
- イグニッションを OFF にします。



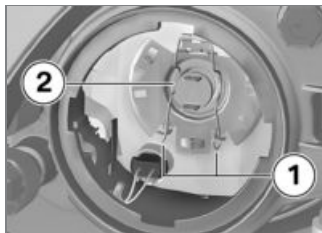
- カバー **1** を反時計回りに回して取り外し、ロービームを交換します。



- カバー **1** を反時計回りに回して取り外し、ハイビーム用バルブを交換します。



- コネクター **1** を外します。



- スプリングクランプ **1** をロックから外し、横へ折り曲げます。
- バルブ **2** を取り外します。

- 故障しているバルブを交換します。



ロービームのバルブ

H7 / 12 V / 55 W

- LED ヘッドライト^{OE} 装備

LED<



ハイビーム用バルブ

H7 / 12 V / 55 W

- LED ヘッドライト^{OE} 装備

LED<

- バルブを持つときには、ガラス面が汚れないように、必ずソケット部分を持ちます。



- バルブ **2** をセットします。その際、ノーズ **3** が正しい位置にあるか確認してください。

**注記**

白熱バルブの位置や向きは、図とは異なる場合があります。◀

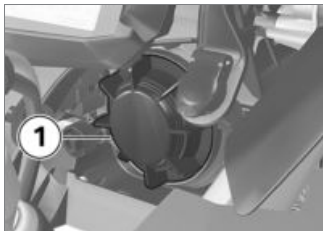
- スプリングクランプ **1** をホルダーにセットします。



- コネクター **1** を接続します。
- カバーを組み込み、時計回りに回して取り付けます。

ポジションライト / パーキングライト用バルブを交換する- LED ヘッドライト^{OE} 非装備


- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルを駐車します。
- イグニッションを OFF にします。



- カバー **1** を反時計回りに回して取り外します。



- バルブ **1** をソケットから引き出します。
- 故障しているバルブを交換します。

	ポジションライト / パーキングライトバルブ
---	------------------------

W5W / 12 V / 5 W

- LED ヘッドライト OE 装備

LED<

- ガラス面に汚れが付かないようにするため、バルブは乾いているきれいなウエスを使用して取り扱います。



- バルブ **1** をソケットにセットします。



- ソケット **1** をヘッドライトハウジングから引き出します。



- ソケット **1** をヘッドライトハウジングにセットします。
- カバーを組み込み、時計回りに回して取り付けます。

フロント / リヤのウインカー用バルブを交換する

– LED ウインカー^{OE} 非装備

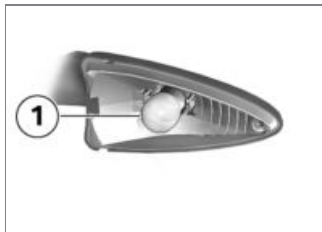
- 平坦で、固くしっかりとした路面上に、モーターサイクルを駐車します。
- イグニッションを OFF にします。



- ボルト **1** を取り外します。



- レンズのボルト固定側をライトハウジングから引いて外します。



- バルブ **1** を反時計回りに回してライトハウジングから取り外します。◁

- 故障しているバルブを交換します。



フロントウインカー用バルブ

RY10W / 12 V / 10 W

– LED ウインカー^{OE} 装備

LED◁



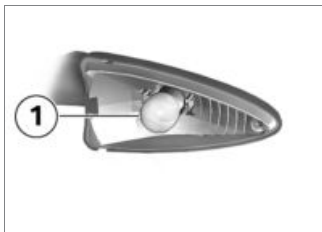
リヤウインカー用バルブ

RY10W / 12 V / 10 W

– LED ウインカー^{OE} 装備

LED◁

- ガラス面に汚れが付かないようにするため、バルブは乾いているきれいなウエスを使用して取り扱います。



- バルブ **1** を時計回りに回して、ライトハウジングに取り付けます。



- レンズ (車両側) をライトハウジングにセットし、閉じます。



- ボルト **1** を取り付けます。

LED テールライトを交換する

LED テールライトは、アセンブリーでのみ交換することができます。

- この件につきましては、BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

LED ウィンカーを交換する

– LED ウィンカー^{OE} 装備

- LED ウィンカーは全交換のみできます。この件につきましては、BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。◁

LED ヘッドライトの交換

– LED ヘッドライト^{OE} 装備

- LED ヘッドライトは一式でしか交換できません。詳しくは専門の整備工場、できればBMW Motorrad ディーラーまでお問い合わせください。◁

LED 補助ヘッドライトを交換する

– LED 補助ヘッドライト^{OA} 装備

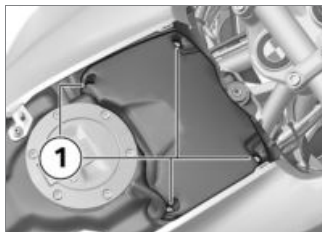
LED 補助ヘッドライトは、アセンブリーでのみ交換可能です。LED を個別に交換することはできません。

BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

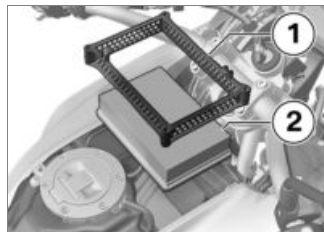
エアフィルター エアフィルターエレメント を交換する



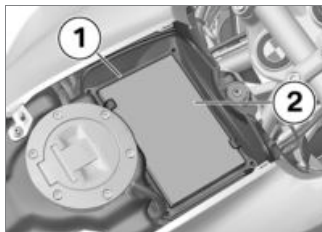
- フロントシートを取り外す(▶▶▶ 81)。
- ボルト **1** およびボルト **2** を取り外します。
- センターフェアリングを取り外します。



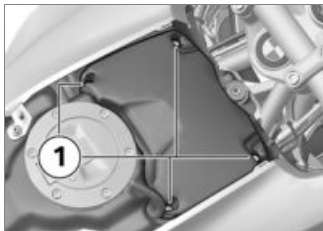
- ボルト **1** を取り外します。
- エアクリーナーカバーを取り外します。



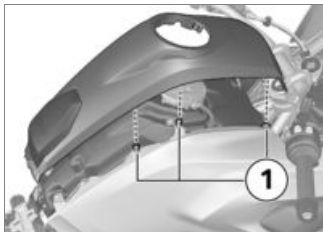
- エアクリーナーエレメント **2** を清掃し、必要に応じて交換します。
- エアクリーナーエレメント **2** およびフレーム **1** を組み込みます。



- フレーム **1** を取り外します。
- エアフィルター **2** を取り外します。



- エアクリーナーカバーをのせます。
- ボルト **1** を取り付けます。



- センターフェアリングを組み込み、その際サイド部への接続 **1** に注意します。



- ボルト **1** および **2** を取り付けます。
- フロントシートを取り付ける(▶▶▶ 83)。

始動補助

重要事項

モーターサイクルでジャンプスタートを行う際の強すぎる電流
車両電装系の損傷やケーブルの燃焼

- モーターサイクルのジャンプスタートは電源ソケットからではなく、必ずバッテリーターミナルから行ってください。◀

重要事項

ジャンパーコードのターミナルクランプと車両間の接触。

ショートのおそれ

- ジャンパーコードは完全に絶縁されているターミナルクランプとともに使用してください。◀

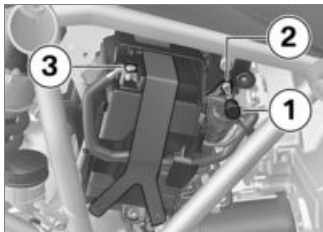
重要事項

ジャンプスタートを 12V より高い電圧で行う。

車両電装系の損傷。

- 供給側車両のバッテリー電圧が、12V であることを確認してください。◀
- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルを駐車します。
- バッテリーカバーを取り外す(▶▶▶ 140)。

- ジャンプスタートを行う際、バッテリーを車両電装システムから外さないでください。



- 保護キャップ **1** を取り除きます。
- 始動補助ケーブル（赤）の一方の先端を、放電したバッテリーのプラス極 **2** に接続し、もう一方の先端を供給側バッテリーのプラス極に接続します。

注記

12 V バッテリーが誤って取り付けられている場合、または極性に誤りがある場合（ジャンプス

タートの場合など）、オルタネーターレギュレーター（電圧調整器）のヒューズが溶断するおそれがあります。◀

- ジャンパーコード（黒）の一方の先端を供給側バッテリーのマイナスターミナルに接続します。その後、もう一方の先端を放電したバッテリーのマイナスターミナル **3** に接続します。
- ジャンプスタートを行っている間、供給側バッテリー車両のエンジンを作動させておきます。
- 放電したバッテリー側の車両のエンジンを、通常の方法で始動させます。正常に始動しなかった場合は、スターターと供給側バッテリーの保護のため、数分経ってから再始動させてください。
- 接続を外す前に、両車両のエンジンをそのまま数分間作動させておいてください。

- ジャンパーコードは、まずマイナスターミナルから外し、その後プラスターミナルから外します。

注記

エンジンを始動するために、スタートアシストスプレーや類いの補助剤は使用しないでください。◀

- 保護キャップを取り付けます。
- バッテリーカバーを取り付ける(➡ 142)。

バッテリー

メインテナンスに関する注意

正しいメインテナンス、充電、保管は、バッテリーの寿命を延ばし、また、保証のための前提条件となります。

バッテリーの寿命を延ばすために、以下のことに注意してください。

- バッテリーの表面を、清潔で乾いた状態に保つ。
- バッテリーを開けない。
- バッテリーに水を補充しない。
- バッテリーの充電を行う場合は、必ず、次ページ以降の注意事項に従う。
- バッテリーを逆さまにしない。

**重要事項**

車両エレクトロニクス（時計など）により、接続されているバッテリーが放電する。

過放電、それによる保証要件からの除外。

- 4週間以上、走行しない場合：トリクルチャージャーをバッテリーに接続してください。◀

**注記**

BMW Motorrad では、ご使用のモーターサイクルの電子機器専

用にトリクルチャージャーを開発しました。このチャージャーを使用すれば、車両を長期間使用しない場合でも、バッテリーを接続した状態で充電しておくことができます。詳しい情報につきましては、BMW Motorrad ディーラーにお問合せください。◀

接続しているバッテリーを充電する**重要事項**

バッテリーターミナルに接続されているバッテリーの充電。

車両電装系の損傷。

- 充電前にバッテリーをバッテリーターミナルから接続を外してください。◀

**重要事項**

電源ソケットまたは補助コネクターを使用して、完全に放電したバッテリーを充電する。

車両電装系の損傷。

- 完全に放電したバッテリー（バッテリー電圧 < 9 V、イグニッション ON の状態でインジケーターおよびマルチファンクションディスプレイが OFF のまま）は、常に、**直接、接続を外した** バッテリーのターミナルで充電してください。◀

**重要事項**

電源ソケットに接続されている、不適切なバッテリーチャージャー。

チャージャーおよびフレーム電装系の損傷。

- 適切な BMW チャージャーを使用します。対応する適切なチャージャーは BMW Motorrad ディーラーで入手することができます。◀
- 接続しているバッテリーに電源ソケットから充電します。

注記

バッテリーがフル充電されると、車両の電子機器が検知します。この場合、電源ソケットの回路は遮断されます。◀

- チャージャーの取扱説明書に従ってください。

注記

電源ソケットからバッテリーの充電ができない場合、使用されたチャージャーがモーターサイクルの電子機器に適合していない可能性があります。この場合は、接続を外したバッテリーのターミナルから、直接バッテリーを充電してください。◀

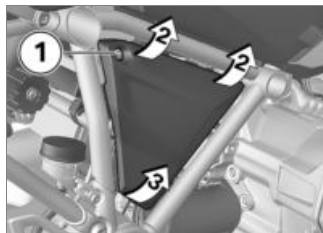
外したバッテリーを充電する

- 適切なチャージャーを使用して、バッテリーを充電します。
- チャージャーの取扱説明書に従ってください。

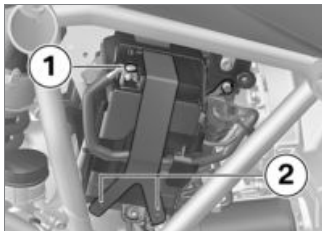
- 充電が終了したら、チャージャーのターミナルクランプをバッテリーターミナルから外します。

注記

長期間車両を使用しない場合は、バッテリーを定期的に充電する必要があります。その場合には、そのバッテリーの取扱い規定に従ってください。また、再使用する前に必ずバッテリーをフル充電してください。◀

バッテリーを取り外す

- イグニッションを OFF にします。
 - ボルト **1** を取り外します。
 - バッテリーカバー上部を **2** の位置のところで、少し引っ張り出します。
 - バッテリーカバーおよびサポートを損傷しないようにするため、バッテリーカバーを **3** の位置のところで上方へ取り外します。
- 盗難警報装置 (DWA)^{OE} 装備
- 必要に応じて、盗難警報装置を OFF にします。◀



- バッテリーマイナス配線 **1** およびラバーバンド **2** を外します。



- ホールドプレートのポジション **1** を外側へ引いてから、上方へ取り外します。

- バッテリーをわずかに持ち上げて、プラス極に手が届くようになるまで止め具から取り外します。



- バッテリープラス配線 **1** を外し、バッテリーを引き出します。

バッテリーを取り付ける

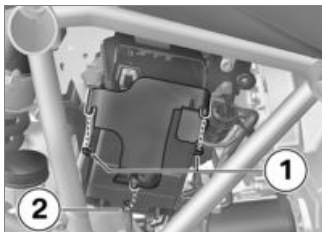


12V バッテリーが誤って取り付けられている場合、または極性に誤りがある場合（ジャンプスタートの場合など）、オルタネーターレギュレーター（電圧調整

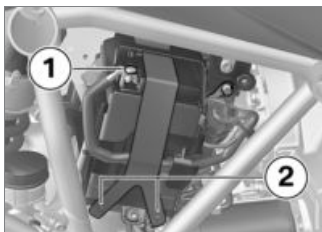
器）のヒューズが溶断するおそれがあります。◀



- バッテリープラス配線 **1** を取り付けます。
- バッテリーを止め具にスライドして入れます。

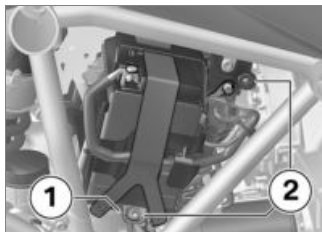


- ホールドプレートをまずホルダー **1** に組み込み、引き続きポジション **2** をバッテリーの下に押し込みます。

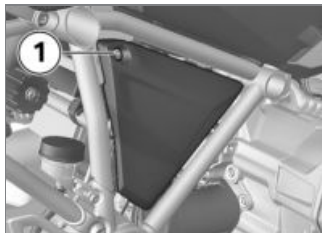


- バッテリーマイナス配線 **1** を取り付けます。

- バッテリーをラバーバンド **2** で固定します。



- バッテリーカバーをホルダー **1** に組み込み、ホルダー **2** に押し入れます。

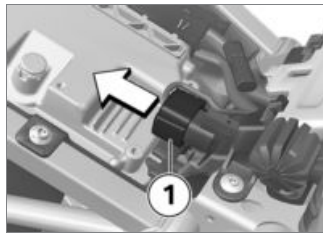


- ボルト **1** を取り付けます。

- 時計を調整する(▶▶▶ 54)。
- 日付設定(▶▶▶ 55)。

ヒューズ

ヒューズを交換する



- イグニッションを OFF にします。
- フロントシートを取り外す(▶▶▶ 81)。
- コネクター **1** を外します。

重要事項

故障しているヒューズのバイパス。
ショートや火災の危険。

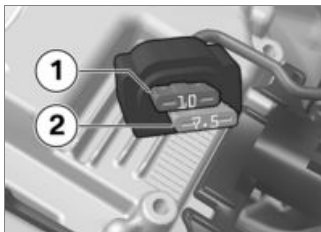
- 故障ヒューズは新品のヒューズと交換してください。◀
- 故障しているヒューズをフューズ一覧に従って交換します。

注記

ヒューズが頻繁に故障する場合には、電装システムの点検を専門の整備工場またはBMW Motorradディーラーに依頼してください。◀

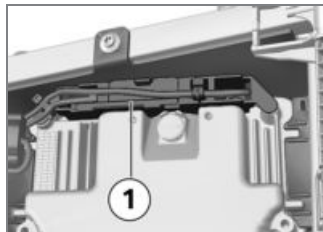
- コネクター **1** を取り付けます。
- フロントシートを取り付ける(▶▶ 83)。

ヒューズ割当て



- 1** 10 A
 メーターパネル
 盗難警報装置 (DWA)
 イグニッションロック
 診断ソケット
- 2** 7.5 A
 左コンビネーションス
 イッチ
 タイヤ空気圧コントロール
 (RDC)

オルタネーターレギュレーター (電圧調整器) 用ヒューズ



- 1** 50 A
 オルタネーターレギュレーター (電圧調整器)

アクセサリ

一般的な情報	146
電源ソケット	146
ナビゲーションシステム	147
ケース	152
トップケース	155

一般的な情報



注意

他社製品の使用。

安全に関わる危険

- BMW Motorrad では、すべての他社製品について、BMW 車両において安全性の問題なく使用できるかどうか判定することはできません。国別仕様により公的な許可が与えられている場合にも、これは認められていません。それらのようなテスト/点検では、常にBMW 車両におけるすべての使用条件を考慮に入れるということではできず、そのため部分的に十分でないところがあります。
- 必ず、BMW が BMW 車両用に承認している部品およびアクセサリ製品のみご利用ください。◀

部品およびアクセサリは、BMW により、その安全性、機能、適性に関する試験が実施され

ています。これらの製品については、BMW が製造責任を保証いたします。承認されていない部品やアクセサリにつきましては、いかなる種類であれ、BMW は責任を負いません。変更を加える場合にはすべて、必ず法規制に従ってください。各国の道路交通法を遵守してください。

BMW Motorrad ディーラーは、皆様がBMW 純正部品、アクセサリ、その他の製品を選択されるにあたり、専門的なアドバイスをいたします。

BMW Motorrad のすべてのアクセサリをインターネットで紹介しています：["www.bmw-motorrad.com"](http://www.bmw-motorrad.com)。

電源ソケット

電装系機器の接続

- － 電源ソケットに接続されている機器は、イグニッション ON

の状態でのみ、作動させることができます。

ケーブルの取り回し

- － 電源ソケットから追加装備機器までのケーブルは、ライダーの邪魔にならないように取り回してください。
- － ケーブルの取回しによって、ステアリングアングルや走行特性が制限されてはなりません。
- － ケーブルが挟み込まれないようにします。

自動停止

- － 電源ソケットは、始動動作中に自動的に OFF になります。
- － 車両電装システムの負荷解除のため、電源ソケットは、イグニッションを OFF にしてから 15 分以内に OFF になります。電流消費の少ない補助機器は車両エレクトロニクスによって検知されない可能性があります。これらの場合、イグ

ニッション OFF 後にしばらく経ってから電源ソケットが OFF に切り替わります。

- バッテリー電圧が低すぎる場合、電源ソケットが OFF になり、車両のスタート特性を保持します。
- テクニカルデータに示されている最大荷重容量を超過している場合、電源ソケットは OFF になります。

ナビゲーションシステム

- ナビゲーションシステム用取り付けキット^{OE}装備

ナビゲーションユニットをしっかりと取り付ける

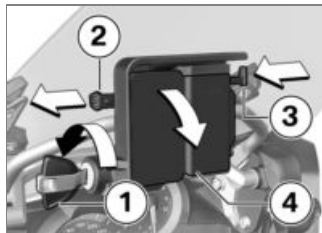
注記

ナビゲーション取り付けキットは、BMW Motorrad Navigator IV および BMW Motorrad Navigator V に適合しています。◀

注記

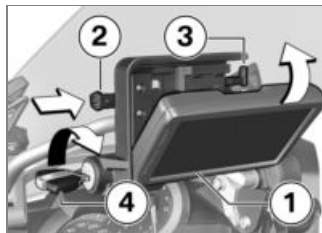
Mount Cradle のロックシステムに盗難からの保護機能はありません。

走行後には毎回、ナビゲーションシステムを取り外し、安全なところに保管してください。◀



- 車両キー **1** を反時計回りに回します。
- ヒューズ **2** を左方向へ引きまします。
- ロック **3** を圧入します。
- » Mount Cradle (マウントクレドル) はロック解除されており

り、カバー **4** を回転させて前方へ取り外すことができます。



- ナビゲーションユニット **1** を下側のエリアに組み込み、回転させて後方へ動かします。
- » ナビゲーションユニットが音をたててはまります。
- ヒューズ **2** を完全に右方向へずらします。
- » ロック **3** がロックしています。
- 車両キー **4** を時計回りに回します。
- » ナビゲーションユニットはロックされており、車両キーを抜き取ることができます。

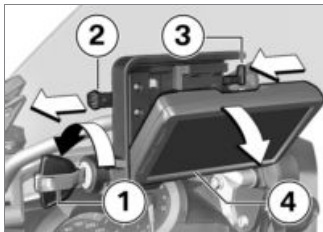
ナビゲーションユニットを取り外し、カバーを取り付ける

重要事項

Mount Cradle の接触部の塵埃や汚れ。

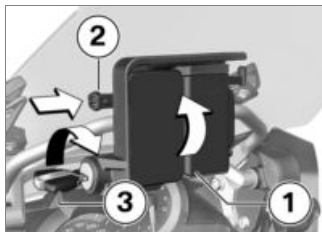
接触部の損傷。

- 走行後には毎回、カバーを再度取り付けてください。◀



- 車両キー **1** を反時計回りに回します。
- ヒューズ **2** を完全に左方向へ引きます。
- » ロック **3** はロック解除されています。

- ロック **3** を完全に左方向へずらします。
- » ナビゲーションユニット **4** がロック解除されます。
- ナビゲーションユニット **4** を傾けながら下方向へ取り外します。



- カバー **1** を下側のエリアに組み込み、回転させて上方向へ動かします。
- » カバーが音をたててはまります。
- ヒューズ **2** を右方向へずらします。

- 車両キー **3** を時計回りに回します。
- » カバー **1** はロックされています。

ナビゲーションシステムを操作する

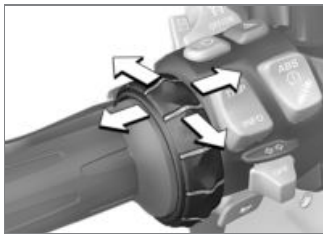
注記

以下の説明はNavigator V に関するものです。Navigator IV は記載されているすべての機能を有するものではありません。◀

注記

BMW Motorrad コミュニケーションシステムの最新バージョンのみがサポートされます。場合により、BMW Motorrad コミュニケーションシステム用のソフトウェア更新が必要です。その場合には、BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。◀

BMW Motorrad Navigator が取り付けられている場合、いくつかの機能はMulti-Controller を使用してハンドルバーから直接操作することができます。



Multi-Controller の操作は、6 つの動作でできます：

- 上下に回す。
- 左右に短押しします。
- 左右に長押しします。

Multi-Controller を回すと、コンパスページおよびMedioplayer ページで、Bluetooth 経由で接続されているBMW Motorrad コミュニ


ケーションシステムの音量が上がります / 下がります。


BMW スペシャルメニューで、Multi-Controller を回すことにより、メニュー項目を選択します。

Multi-Controller を左右に短押しすると、Navigator のメインページが切り替わります：

- 地図表示部
- コンパス
- Medioplayer
- BMW スペシャルメニュー
- ご使用のモーターサイクルのページ

Multi-Controller を長押しするのは、Navigator ディスプレイで特定の機能を作動させるのと同じです。この機能は、該当するタッチパッドの上側に左矢印または右矢印で示されています。

 この機能は右方向へ長押しすることにより起動します。

 この機能は左方向へ長押しすることにより起動します。

それぞれ以下の機能が操作できます：

地図表示部

- 上方向へ回す：地図表示部を拡大する (Zoom in)。
- 下方向へ回す：地図表示部を縮小する (Zoom out)。

コンパスのページ

- 回すことにより、Bluetooth 経由で接続されているBMW Motorrad コミュニケーションシステムの音量が上がります / 下がります。

BMW スペシャルメニュー

- 前回のナビゲーションアナウンスを繰り返します。
- ウェイポイント：現在位置をお気に入りとして保存します。
- ホーム：自宅住所へのナビゲーションを開始します（自宅住所が設定されていない場合にはグレー表示になっています）。
- ミュート：自動ナビゲーションアナウンス OFF または ON (OFF: ディスプレイ内の最上段に線で消されたリップマークが表示されます)。ナビゲーションアナウンスはその後「アナウンスする」を介してアナウンス可能になります。他のすべての音声出力は ON のままです。
- 表示を OFF にする：ディスプレイを OFF にします。
- 自宅に電話する：ナビゲーターに登録されている自宅電話番号に電話します（接続されている電話があるときのみ作動）。

- 迂回：迂回機能を ON にします（アクティブになっているルートがあるときのみ作動）。
- ジャンプ：次のウェイポイントをジャンプします（そのルートにウェイポイントがある場合にのみ作動）。

ご使用のモーターサイクル

- 回す：表示されているデータ数を変更します。
- ディスプレイ上のデータ欄を軽く押すことにより、データの選択用メニューが開きます。
- 選択用に表示されている値は、取り付けられているオプション装備品により異なります。

注記

Medioplayer の機能は、Bluetooth 機器 (A2DP 規格準拠) の使用時にのみ利用可能です (BMW Motorrad コミュニケーションシステムなど)。◀

Medioplayer

- 左方向へ長押しする：前のトラックを再生します。
- 右方向へ長押しする：次のトラックを再生します。
- 回すことにより、Bluetooth 経由で接続されている BMW Motorrad コミュニケーションシステムの音量が上がります / 下がります。

警告メッセージおよび指示メッセージ



モーターサイクルの警告および指示表示は、対応するマーク 1 と

共に、地図表示部の左上に表示されます。



注記

BMW Motorrad コミュニケーションシステムが接続されている場合、警告 1 件につきさらに注意音が 1 つ鳴ります。◀

複数のアクティブな警告メッセージがある場合には、メッセージ数が三角形の警告マークの下側に表示されます。

三角形の警告マークをクリックすると、2 個以上のメッセージがある場合に、すべての警告メッセージを掲載したリストが開きます。

メッセージを 1 個選択すると、さらに詳しい情報が表示されます。



注記

すべての警告について詳細な情報を表示することはできません。◀

特別機能

BMW Motorrad Navigator の統合により、Navigator 取扱説明書の記載に異なる箇所が出ています。

燃料残量警告

フューエルレベル表示の設定は使用できません。残量警告は車両から Navigator に伝送されるからです。メッセージがアクティブになっている場合には、メッセージの上をクリックすることにより、次のガソリンスタンドが表示されます。

クロックディスプレイと日付

クロックディスプレイと日付は、Navigator からモーターサイクルに伝送されます。このデータのメーターパネルへの伝送は、メーターパネルのSETUPメニューで作動します。

セキュリティ設定

BMW Motorrad Navigator V では、4 桁の PIN により、第三者による操作から保護することができます (Garmin Lock)。この機能がアクティブになると、ナビゲーターが車両に取り付けられていてイグニッションが ON の間に、ライダーに対して、この車両を保護されている車両のリストに追加するかどうか確認がなされます。この問いに対して「はい」で確定すると、Navigator がこの車両の車両識別番号を保存します。

車両識別番号は 5 つまで登録することができます。

これらの車両の 1 台でイグニッションを ON にすることにより、Navigator が ON になります。これで PIN 入力は必要なくなります。

Navigator が ON の状態で車両から取り外されると、安全上の理由から PIN の確認が開始されません。

画面の輝度

取り付けられている状態で、画面の輝度がモーターサイクルにより設定されます。マニュアル入力は必要ありません。

自動設定は、ご希望に応じて Navigator 内のディスプレイ設定で OFF にすることができます。

ケース

ケースを開きます

– ケース^{OA} 装備



- キー **1** を時計回りに回します。

- ロック **2** (黄) を押したまま、キャリングハンドル **3** を上に開きます。



- ボタン **1** (黄) を押し下げながら、ケースカバーを開きます。

ケース容量を調整する

– ケース^{OA} 装備

- ケースを開き、空にします。



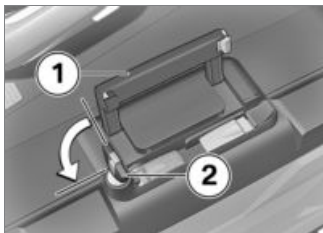
- スイングレバー **1** を上側終端位置にかみ合わせ、小さい方のボリュームになるようにします。
- 大きい方の容量にするため、スイングレバー **1** を下側終端位置にかみ合わせます。
- ケースを閉じます。

ケースを閉じる

– ケース^{OA} 装備

- キーをケースロックに差し込み、進行方向に対して直角に回します。
- ケースカバーを閉じます。

» カバーがはまる音が聞こえます。



重要事項

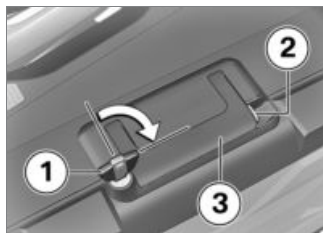
**ロックされたケースロックにより
キャリングハンドルが閉じる。**

キャッチロックの損傷。

- キャリングハンドルを閉じる際、ケースロックを斜めに進行方向に向けるように注意すること。◀
- キャリングハンドル **1** を閉じます。
- キー **2** を反時計回りに回して抜き取ります。

ケースを取り外します

– ケース^{OA} 装備



- キー **1** を時計回りに回します。
- ロック **2** (黄) を押したまま、キャリングハンドル **3** を上に開きます。



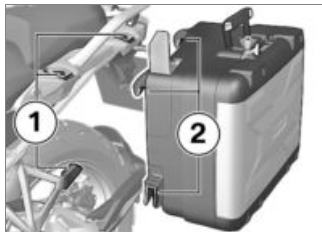
- ロック解除レバー (赤) **1** を引き上げます。
- » ロックフラップ **2** が飛び出します。
- ロックフラップを完全に開きます。
- キャリングハンドルを持って、ケースをホルダーから外します。

ケースを取り付けます

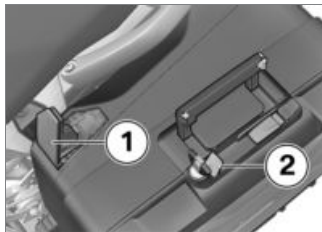
– ケース^{OA} 装備



- ロック解除レバー（赤）**1**を引き上げます。
- » ロックフラップ**2**が飛び出します。
- ロックフラップを完全に開きます。

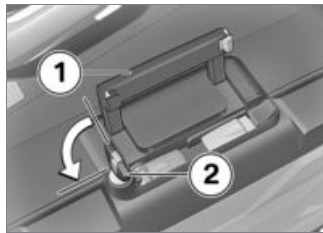


- ケースを上から止め具**1**および**2**に組み込みます。



- ロックフラップ**1**をストップ位置まで下方向へ押し下す。

- 引き続きロックフラップおよびロック解除レバー**2**（赤）を同時に押し下げます。
- » ロックフラップがロックします。



重要事項

- ロックされたケースロックによりキャリングハンドルが閉じる。
キャッチロックの損傷。
- キャリングハンドルを閉じる際、ケースロックを斜めに進行方向に向けるように注意すること。◀


- キャリングハンドル **1** を閉じます。
- キー **2** を反時計回りに回して抜き取ります。

最大積載荷重および最高速度

ケース内の注意ラベルに記載されている最大積載荷重および最高速度を遵守してください。

車両にケースを組み合わせた場合についてステッカーに記載されていない場合には、最寄りのBMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

ここに記載されている組み合わせについては、下記の値が適用されます：

 パニアケースを装着している状態で走行する場合の最高速度

max 180 km/h



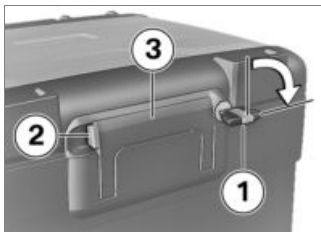
パニアケースごとの積載荷重

max 10 kg

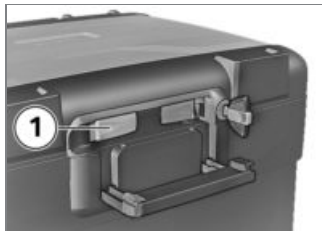
トップケース

トップケースを開きます

— トップケース^{OA}装備



- キー **1** を時計回りに回します。
- ロック **2** (黄) を押したまま、キャリングハンドル **3** を上に開きます。



- ボタン **1** (黄) を前方へ押しながら、トップケースを開きます。

トップケース容量を調整する

— トップケース^{OA}装備

- トップケースを開き、空にします。

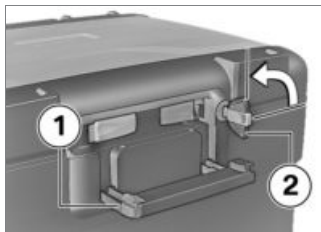


- 大きい方の容量に調整するため、スイングレバー **1** を前側終端位置にかみ合わせます。
- 小さい方の容量に調整するため、スイングレバー **1** を後ろ側終端位置にかみ合わせます。
- トップケースを閉じます。

トップケースを閉じる

ー トップケース^{OA}装備

- トップケースリッドを強く押しつけて閉じます。



重要事項

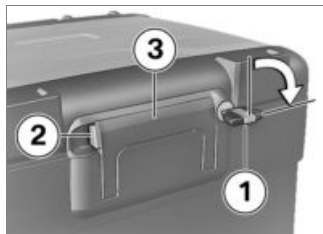
ケースロックがロックされている状態でキャリングハンドルを閉じる。

ロックタブの損傷。

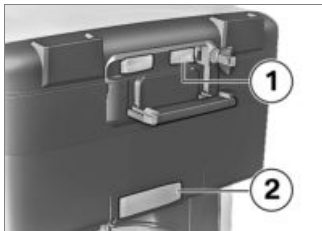
- キャリングハンドルを閉じる前に、トップケースロックの向きが垂直になっているか確認してください。◀
- キャリングハンドル **1** を閉じます。
» キャリングハンドルがはまる音が聞こえます。
- キー **2** を反時計回りに回して抜き取ります。

トップケースを取り外す

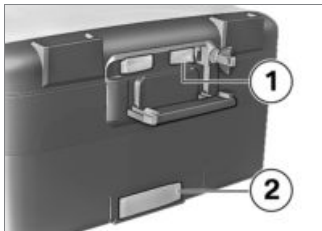
ー トップケース^{OA}装備



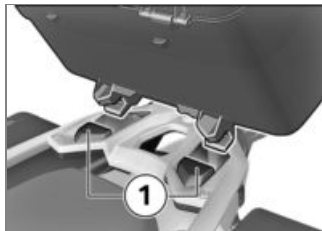
- キー **1** を時計回りに回します。
- ロック **2** (黄) を押したまま、キャリングハンドル **3** を上に開きます。



- レバー **1** (赤) を後方へ引きま
す。
- » ロックフラップ **2** が飛び出
します。
- ロックフラップを完全に開きま
す。
- キャリングハンドルを持って、
トップケースをホルダーから
外します。



- レバー **1** (赤) を後方へ引きま
す。
- » ロックフラップ **2** が飛び出
します。
- ロックフラップを完全に開きま
す。



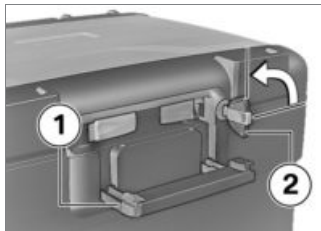
- トップケースをトップケースリ
テーニングプレートの前側ホル
ダー **1** に掛けます。
- トップケース後部をトップケー
スホールドプレートの上に押し
付けます。

トップケースを取り付ける

– トップケース^{OA}装備



- ロックフラップ **1** をストップ位置まで前方向へ押しします。
- 引き続きロックフラップおよびロック解除レバー **2** (赤) を同時に前方へ押しします。
- » ロックフラップがロックします。



重要事項

ケースロックがロックされている状態でキャリングハンドルを閉じる。

ロックタブの損傷。

- キャリングハンドルを閉じる前に、トップケースロックの向きが垂直になっているか確認してください。◀
- キャリングハンドル **1** を閉じます。
- » キャリングハンドルがはまる音が聞こえます。
- キー **2** を反時計回りに回して抜き取ります。

最大積載荷重および最高速度

トップケース内の注意ラベルに記載されている最大積載荷重および最高速度を遵守してください。

車両にトップケースを組み合わせた場合についてステッカーに記載されていない場合には、最寄りのBMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

ここに記載されている組み合わせについては、下記の値が適用されます：

	トップケースを装着している状態で走行する場合の最高速度
	max 180 km/h
	トップケースの積載荷重
	max 5 kg

お手入れ

ケア用品.....	160
洗車	160
損傷しやすい車両部品のお手 入れ	161
塗装のお手入れ.....	162
長期保管.....	162
保護コーティング	163
再使用	163

ケア用品

BMW Motorrad は、ご使用になる洗剤やケア用品をBMW Motorrad ディーラーでお求めになることをお勧めします。BMW CareProducts (BMW ケア製品) は、原料の点検確認および研究機関における製品のテストや試用点検が行われており、あなたの車両に使用されているマテリアルのお手入れと保護を最適に行います。

重要事項

不適切な洗剤およびケア用品の使用。

車両部品の損傷。

- ニトロ希釈液、コールドクリーナー、ガソリン、アルコールを含んだクリーナーなどを使用しないでください。◀

洗車

BMW Motorrad は、ペイントに付着している昆虫や硬化した汚れなどを、洗車の前に BMW 専用クリーナーで柔らかくして洗い流しておくことをお勧めします。

しみができるのを避けるため、強い直射日光にさらされた直後や日向での洗車は行わないでください。

特に冬季の間は、洗車をより頻繁に行ってください。

路面に散布された塩を除去するため、走行後は、直ちにモーターサイクルを冷水で洗車します。

警告

車両を水洗いしたり、水たまりの中を通過したり、雨の日に走行した後の、水分の付着したブレーキディスクおよびブレーキパッド。

ブレーキの効きの低下。

- ブレーキディスクおよびブレーキパッドが乾いた状態でブレー

キがかけられるようになるまでは、早めにブレーキングしてください。◀

重要事項

温水による塩の作用の増大。

腐食

- 散布された塩を除去するには、必ず冷水を使用してください。◀

重要事項

高圧クリーナーやスチームジェット機器の高い水圧による損傷。

ガスケット、油圧式ブレーキシステム、電装系、シートの損傷、腐食またはショート。

- 高圧ジェットやスチームクリーナーは慎重に使用してください。◀

注記

アルミニウム製ケースおよびトップケースには表面被覆がありま

せん。美しい外観を保つには、以下のお手入れを行ってください：

散布用塩や腐食性の付着物は、走行終了後ただちに、冷水を使用して取り除いてください。◀

損傷しやすい車両部品のお手入れ

プラスチック

重要事項

不適切な洗剤の使用。

プラスチック表面の損傷。

- アルコールや溶剤、研磨剤を含んだクリーナーは使用しないでください。
- 虫取りスポンジや表面の硬いスポンジは使用しないでください。◀

フェアリング部


フェアリング部は、水とBMW プラスチックケア製品とを使用して清掃してください。


プラスチック製ウインドシールドおよびカバーレンズ

汚れや昆虫を、柔らかいスポンジと水を大量に使用して除去してください。

注記

硬化した汚れや昆虫などの付着は、湿らせた布などをかぶせて柔らかくしてください。◀

 水とスポンジのみを使用した洗浄。

 化学洗剤は使用しないでください。

クローム

クロームメッキ部分は、特に塩の作用を受けた際には、大量の水と BMW シャンプーで慎重に清掃してください。さらに処置を施す場合には、クロームポリッシャーを使用してください。

ラジエター

ラジエターは、定期的に清掃してください。冷却が不十分なために起こるエンジンのオーバーヒートを避けるためです。例えば、水圧をわずかにして、ホースを使用してください。

重要事項

用意に曲げられるラジエターのエッジ。

ラジエターのエッジの損傷

- 清掃の際はラジエターのエッジが湾曲しないように注意する。◀

ラバー部品

ラバー部品の清掃には、水または BMW ラバークリーナーを使用してください。

重要事項

ラバーシールのお手入れにシリコンスプレーを使用。

ラバーシールの損傷。

- シリコンスプレーやシリコンを含んだケア製品を使用しないでください。◀

塗装のお手入れ

定期的に洗車を行うことにより、塗装部分に長期間にわたって影響を与え、ペイントを損傷する原因となる物質を除去することができます。特に、大気汚染が激しい地域や、樹脂や花粉などが付着するような地域を走行した場合などに効果的です。

とくに浸食性の高い物質（例えばこぼれた燃料、オイル、グリース、ブレーキフルード、

鳥のふんなど）は、塗装の変化や変色が生じるおそれがあるため、すぐに取り除く必要があります。BMW Motorrad は、除去用に BMW ポリッシャーまたは BMW ペイントクリーナーをお勧めします。

ペイントの表面仕上げに付着している汚れは、洗車後に特に見えやすくなります。このような汚れは、クリーニング用ベンジンまたはアルコールを清潔な布や綿球などに含ませて、直ちに除去してください。BMW Motorrad は、タール系の汚れには、BMW タールリムーバーの使用をお勧めします。その後、その箇所のペイントを保護コーティングなどで保護します。

長期保管

- モーターサイクルを洗浄します。

- モーターサイクルの給油（満タン）
- バッテリーを取り外す(▶▶▶ 140)。
- ブレーキレバーおよびクラッチレバー、センタースタンドベアリングとサイドサポートベアリングに対応の潤滑油を吹き付けます。
- 金属部品やクロームめっき部品に、中性のグリース（ワセリン）を塗布し、保管します。
- モーターサイクルは、両ホイールに負荷がかかっていない状態にして、乾燥した空間に保管します（BMW Motorrad 推奨フロントホイール、リヤホイールスタンドを使用することをお勧めします）。

保護コーティング

水滴が水玉にならなくなったら、塗装の防錆処理をしなければなりません。

BMW Motorrad は、ペイント保護コーティングには、BMW ワックス、またはカルナバワックス、合成ワックスを含むコーティング剤をお勧めします。

再使用

- 外部保護部を外します。
- モーターサイクルを洗浄します。
- バッテリーを取り付ける(▶▶▶ 141)。
- チェックリストを確認し、遵守する(▶▶▶ 89)。

仕様 (諸元)

トラブルシューティング	166
ネジ止め部	167
エンジン	169
燃料	170
エンジンオイル	171
クラッチ	171
ギヤボックス	172
リヤホイールドライブ	173
サスペンション	173
ブレーキ	175
ホイールとタイヤ	176
電装システム	177
フレーム	179
盗難警報装置	179
寸法	180

重量	181
性能	181

ネジ止め部

フロントホイール	数値	有効
テレスコピックフォーク内アクスルシャフト		
M12 x 20	30 Nm	
テレスコピックフォークのアクスルシャフト用固定ボルト		
M8 x 35	19 Nm	
テレスコピックフォークのブレーキキャリパー		
M10 x 65	38 Nm	
リヤホイール	数値	有効
リヤホイールとホイールフランジ		
M10 x 1.25 x 40	対角の順に締め付けます	
	60 Nm	
ホイール回転数センサーとフォーク		
M6 x 16 マイクロカプセル加工済またはボルト固定剤（中強度）使用	8 Nm	

ミラーアーム		数値	有効
ミラー (ロックナット) とアダプター			
左ネジ、M10 x 1.25		22 Nm	
アダプターとクランプ台			
M10 x 14 - 4.8		25 Nm	
ハンドルバー		数値	有効
クランプ台 (ハンドルバークランプ) とフォークブリッジ			
M8 x 35	進行方向の前のブロックで締め付けます		
	19 Nm		

エンジン

エンジン番号位置	クランクハウジング下部右側、スターター下部
エンジン型式	空冷 / 水冷 2 気筒 4 ストロークボクサーエンジン、スパーギヤ駆動 DOHC、バランサーシャフト装備
排気量	1170 cm ³
シリンダーボア	101 mm
ピストンストローク	73 mm
圧縮比	12.5:1
最高出力	92 kW、エンジン回転数: 7750 min ⁻¹
- 低出力仕様 ^{OE} 装備	79 kW、エンジン回転数: 7750 min ⁻¹
最大トルク	125 Nm、エンジン回転数: 6500 min ⁻¹
- 低出力仕様 ^{OE} 装備	122 Nm、エンジン回転数: 5250 min ⁻¹
最高回転数	max 9000 min ⁻¹
アイドル回転数	1150 min ⁻¹ 、エンジン作動温度時

燃料

推奨フューエルグレード	無鉛プレミアムガソリン (ハイオク) (最大 10%エタノール、E10) 95 ROZ/RON 89 AKI
燃料品質の選択肢	無鉛レギュラーガソリン (出力および燃費の制約。エンジンに低燃料品質 91 RON を使用する国などでは、それに合わせてモーターサイクルを BMW Motorrad ディーラーで事前にプログラミングする必要があります。) (最大 10%エタノール、E10) 91 ROZ/RON 87 AKI
フューエル容量	約 20 l
フューエルリザーブ容量	約 4 l
排ガス基準	EU 3

エンジンオイル

エンジンオイル容量	max 4 l、フィルター交換時
規格	SAE 5W-40、API SL / JASO MA2、添加剤（例えばモリブデンベースのもの）は許可されていません。コーティングされているエンジン部品が損傷するためです、BMW Motorrad では、BMW Motorrad ADVANTEC Ultimate オイルを推奨しています
エンジンオイル補充量	max 0.95 l、MIN とMAX 間の偏差

BMW recommends **ADVANTEC**
ORIGINAL BMW ENGINE OIL

クラッチ

クラッチの仕様	マルチプレート湿式クラッチ、アンチホッピング
---------	------------------------

ギヤボックス

ギヤボックスの仕様	常時噛み合い式ヘリカルギア 6 速マニュアルトランスミッション
ギヤ比	1.000 (60:60 丁)、一次減速比 1.650 (33:20 丁)、ギヤボックスインプットギヤ比 2.438 (39:16 丁)、1 速 1.714 (36:21 丁)、2 速 1.296 (35:27 丁)、3 速 1.059 (36:34 丁)、4 速 0.943 (33:35 丁)、5 速 0.848 (28:33 丁)、6 速 1.061 (35:33 丁)、トランスミッションアウトプットギヤ比

リヤホイールドライブ

リヤホイールドライブタイプ	ベベルギヤ付きシャフトドライブ
リヤサスペンション型式	BMW Motorrad パラレバー付アルミキャストシングルスイングアーム
リヤホイールドライブのギヤレシオ	2.91 (32/11 ノッチ)

サスペンション

フロントホイール

フロントサスペンション型式	BMW テレレバー、上部フォークブリッジはアンチダイブ機能付き、トレーリングアームをモーターおよびテレスコピックフォークに設置、センタースプリングストラットをトレーリングアームおよびフレームに支持
フロントホイールサスペンションの構造	コイルスプリング付きセントラルスプリングストラット
- Dynamic ESA ^{OE} 装備	コイルスプリングおよびリザーバー付きセントラルスプリングストラット、電気調整式プルおよびプレッシャステージショックアブソーバー
スプリングトラベル (フロント)	190 mm、ホイールで
- 低サスペンション ^{OE} 装備	160 mm、ホイールで

リヤホイール

リヤサスペンション型式	BMW Motorrad パラレバー付アルミキャストシングルスイングアーム
リヤサスペンション型式	コイルスプリング付きセントラルスプリングストラット、調整式リバウンドダンピングおよびスプリングプリロード
- Dynamic ESA ^{OE} 装備	コイルスプリングおよびリザーバー付きセントラルスプリングストラット、電気調整式プルおよびプレッシャステージショックアブソーバー、電気調整式スプリングプリロード
スプリングトラベル (リヤホイール)	200 mm
- 低サスペンション ^{OE} 装備	170 mm

ブレーキ

フロントブレーキ型式	ラジアルマウント 4 ピストンモノブロックキャリパーを装着した油圧式ダブルディスクブレーキ。ブレーキディスクはフローティングマウント
フロントブレーキパッドの素材	焼結合金
フロントブレーキディスク厚	min 4 mm、 摩耗限度
リアブレーキ型式	2 ピストンフローティングキャリパーを装備した油圧式ディスクブレーキ。ブレーキディスクは固定式。
リアブレーキパッドの素材	有機素材
リアブレーキディスク厚	min 4.5 mm、 摩耗限度

ホイールとタイヤ

承認タイヤ	最新の承認タイヤの一覧については、BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせいただくか、ウェブサイト bmw-motorrad.com をご覧ください。
タイヤ速度カテゴリー (フロント / リヤ)	V、最低限度: 240 km/h
フロントホイール	
フロントホイールの仕様	アルミニウムキャストホイール
– クロススポークホイール ^{OE} 装備	クロススポークホイール
フロントホイールリムサイズ	3.0 インチ x19 インチ
タイヤサイズ (フロント)	120/70 - 19
タイヤ荷重指数 (フロント)	最小 52
フロントホイールのアンバランスの許容値	max 5 g
リヤホイール	
リヤホイールの仕様	アルミニウムキャストホイール
– クロススポークホイール ^{OE} 装備	クロススポークホイール
リヤホイールリムサイズ	4.50 インチ x17 インチ
タイヤサイズ (リヤ)	170/60 - 17
タイヤ荷重指数 (リヤ)	最小 70
リヤホイールのアンバランスの許容値	max 45 g

タイヤ充填圧

タイヤ充填圧 (フロント)	2.5 bar、タイヤ冷間時
タイヤ充填圧 (リヤ)	2.9 bar、タイヤ冷間時

電装システム

電源ソケットの定格電気負荷	max 5 A、すべての電源ソケット (合計)
ヒューズホルダー 1	10 A、スロット 1: メーターパネル、盗難防止装置 (DWA)、イグニッションスイッチ、診断ソケット 7.5 A、スロット 2: 左コンビネーションスイッチ、タイヤ空気圧モニター (RDC)
ヒューズホルダー	50 A、ヒューズ 1: 電圧レギュレーター

バッテリー

バッテリー型式	AGM (Absorbent Glass Mat) バッテリー
バッテリー電圧	12 V
バッテリー容量	12 Ah

スパークプラグ

スパークプラグのメーカーおよび名称	NGK LMAR8D-J
スパークプラグの電極ギャップ	0.8 \pm 0.1 mm、新品時の状態 1.0 mm、摩耗限度

バルブ

ハイビーム用バルブ	H7 / 12 V / 55 W
- LED ヘッドライト ^{OE} 装備	LED
ロービームのバルブ	H7 / 12 V / 55 W
- LED ヘッドライト ^{OE} 装備	LED
ポジションライト / パーキングライトバルブ	W5W / 12 V / 5 W
- LED ヘッドライト ^{OE} 装備	LED
テールライト / ブレーキライトバルブ	LED
フロントウインカー用バルブ	RY10W / 12 V / 10 W
- LED ウインカー ^{OE} 装備	LED
リヤウインカー用バルブ	RY10W / 12 V / 10 W
- LED ウインカー ^{OE} 装備	LED

フレーム

フレーム型式	スチールチューブフレームとドライブユニット、スチールパイプリヤフレーム
型式プレートの位置	右フロントフレーム（スプリングストラットの横）
車両識別番号の位置	右フロントフレームとステアリングヘッド

盗難警報装置

再使用時に ON になるまでの時間	約 30 s
アラーム継続時間	約 26 s
バッテリータイプ	CR 123 A

寸法

全長	2205 mm、スプラッシュガード上
全高	1430...1490 mm、ウインドシールドを含む (DIN 空車時)
- 低サスペンション ^{OE} 装備	1405...1465 mm、ウインドシールド含む (ローポジション) (空車時)
全幅	955 mm、ミラー含む
フロントシート高さ	850...870 mm、ライダー非乗車時 (空車時)
- ロー運転席シート ^{OE} 装備	820...840 mm、ライダー非乗車時 (空車時)
- 低サスペンション ^{OE} 装備	800...820 mm、ライダー非乗車時 (空車時)
ライダーステップアーチレングス	1870...1910 mm、ライダー非乗車時 (空車時)
- ロー運転席シート ^{OE} 装備	1820...1860 mm、ライダー非乗車時 (空車時)
- 低サスペンション ^{OE} 装備	1790...1830 mm、ライダー非乗車時 (空車時)

重量

車両重量	238 kg、車両重量（走行可能状態、燃料満載時の90 %、オプション非装備）
許容総重量	450 kg
最大積載荷重	212 kg

性能

登り坂における発進力 (許容総重量)	20 %
最高速度	>200 km/h

サービス

リサイクリング	184
BMW Motorrad サービス	185
BMW Motorrad モバイルサー ビス	186
メンテナンス作業	186
メンテナンススケジュール	189
BMW サービス基準	190
点検記録	191
一般整備記録	196

リサイクルング

二輪車を廃棄する場合は？

最寄りの「廃棄二輪車取扱店」の BMW Motorrad ディーラーにご相談ください。

廃棄二輪車取扱店とは (社) 全国軽自動車協会連合会の登録販売店で、広域廃棄物処理指定業指定店として登録されている廃棄二輪車取扱店です。廃棄二輪車を適正処理するための窓口であり、店頭に「廃棄二輪車取扱店の証」が表示されています。



廃棄二輪車取扱店の証

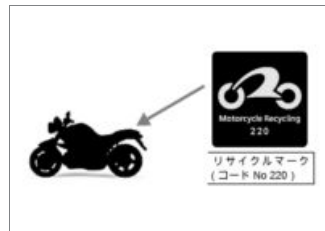
リサイクル料金と二輪車リサイクルマーク

リサイクル料金は廃棄二輪車を適正な処理を行い、再資源化する費用です。

リサイクルマーク (3 cm × 3 cm) が車体 (シートの下) に貼付されている BMW Motorrad は、リサイクル費用がメーカー希望小売価格に含まれておりますので、再資源化に必要なリサイクル料金はいただきません。

ただし、運搬および収集費用は含まれておりませんので、お客様から廃棄二輪車取扱店、およ

び指定引取所迄の運搬および収集費用はお客様負担となります。尚、運搬および収集費用は、依頼する廃棄二輪車取扱店にお問い合わせください。また、お客様の都合で二輪車リサイクルシステムを活用されない場合に於いても、リサイクル料金は返還いたしません。



シート下のフレーム等に貼付しています。

二輪車リサイクルマークの取扱い

二輪車を廃棄する際は、二輪車リサイクルマークが必要となります。

リサイクルマークは車体から剥がさないでください。尚、紛失、破損による再発行、部品販売の取扱いはございません。

リサイクルマークの剥がれ等により、リサイクルマーク付車両か否か不明の場合は、(財)自動車リサイクル促進センターのホームページおよび二輪車リサイクルコールセンターでご確認ください。

廃棄二輪車に関するお問合せについて

廃棄二輪車に関するお問い合わせは、最寄りの「廃棄二輪車取扱店」のBMW Motorradディーラーまたは下記の二輪車コールセンターまでお問合せください。

(財)自動車リサイクル促進センター内

- 二輪車リサイクルコールセンター
- 電話番号 03-3598-8075
- 受付時間 9時30分～17時00分(土日祝日、年末年始等を除く)
- ホームページ <http://www.jarc.or.jp/>

BMW Motorrad サービス

BMW Motorrad は広範囲にわたるディーラーネットワークにより、世界100ヶ国以上で、お客様およびご使用のモーターサイクルのためのサービスを提供しています。BMW Motorrad ディーラーは、ご使用のBMW モーターサイクルにおいて、あらゆるメンテナンスおよび修理作業を確実にを行うための技術情報および実際の知識、新たな知見、ノウハウを備えています。

最寄のBMW Motorrad ディーラーにつきましては、www.bmw-motorrad.jp をご覧ください。



警告

メンテナンス作業やリペア作業が正しく実施されなかった場合。

結果として生じる損傷による事故の危険。

- BMW Motorrad は、モーターサイクルに関する作業はBMW Motorrad ディーラーに依頼することをお勧めします。◀

ご使用のBMW モーターサイクルが常に最適な状態に保たれているようにするため、BMW Motorrad は、規定のメンテナンスインターバルを順守することをお勧めします。

実施すべきメンテナンスおよび修理作業については、本書の「サービス」の章でご確認ください。また、保証期間が満了した

後で修理や点検を依頼される場合にも、それまで定期的に整備されていたことが必要条件になります。

BMW サービスの内容につきましては、BMW Motorrad ディーラーにおたずねください。

BMW Motorrad モバイルサービス

BMW Motorrad の新車は、万が一のトラブル発生時にはBMW Motorrad エマージェンシーサービスによる各種のサービスを受けることができます（モバイルサービス、現場で対応可能な範囲での応急処置、車両の回送など）。

エマージェンシーサービスの詳細につきましては、BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

メンテナンス作業

BMW 納車前点検 (PDI)

BMW 納車前点検 (PDI) は、納車前に BMW Motorrad ディーラーによって実施されます。

BMW 初回点検

500 km～ 1200 km の間に必ず BMW 初回点検を行ってください。

BMW サービス

BMW サービスは 1 年に 1 度実施されます。サービス項目は車両使用年数および走行距離数に応じて異なります。BMW Motorrad ディーラーがお客様にサービスの実施を確認し、次回のサービス時期を登録します。

1 年間にかなりの距離を走行する車両に関しては、場合によっては登録されている時期以前にサービスを実施する必要があります。この場合、該当する最長走

行距離が一般整備記録に追記されます。次回のサービス時期の前にこの走行距離に達した場合は、予定を早めてサービスを実施する必要があります。

マルチファンクションディスプレイのサービス表示により、約 1 カ月後の登録日または 1000 km の登録距離になる前に、次のサービスの時期が近づいていることが示されます。

サービスに関する詳しい情報については、以下を参照してください：

bmw-motorrad.com/service

車両に必要なサービス範囲は、下記のメンテナンススケジュールで確認できます：

BMW サービス基準

BMW サービス基準には以下のメンテナンス作業が含まれています：

- BMW Motorrad 故障診断装置を使用して車両テストを実行します。
- 油圧式クラッチシステムの目視点検。
- ブレーキライン、ブレーキホース、接続部の目視点検。
- フロント/リアのブレーキパッドおよびブレーキディスクについて、摩耗点検を行います。
- フロント/リアのブレーキフルードレベルを点検します。
- クーラントレベルを点検します。
- サイドスタンドがスムーズに動くかを点検します。
- メイン（センター）スタンドがスムーズに動くかを点検します。
- タイヤ充填圧およびタイヤトレッドの溝の深さを点検します。
- スポークの張りを点検し、必要に応じて締め直します（クロススポークホイール（OE）の場合）。
- 照明および信号装置を点検します。
- エンジン始動抑止機能の機能を点検します。
- 最終点検および走行安全性の点検を行います。
- サービス時期およびサービス残余走行距離をセットします。
- バッテリーの充填状態を点検します。
- 車載書類に記載されているBMW サービスについて確認します。

点検記録

BMW 納車前点検 (PDI)

実施済

日付 _____

スタンプ、署名

BMW 初回点検

実施済

日付 _____

距離 (km) _____

次回サービス
期限

日付 _____

または、早めの実施が必要な場合

距離 (km) _____

スタンプ、署名

BMW サービス

実施済

日付 _____

距離 (km) _____

次回サービス

期限

日付 _____

または、早めの実施が必要な場合

距離 (km) _____

スタンプ、署名**BMW サービス**

実施済

日付 _____

距離 (km) _____

次回サービス

期限

日付 _____

または、早めの実施が必要な場合

距離 (km) _____

スタンプ、署名**BMW サービス**

実施済

日付 _____

距離 (km) _____

次回サービス

期限

日付 _____

または、早めの実施が必要な場合

距離 (km) _____

スタンプ、署名

BMW サービス

実施済

日付 _____

距離 (km) _____

次回サービス

期限

日付 _____

または、早めの実施が必要な場合

距離 (km) _____

スタンプ、署名

BMW サービス

実施済

日付 _____

距離 (km) _____

次回サービス

期限

日付 _____

または、早めの実施が必要な場合

距離 (km) _____

スタンプ、署名

BMW サービス

実施済

日付 _____

距離 (km) _____

次回サービス

期限

日付 _____

または、早めの実施が必要な場合

距離 (km) _____

スタンプ、署名

BMW サービス

実施済

日付 _____

距離 (km) _____

次回サービス

期限

日付 _____

または、早めの実施が必要な場合

距離 (km) _____

スタンプ、署名**BMW サービス**

実施済

日付 _____

距離 (km) _____

次回サービス

期限

日付 _____

または、早めの実施が必要な場合

距離 (km) _____

スタンプ、署名**BMW サービス**

実施済

日付 _____

距離 (km) _____

次回サービス

期限

日付 _____

または、早めの実施が必要な場合

距離 (km) _____

スタンプ、署名

BMW サービス

実施済

日付 _____

距離 (km) _____

次回サービス

期限

日付 _____

または、早めの実施が必要な場合

距離 (km) _____

スタンプ、署名

BMW サービス

実施済

日付 _____

距離 (km) _____

次回サービス

期限

日付 _____

または、早めの実施が必要な場合

距離 (km) _____

スタンプ、署名

BMW サービス

実施済

日付 _____

距離 (km) _____

次回サービス

期限

日付 _____

または、早めの実施が必要な場合

距離 (km) _____

スタンプ、署名

一般整備記録

この表は、メンテナンスおよび修理作業、アクセサリーの取り付け、特別キャンペーンの実施についての証明となります。

実施した作業	距離 (km)	日付

付録

電子式エンジン始動ロックシステム用認証.....	200
キーレスエントリー用認証.....	202
タイヤ圧コントロール用認証.....	204

FCC Approval

Ring aerial in the ignition switch



To verify the authorization of the ignition key, the electronic immobilizer exchanges information with the ignition key via the ring aerial.

This device complies with Part 15 of the FCC rules. Operation is subject to the following two conditions:

- (1) This device may not cause harmful interference, and
- (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.



Any changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment. ◀

Approbation de la FCC

Antenne annulaire présente dans le commutateur d'allumage



Pour vérifier l'autorisation de la clé de contact, le système d'immobilisation électronique échange des

informations avec la clé de contact via l'antenne annulaire.

Le présent dispositif est conforme à la partie 15 des règles de la FCC. Son utilisation est soumise aux deux conditions suivantes :

- (1) Le dispositif ne doit pas produire d'interférences nuisibles, et
- (2) le dispositif doit pouvoir accepter toutes les interférences extérieures, y compris celles qui pourraient provoquer une activation inopportune.



Toute modification qui n'aurait pas été approuvée expressément par l'organisme responsable de l'homologation peut annuler l'autorisation accordée à l'utilisateur pour utiliser le dispositif. ◀

Certifications

BMW Keyless Ride ID Device



USA, Canada

Product name: BMW Keyless Ride ID Device
FCC ID: YGOHUF5750
IC: 4008C-HUF5750

Canada:

Operation is subject to the following two conditions:

- (1) This device may not cause harmful interference, and
- (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

USA:

This device complies with Part 15 of the FCC rules. Operation is subject to the following two conditions:

- (1) This device may not cause harmful interference, and
- (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.



Any changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

Declaration Of Conformity

We declare under our responsibility that the product

BMW Keyless Ride ID Device (Model: HUF5750)

complies with the appropriate essential requirements of the article 3 of the R&TIE and the other relevant provisions, when used for its intended purpose. Applied Standards:

1. Health and safety requirements contained in article 3 (1) a)
 - EN 60950-1:2006+A11:2009+A1:2010+A12:2011; Information technology equipment- Safety
2. Protection requirements with respect to electromagnetic compatibility article 3 (1) b)
 - EN 301 489-1 (V1 .9.2, 09/2011), Electromagnetic compatibility and radio spectrum matters (ERM); Electromagnetic compatibility (EMC) standard for radio equipment and services; Part 1: Common technical requirements
 - EN 301 489-3 (V1.4.1, 08/2002) Electromagnetic compatibility and radio spectrum matters (ERM); Electromagnetic compatibility (EMC) standard for radio equipment and services; Part 3: Specific conditions for short range devices (SRD) operating on frequencies between 9 kHz and 40 GHz
3. Means of the efficient use of the radio frequency spectrum article 3 (2)
 - EN 300 220-1 & -2 (V2.4.1, 05/2012), electromagnetic compatibility and radio spectrum matters (ERM); Short range devices (SRD); Radio equipment to be used in the 25 MHz to 1000 MHz frequency range with power levels ranging up to 500 mW;
Part 1: Technical characteristics and test methods.
Part 2: Harmonized EN covering essential requirements under article 3.2 of the R&TIE directive

The product is labeled with the CE marking: **CE**

Velbert, October 15th, 2013



Benjamin A. Müller
Product Development Systems
Car Access and Immobilization – Electronics
Huf Hülbeck & Fürst GmbH & Co. KG
Steeger Straße 17, D-42551 Velbert

Certification Tire Pressure Control (TPC)

FCC ID: MRXBC54MA4
IC: 2546A-BC54MA4

FCC ID: MRXBC5A4
IC: 2546A-BC5A4

This device complies with Part 15 of the FCC Rules and with Industry Canada license-exempt RSS standard(s).

Operation is subject to the following two conditions:

- (1) This device may not cause harmful interference, and
- (2) This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Le présent appareil est conforme aux CNR d'Industrie Canada applicables aux appareils radio exempts de licence. L'exploitation est autorisée aux deux conditions suivantes:

- (1) l'appareil ne doit pas produire de brouillage, et
- (2) l'utilisateur de l'appareil doit accepter tout brouillage radioélectrique subi, même si le brouillage est susceptible d'en compromettre le fonctionnement.

WARNING: Changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment. The term "IC:" before the radio certification number only signifies that Industry Canada technical specifications were met.

A

ABS

- 技術情報, 107
- 警告表示, 35
- 自己診断, 90
- 操作する, 65
- 操作部, 15

ASC

- 技術情報, 110
- 警告表示, 36
- 自己診断, 91
- 操作する, 66
- 操作部, 15

D

DWA

- 仕様 (諸元), 179
- 表示灯, 18

E

ESA

- 操作する, 75
- 操作部, 15

K

Keyless Ride

- イグニッションを OFF にする, 48
- イグニッションを ON にする, 48
- 警告表示, 30, 31
- ステアリングロックをロックする, 47
- タンクキャップをロック解除する, 99, 100
- 電子式エンジン始動ロックシステムEWS, 49
- 無線キーのバッテリーが空になっているか、または無線キーの紛失, 49

P

Pre-Ride-Check, 90

R

RDC

- 技術情報, 112
- 警告表示, 33
- ホイールリムのラベル, 124

Rider's Manual

車両における位置, 14

あ

アクセサリ

一般的な情報, 146

安全に関する注意事項

ブレーキ, 93

ライディングにあたって, 86

い

イグニッション

OFF にする, 45

ON にする, 45

イグニッションキルスイッチ, 17

操作する, 59

インジケーター / 警告灯, 18

全体図, 20

う

ウインカー

操作する, 64

操作部, 15

操作部 (右側), 17

ウインドシールド

調整エレメント, 13

調整する, 80

え

エアクリナー
アクセサリを交換する, 136
車両内の位置, 13

エンジン

エンジンコントロール警告表示, 37
エンジンマネジメントシステム警告表示, 31
始動, 89
仕様 (諸元), 169

エンジンオイル

エンジンオイルレベル警告表示, 38
オイルレベル注意, 40
充填レベルを点検する, 115
仕様 (諸元), 171
注入口, 13
フルードレベル表示, 13
補給, 116

エンジン回転数表示, 18

エンジン始動ロック

警告表示, 30
スペアキー, 46, 49

お

オドメーターとトリップメーター
リセットする, 52
オフロード走行, 96

か

外気温度
表示, 39
路面凍結警告, 30
型式プレート
車両における位置, 13

き

キー, 44, 46
記号と意味, 6
ギヤチェンジ
シフトアップ推奨, 41
ギヤボックス
仕様 (諸元), 172
給油, 98
Keyless Ride 装備, 99, 100

く

クーラント
異常高温用警告表示, 31
充填レベルを点検する, 120
補充する, 121

クラッチ

機能を点検する, 122
仕様 (諸元), 171
ハンドルレバーを調整する, 77
グリップヒーター
操作する, 79
操作部, 17
クルーズコントロール
操作する, 71

け

警告灯, 18
全体図, 20
警告表示
ABS, 35
ASC, 36
RDC, 33
イモビライザー, 30
エンジンオイルレベル, 38
エンジンコントロール, 37
エンジン電装, 31
全体図, 24
盗難警報装置, 33
バッテリー充電電圧, 38
バルブの不具合, 32

表示, 25
フューエルリザーブ容量, 37
冷却水温警告灯, 31
路面凍結警告, 30
警告表示一覧, 26
ケース, 152

こ

コンビネーションスイッチ
左側面, 15
右側面, 17

さ

サービス, 185
サービス表示, 40
サスペンション
仕様 (諸元), 173

し

シート
シート高を調整する, 82
高さ調整の位置, 14
脱着する, 81
ロッキングハンドル, 11

始動, 89
操作部, 17
始動補助, 137
シフトアシスト
技術情報, 105
走行, 92
車両
再使用する, 163
車両識別番号
車両における位置, 13
重量
仕様 (諸元), 181
積載荷重一覧, 14
仕様 (諸元)
エンジン, 169
エンジンオイル, 171
規格, 7
ギヤボックス, 172
クラッチ, 171
サスペンション, 173
重量, 181
スパークプラグ, 177
寸法, 180
電装システム, 177
盗難警報装置, 179

燃料, 170
バッテリー, 177
バルブ, 178
ブレーキ, 175
フレーム, 179
ホイールとタイヤ, 176
リヤホイールドライブ, 173
ショックアブソーバー
調整エレメント (リヤ), 11
調整する, 74

す

ステアリングロック
ロックする, 44
スパークプラグ
仕様 (諸元), 177
スピードメーター, 18
スプリングプリロード
調整エレメント (リヤ), 13
調整する, 73
寸法
仕様 (諸元), 180

せ

全体図

- 警告アイコン, 24
- 警告灯 / インジケーター, 20
- シート下, 14
- 左コンビネーションスイッチ, 15
- 左側面図, 11
- マルチファンクションディスプレイ, 22
- 右コンビネーションスイッチ, 17
- 右側面図, 13
- メーターパネル, 18

そ

走行モード

- 技術情報, 104
 - 操作部, 17
 - 調整する, 67
- 装備, 7

た

タイヤ

- 最高速度, 87
- 充填圧, 177

充填圧表, 14

仕様 (諸元), 176

推奨, 123

タイヤ空気圧を点検する, 78

トレッドの溝の深さを点検する, 122

慣らし走行, 92

タイヤ空気圧コントロール (RDC) 表示, 41

ち

チェックリスト, 89

駐車, 95

つ

ツールキット

- 車両における位置, 14
- 内容, 114

て

デイライト

- オートマチックデイライト, 63
 - 車両における位置, 11
 - 手動デイライト, 62
- 点検記録, 191

電源ソケット

- 車両における位置, 13
- 使用上の注意, 146

電装システム

仕様 (諸元), 177

と

盗難警報装置

- 警告表示, 33
- 操作する, 57

時計

調整する, 54

トップケース

操作する, 155

トラブルシューティング, 166

トルク, 167

な

慣らし走行, 91

に

荷物

積載に関する注意, 86

ね

燃料

- Keyless Ride 装備の場合の給油, 99, 100
- 給油する, 98
- 仕様 (諸元), 170
- 注入口, 11
- リザーブ容量, 39

は

- パーキングライト, 61
- ハザードランプ
 - 操作する, 64
 - 操作部, 15, 17
- バッテリー
 - 仕様 (諸元), 177
 - 接続しているバッテリーを充電する, 139
 - 取り付ける, 141
 - 取り外す, 140
 - 外したバッテリーを充電する, 140
 - バッテリー充電電圧警告表示, 38
 - メンテナンスに関する注意, 138

バルブ

- LED テールライトを交換する, 135
- LED ヘッドライトの交換, 135
- LED 補助ヘッドライトを交換する, 135
- 仕様 (諸元), 178
- ハイビーム用バルブを交換する, 131
- バルブの不具合に関する警告表示, 32
- フロント / リヤのウインカー用バルブを交換する, 134
- ポジションライト / パーキングライト用バルブを交換する, 132
- ロービーム用バルブを交換する, 131
- ハンドルバー
 - 調整する, 79

ひ

- ヒューズ
 - 交換する, 142
 - 仕様 (諸元), 177

ふ

- フォロミーホームライト, 45
- フューエルリザーブ容量
 - 警告表示, 37
- ブレーキ
 - ABS Pro の詳細, 109
 - ABS Pro は走行モードに対応, 94
 - 安全に関する注意事項, 93
 - 機能を点検する, 116
 - 仕様 (諸元), 175
 - ハンドルレバーを調整する, 77
- ブレーキパッド
 - 慣らし走行, 92
 - フロントを点検する, 117
 - リヤを点検する, 117
- ブレーキフルード
 - フロント充填レベルを点検する, 118
 - フロントリザーバータンク, 13
 - リヤ充填レベルを点検する, 119
 - リヤリザーバータンク, 13
- フレーム
 - 仕様 (諸元), 179

フロントホイールスタンド
取り付ける, 129

へ

平均値
リセットする, 52

ヘッドライト
光軸, 60
光軸の調整, 11

ほ

ホイール
サイズ変更, 123
仕様 (諸元), 176
スポークを点検する, 123
フロントホイールを取り付ける, 126
フロントホイールを取り外す, 124
ホイールリムを点検する, 122
リヤホイールを取り付ける, 129
ホーン, 15
本書の記述について, 7

ま

マルチファンクションディスプレイ, 18
全体図, 22
操作する, 51
操作部, 15
表示を選択する, 51

み

ミラー
調整する, 80

め

メンテナンス
一般的な情報, 114
メンテナンススケジュール, 189
メンテナンススケジュール, 186
メーターパネル
周囲輝度センサー, 18
全体図, 18

も

モーターサイクル
お手入れ, 159
固定する, 101

清掃する, 159
駐車, 95
長期保管, 162
モバイルサービス, 186

ら

ライト
オートマチックデイライト, 63
手動デイライト, 62
操作部, 15
パーキングライト, 61
ハイビームヘッドライトを操作する, 61
パッシングライトを操作する, 61
補助ヘッドライトを操作する, 61
ロービーム, 61

り

リサイクリング, 184
リモートコントロール
バッテリーを交換する, 50
リヤホイールドライブ
仕様 (諸元), 173

ろ

ローダウンサスペンション
制限, 86

ご購入いただきました車両の装備、アクセサリ、仕様は、本書の説明や図と異なる場合があります。これらについてのクレームはご容赦ください。

本書に記載されている寸法、重量、燃費、性能などのデータには、一般に認められている許容誤差が含まれています。

デザイン、装備、アクセサリなどは、製品を改良するために予告なく変更することがあります。印刷の誤りや誤字、脱字に起因するクレームはご容赦ください。

オリジナル Rider's Manual、
Printed in Germany。

©2015 Bayerische Motoren
Werke Aktiengesellschaft
80788 München, Germany

本書はその全部について、たとえ一部であっても、BMW Motorrad After Sales から書式による承諾を得た場合を除き、転載や複製することは禁じられています。

燃料補給用データ：

燃料

推奨フューエルグレード	無鉛プレミアムガソリン (ハイオク) (最大 10%エタノール、E10) 95 ROZ/RON 89 AKI
-------------	--

燃料品質の選択肢	無鉛レギュラーガソリン (出力および燃費の制約。エンジンに低燃料品質 91 RON を使用する国などでは、それに合わせてモーターサイクルを BMW Motorrad ディーラーで事前にプログラミングする必要があります。) (最大 10%エタノール、E10) 91 ROZ/RON 87 AKI
----------	--

フューエル容量	約 20 l
---------	--------

フューエルリザーブ容量	約 4 l
-------------	-------

タイヤ充填圧

タイヤ充填圧 (フロント)	2.5 bar、タイヤ冷間時
---------------	----------------

タイヤ充填圧 (リヤ)	2.9 bar、タイヤ冷間時
-------------	----------------

ご使用のモーターサイクルに関するさらに詳しい情報については、以下のウェブサイトをご参照してください：bmw-motorrad.com

BMW recommends **ADVANTEC**
ORIGINAL BMW ENGINE OIL

P/No.: 01 49 8 563 208
08.2015、8th edition、08

